

平成 19 年 度

瀬 谷 区 区 民 意 識 調 査

平成 20 年 3 月

瀬 谷 区 役 所

# 平成19年度 瀬谷区 区民意識調査

## 目 次

I. 調査概要.....	2
II. 回答者の属性.....	3
III. 集計分析結果.....	11
1. 区役所の仕事について.....	11
2. 地域での活動について.....	26
3. 自然環境・環境行動について.....	40
4. 防災について.....	53
5. その他について.....	64
調査票.....	81

# I. 調査概要

## ◆調査目的

瀬谷区民の生活行動や意識・意向を明らかにし、今後の区政運営や施策展開の基礎資料とする。主な項目は以下の通りである。

- ・区政との関わりや意識
- ・地域での活動状況や意識
- ・自然環境や環境行動に関する取組や意識
- ・防災に関する取組や意識

## ◆調査対象

調査対象数 3,000 人(住民基本台帳・外国人登録原票より 16 歳以上無作為抽出)  
 回収数 1,585 件(回収率 52.8%)  
 有効回収数 1,566 件(有効回収率 52.2%)

## ◆調査方法

郵送によるアンケート発送および回収

## ◆調査期間

平成 20 年 1 月 17 日～28 日

## ◆地域区分

平成19年度 瀬谷区区民意識調査 地域区分表

地区名	対象町名
阿久和北部連合自治会	阿久和西一丁目、阿久和西二丁目、阿久和東一丁目、阿久和東二丁目
阿久和南部連合自治会	阿久和西三丁目、阿久和西四丁目、阿久和東三丁目、阿久和東四丁目、阿久和南一丁目、阿久和南二丁目、阿久和南三丁目、阿久和南四丁目
三ツ境連合自治会	三ツ境
瀬谷第一地区連合町内会	中央、本郷四丁目、瀬谷四丁目
本郷地区連合自治会	本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目
瀬谷北部町内連合会	五貫目町、上瀬谷町、北町、目黒町、中屋敷一丁目、中屋敷二丁目、中屋敷三丁目、卸本町、竹村町
瀬谷第二地区連合自治会	橋戸一丁目、橋戸二丁目、橋戸三丁目、北新、瀬谷五丁目、瀬谷六丁目、下瀬谷一丁目、下瀬谷二丁目、下瀬谷三丁目
細谷戸連合町内会	瀬谷町
瀬谷第四地区連合自治会	東野、東野台、二ツ橋町
南瀬谷自治連合会	南台一丁目、南台二丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目
宮沢連合自治会	宮沢一丁目、宮沢二丁目、宮沢三丁目、宮沢四丁目
相沢町内連合会	相沢一丁目、相沢二丁目、相沢三丁目、相沢四丁目、相沢五丁目、相沢六丁目、相沢七丁目、瀬谷一丁目、瀬谷二丁目、瀬谷三丁目

\* 地域の区分については、主に連合の対象区域をもとに町名を割り当てました

## ◆集計結果の見方

①回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。

②比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。したがって、合計が 100%を上下する場合がある。

③標本を無作為に抽出した統計数値には誤差があり、次の公式によって算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2\sqrt{(\text{回答率}(100-\text{回答率})/\text{標本数})}$$

基数が回答者全員(人)で回答が 50%のとき、誤差は±2.53 である。したがって真の値は 47.47～52.53 の間と考えられる。

標準誤差

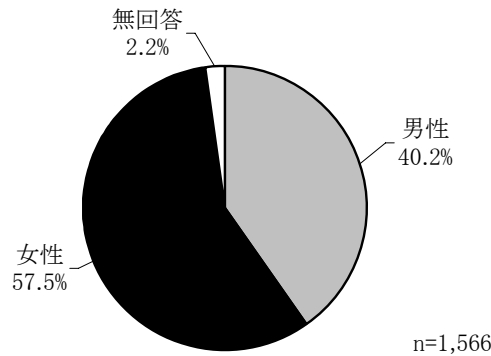
回答率	標本数(1,566)
10% 90%	±1.52
20% 80%	±2.02
30% 70%	±2.32
40% 60%	±2.48
50%	±2.53

## II. 回答者の属性

### F1 性別

- ・ 男性 40.2%、女性 57.5%で、わずかに女性の方が多くなっている。

図表 性別



### ■ 居住地域別 男女比(F3×F1)

- ・ 男性の割合が高いのは「本郷地区連合自治会」、女性の割合が高いのは「瀬谷北部町内連合会」である。

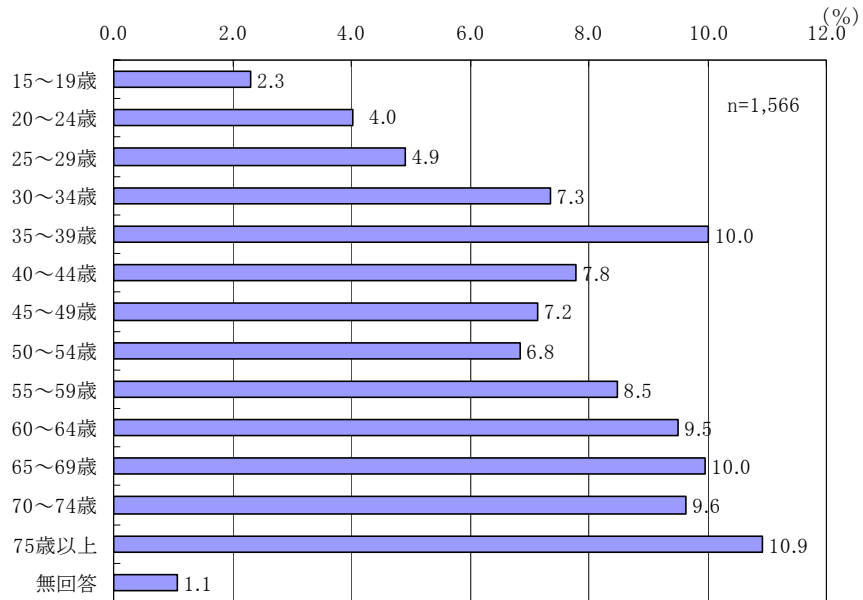
図表 居住地域別 男女比

		F 1 性別			
		全体	男性	女性	無回答
全 体		1,566	630	901	35
		100.0	40.2	57.5	2.2
F 3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	35.8	64.2	0.0
	阿久和南部連合自治会	152	36.2	63.8	0.0
	三ツ境連合自治会	106	40.6	59.4	0.0
	瀬谷第一地区連合町内会	80	35.0	62.5	2.5
	本郷地区連合自治会	94	52.1	46.8	1.1
	瀬谷北部町内連合会	89	33.7	65.2	1.1
	瀬谷第二地区連合自治会	288	43.1	56.3	0.7
	細谷戸連合町内会	46	32.6	63.0	4.3
	瀬谷第四地区連合自治会	154	40.9	55.8	3.2
	南瀬谷自治連合会	93	39.8	59.1	1.1
	宮沢連合自治会	125	40.8	56.8	2.4
	相沢町内連合会	173	45.1	52.6	2.3
	無回答	32	28.1	28.1	43.8

## F2 年齢

- ・ 10代が2.3%、20代が8.9%と若年層はやや少なくなっており、それ以外の年代は15%前後～20%程度となっている。

図表 年齢



■ 居住地域別 年齢(F3×F2)

- ・ 65歳以上の割合が最も高いのは「細谷戸連合町内会」、最も低いのは「瀬谷北部町内連合会」である。

図表 居住地域別 年齢

F 2 年齢

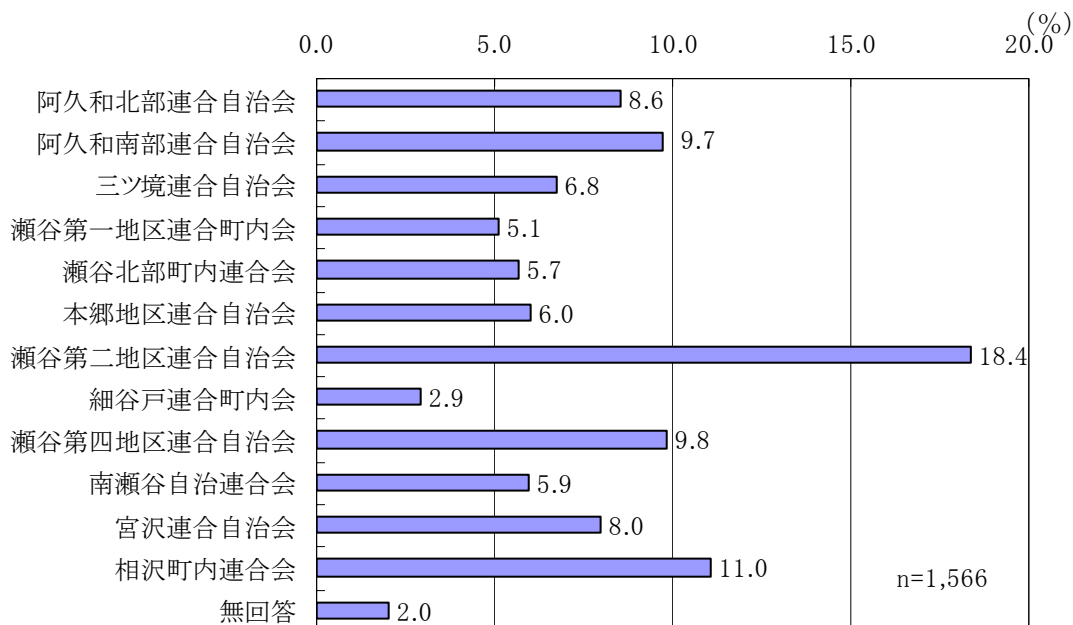
		全体	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳
全 体		1,566 100.0	36 2.3	63 4.0	77 4.9	115 7.3	157 10.0	122 7.8	112 7.2
F 3 居住 地域	阿久和北部連合自治会	134	3.0	4.5	4.5	8.2	7.5	3.7	8.2
	阿久和南部連合自治会	152	4.6	3.3	3.3	7.2	10.5	9.9	6.6
	三ツ境連合自治会	106	1.9	4.7	6.6	6.6	13.2	9.4	6.6
	瀬谷第一地区連合町内会	80	0.0	7.5	2.5	11.3	10.0	5.0	8.8
	本郷地区連合自治会	94	2.1	3.2	5.3	8.5	14.9	13.8	5.3
	瀬谷北部町内連合会	89	0.0	5.6	9.0	9.0	15.7	6.7	12.4
	瀬谷第二地区連合自治会	288	3.1	3.8	6.3	4.5	9.4	7.3	10.8
	細谷戸連合町内会	46	0.0	0.0	2.2	4.3	10.9	6.5	4.3
	瀬谷第四地区連合自治会	154	1.9	3.9	3.9	7.1	5.2	7.1	0.6
	南瀬谷自治連合会	93	4.3	3.2	4.3	7.5	10.8	6.5	7.5
	宮沢連合自治会	125	0.8	2.4	1.6	4.8	13.6	7.2	5.6
	相沢町内連合会	173	1.7	4.0	6.9	11.0	8.1	10.4	5.8
	無回答	32	3.1	9.4	3.1	9.4	0.0	3.1	9.4

50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳以 上	無回答
107 6.8	133 8.5	149 9.5	156 10.0	151 9.6	171 10.9	17 1.1
11.9	9.0	14.9	10.4	8.2	6.0	0.0
5.9	7.2	7.2	15.8	8.6	9.9	0.0
5.7	8.5	8.5	4.7	7.5	16.0	0.0
8.8	8.8	5.0	7.5	15.0	10.0	0.0
5.3	7.4	12.8	9.6	5.3	6.4	0.0
5.6	9.0	9.0	6.7	6.7	4.5	0.0
6.6	8.3	9.7	11.8	9.7	8.3	0.3
2.2	6.5	6.5	15.2	21.7	19.6	0.0
9.7	12.3	11.0	10.4	9.1	16.9	0.6
3.2	12.9	9.7	10.8	5.4	14.0	0.0
7.2	7.2	10.4	13.6	16.0	9.6	0.0
6.4	6.9	8.1	4.6	11.0	15.0	0.0
3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	9.4	46.9

### F3 居住地区

- ・「瀬谷第二地区連合自治会」(18.4%)が突出して多く、次いで「相沢町内連合会」(11.0%)となっている。「細谷戸連合町内会」は2.9%と他の地区に比べて少ない。それ以外の地区は5～9%台と分散している。
- ・住民基本台帳人口(平成20年1月末現在)と比較すると、これらの分布はほぼ実際の人口比に同じである。

図表 居住地区



図表 居住地区別人口及び構成比

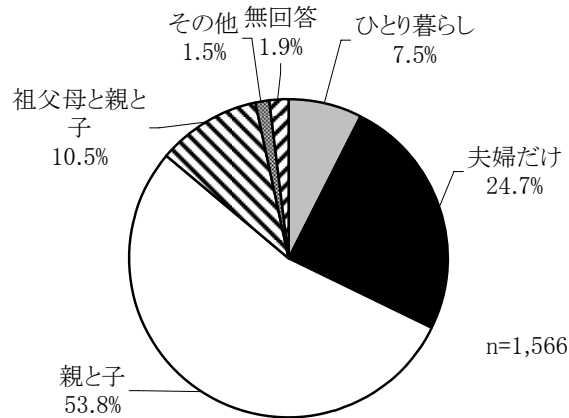
居住地区	人口 (人)	構成比 (%)
阿久和北部連合自治会	10,735	8.4
阿久和南部連合自治会	13,385	10.4
三ツ境連合自治会	9,043	7.0
瀬谷第一地区連合町内会	6,517	5.1
本郷地区連合自治会	8,506	6.6
瀬谷北部町内連合会	8,976	7.0
瀬谷第二地区連合自治会	24,096	18.8
細谷戸連合町内会	3,185	2.5
瀬谷第四地区連合自治会	11,569	9.0
南瀬谷自治連合会	8,262	6.4
宮沢連合自治会	9,753	7.6
相沢町内連合会	14,399	11.2
瀬谷区計	128,426	100.0

住民基本台帳 (平成20年1月31日現在)

## F4 家族形態

- ・「親と子」が 53.8%と全体の半分強を占め、最も多い。次いで「夫婦だけ」(24.7%)、「祖父母と親と子」(10.5%)、「ひとり暮らし」(7.5%)、「その他」(1.5%)の順となっている。

図表 家族形態



### ■ 居住地域別 家族形態(F3×F4)

- ・「親と子」の割合が最も高いのは「南瀬谷自治連合会」、「夫婦だけ」の割合が最も高いのは「細谷戸連合町内会」、「祖父母と親と子」の割合が最も高いのは「本郷地区連合自治会」、「ひとり暮らし」の割合が最も高いのは「瀬谷第一地区連合町内会」である。

図表 居住地域別 家族形態

F 4 家族形態

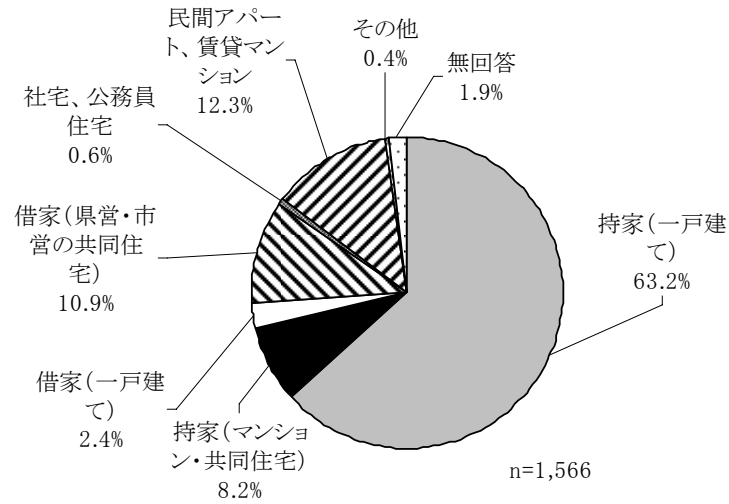
		全体	ひとり暮らし	夫婦だけ	親と子	祖父母と親と子	その他	無回答
全 体		1,566	118	387	843	165	24	29
		100.0	7.5	24.7	53.8	10.5	1.5	1.9
F 3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	8.2	21.6	58.2	11.2	0.7	0.0
	阿久和南部連合自治会	152	6.6	21.7	58.6	9.9	1.3	2.0
	三ツ境連合自治会	106	5.7	21.7	57.5	13.2	1.9	0.0
	瀬谷第一地区連合町内会	80	12.5	26.3	47.5	11.3	1.3	1.3
	本郷地区連合自治会	94	7.4	26.6	47.9	17.0	1.1	0.0
	瀬谷北部町内連合会	89	2.2	23.6	58.4	14.6	1.1	0.0
	瀬谷第二地区連合自治会	288	4.5	28.8	53.1	10.8	2.1	0.7
	細谷戸連合町内会	46	10.9	39.1	45.7	2.2	0.0	2.2
	瀬谷第四地区連合自治会	154	11.7	27.3	50.0	8.4	0.6	1.9
	南瀬谷自治連合会	93	9.7	22.6	60.2	6.5	1.1	0.0
	宮沢連合自治会	125	8.0	24.0	53.6	10.4	1.6	2.4
	相沢町内連合会	173	8.7	22.5	54.9	10.4	3.5	0.0
	無回答	32	6.3	6.3	34.4	3.1	0.0	50.0



## F5 住居形態

- ・「持家(一戸建て)」が 63.2%で最も多く、6割以上を占める。次いで「民間アパート、賃貸マンション」(12.3%)、「借家(県営・市営の共同住宅)」(10.9%)、「持家(マンション・共同住宅)」(8.2%)、「借家(一戸建て)」(2.4%)、「社宅、公務員住宅」(0.6%)、「その他」(0.4%)の順となっている。

図表 住居形態



### ■ 居住地域別 住居形態(F3×F5)

- ・「持家(一戸建て)」の割合が最も高いのは「宮沢連合自治会」、「持家(マンション・共同住宅)」の割合が最も高いのは「三ツ境連合自治会」、「借家(県営・市営の共同住宅)」の割合が最も高いのは「細谷戸連合町内会」である。「民間アパート、賃貸マンション」については、「瀬谷第一地区連合町内会」と「本郷地区連合自治会」で2割を超えている。

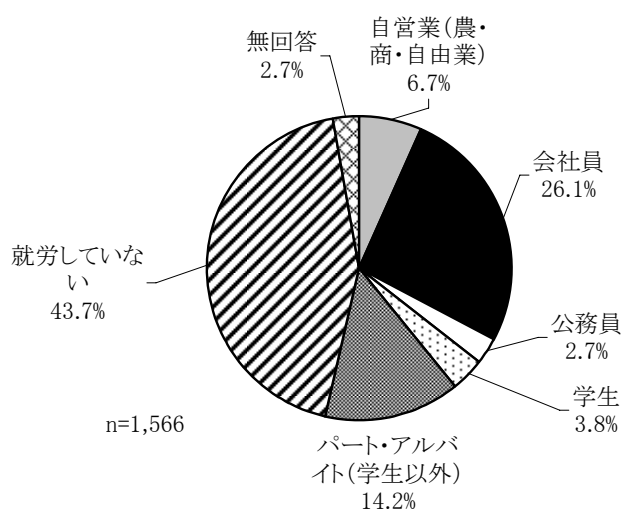
図表 居住地域別 住居形態

		全体	持家(一戸建て)	持家(マンション・共同住宅)	借家(一戸建て)	借家(県営・市営の共同住宅)	社宅、公務員住宅	民間アパート、賃貸マンション	その他	無回答
全体		1,566	990	129	38	170	10	193	6	30
		100.0	63.2	8.2	2.4	10.9	0.6	12.3	0.4	1.9
F3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	69.4	11.9	0.7	1.5	1.5	14.9	0.0	0.0
	阿久和南部連合自治会	152	50.7	9.9	2.0	21.7	0.0	11.2	1.3	3.3
	三ツ境連合自治会	106	60.4	16.0	1.9	9.4	0.9	9.4	0.9	0.9
	瀬谷第一地区連合町内会	80	56.3	13.8	2.5	1.3	2.5	23.8	0.0	0.0
	本郷地区連合自治会	94	63.8	10.6	1.1	1.1	1.1	21.3	0.0	1.1
	瀬谷北部町内連合会	89	62.9	15.7	2.2	9.0	0.0	10.1	0.0	0.0
	瀬谷第二地区連合自治会	288	65.6	7.3	3.8	7.3	0.3	15.3	0.0	0.3
	細谷戸連合町内会	46	13.0	2.2	0.0	84.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	154	64.9	6.5	4.5	12.3	0.6	8.4	0.6	1.9
	南瀬谷自治連合会	93	62.4	4.3	0.0	30.1	1.1	2.2	0.0	0.0
	宮沢連合自治会	125	90.4	0.0	1.6	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0
	相沢町内連合会	173	68.2	5.8	3.5	3.5	0.6	16.2	1.2	1.2
	無回答	32	34.4	0.0	3.1	6.3	0.0	3.1	0.0	53.1

## F6 職業

- ・「就労していない」が 43.7%で最も多く、次いで「会社員」(26.1%)、「パート・アルバイト(学生以外)」(14.2%)、「自営業(農・商・自由業)」(6.7%)、「学生」(3.8%)、「公務員」(2.7%)の順となっている。

図表 職業



### ■ 居住地域別 職業(F3 × F6)

- ・「就労していない」の割合が最も高いのは「細谷戸連合町内会」である。「会社員」の割合が最も高いのは「瀬谷北部町内連合会」、「パート・アルバイト(学生以外)」の割合が最も高いのは「瀬谷第一地区連合町内会」である。

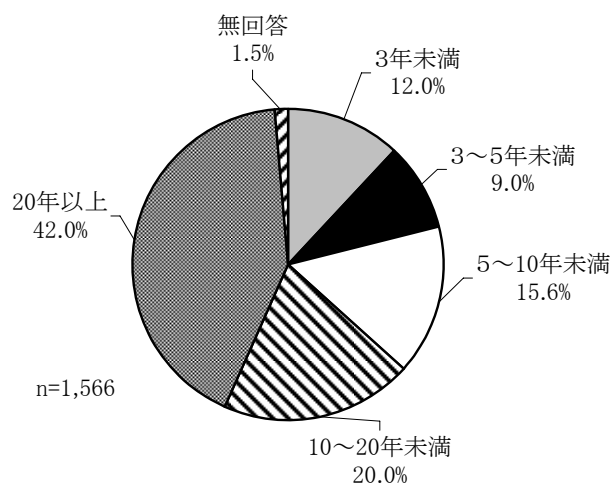
図表 居住地域別 職業

		F 6 職業							
		全体	自営業 (農・ 商・自由 業)	会社員	公務員	学生	パート・ アルバイト (学生 以外)	就労して いない	無回答
全 体		1,566	105	409	42	59	223	685	43
		100.0	6.7	26.1	2.7	3.8	14.2	43.7	2.7
F 3	阿久和北部連合自治会	134	5.2	20.9	1.5	6.0	18.7	45.5	2.2
居住地域	阿久和南部連合自治会	152	3.9	25.0	2.6	5.9	17.8	41.4	3.3
	三ツ境連合自治会	106	10.4	29.2	2.8	5.7	7.5	44.3	0.0
	瀬谷第一地区連合町内会	80	8.8	27.5	1.3	1.3	22.5	37.5	1.3
	本郷地区連合自治会	94	7.4	35.1	6.4	3.2	12.8	35.1	0.0
	瀬谷北部町内連合会	89	6.7	31.5	4.5	1.1	16.9	38.2	1.1
	瀬谷第二地区連合自治会	288	6.9	25.7	3.1	3.1	12.2	47.6	1.4
	細谷戸連合町内会	46	2.2	13.0	0.0	0.0	10.9	67.4	6.5
	瀬谷第四地区連合自治会	154	7.1	23.4	2.6	2.6	16.2	46.8	1.3
	南瀬谷自治連合会	93	10.8	28.0	1.1	6.5	11.8	39.8	2.2
	宮沢連合自治会	125	5.6	25.6	3.2	2.4	17.6	44.0	1.6
	相沢町内連合会	173	6.9	27.7	2.3	4.0	11.6	45.7	1.7
	無回答	32	0.0	21.9	0.0	6.3	0.0	18.8	53.1

## F7 現在の住居での居住年数

- ・「20年以上」が42.0%で最も多く全体の4割強を占めている。次いで「10～20年未満」(20.0%)、「5～10年未満」(15.6%)、「3年未満」(12.0%)、「3～5年未満」(9.0%)の順となっている。

図表 現在の住居での居住年数



### ■ 居住地域別 現在の住居での居住年数(F3×F7)

- ・「南瀬谷自治連合会」と「宮沢連合自治会」では「20年以上」が半数を超えている。「瀬谷北部町内連合会」では「20年以上」の割合が最も低く、「5～10年未満」が3割以上となっている。「3年未満」の割合が最も高いのは「本郷地区連合自治会」である。

図表 居住地域別 現在の住居での居住年数

		全体	3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
全 体		1,566	188	141	244	313	657	23
		100.0	12.0	9.0	15.6	20.0	42.0	1.5
F 3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	9.7	8.2	15.7	23.1	43.3	0.0
	阿久和南部連合自治会	152	13.8	5.3	18.4	27.0	34.2	1.3
	三ツ境連合自治会	106	13.2	7.5	17.9	17.9	42.5	0.9
	瀬谷第一地区連合町内会	80	5.0	6.3	23.8	25.0	40.0	0.0
	本郷地区連合自治会	94	16.0	13.8	13.8	21.3	33.0	2.1
	瀬谷北部町内連合会	89	14.6	33.7	11.2	13.5	27.0	0.0
	瀬谷第二地区連合自治会	288	12.2	6.3	13.9	22.2	45.5	0.0
	細谷戸連合町内会	46	0.0	15.2	37.0	19.6	28.3	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	154	15.6	9.7	16.9	16.2	40.9	0.6
	南瀬谷自治連合会	93	10.8	6.5	9.7	18.3	54.8	0.0
	宮沢連合自治会	125	12.8	5.6	10.4	16.8	54.4	0.0
	相沢町内連合会	173	12.1	7.5	16.2	17.3	46.2	0.6
	無回答	32	6.3	0.0	3.1	12.5	28.1	50.0

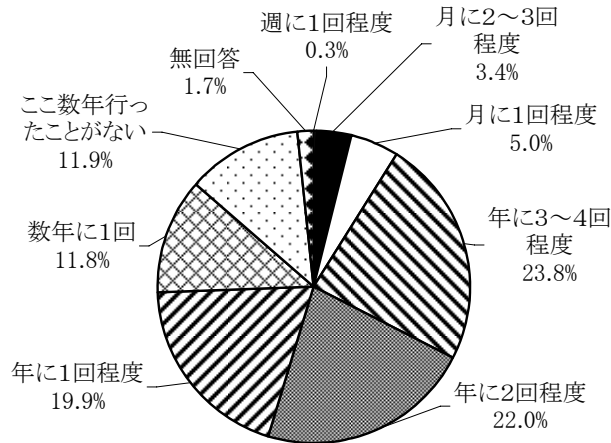
### Ⅲ. 集計分析結果

#### 1. 区役所の仕事について

##### 問1 あなたは、区役所に何回くらい行きますか。

- 「年に3～4回程度」が 23.8%で最も多く、次いで「年に2回程度」(22.0%)、「年に1回程度」(19.9%)で、あわせて 65%近くを占めている。以下、「ここ数年行ったことがない」(11.9%)、「数年に1回」(11.8%)、「月に1回程度」(5.0%)、「月に2～3回程度」(3.4%)、「週に1回程度」(0.3%)の順となっている。

図表 区役所に行く頻度



n=1,566

##### ■ 年齢別 区役所に行く頻度(F2×問1)

- 20代以上では、年に数回行く人の割合が5割以上を占めている。
- 50代と70歳以上では、月に1回以上行く人の割合がやや高く、特に「70～74歳」では16.6%となっている。また「ここ数年行ったことがない」について、10代では66.7%と特に高く、次いで「20～24歳」で19.0%となっている。

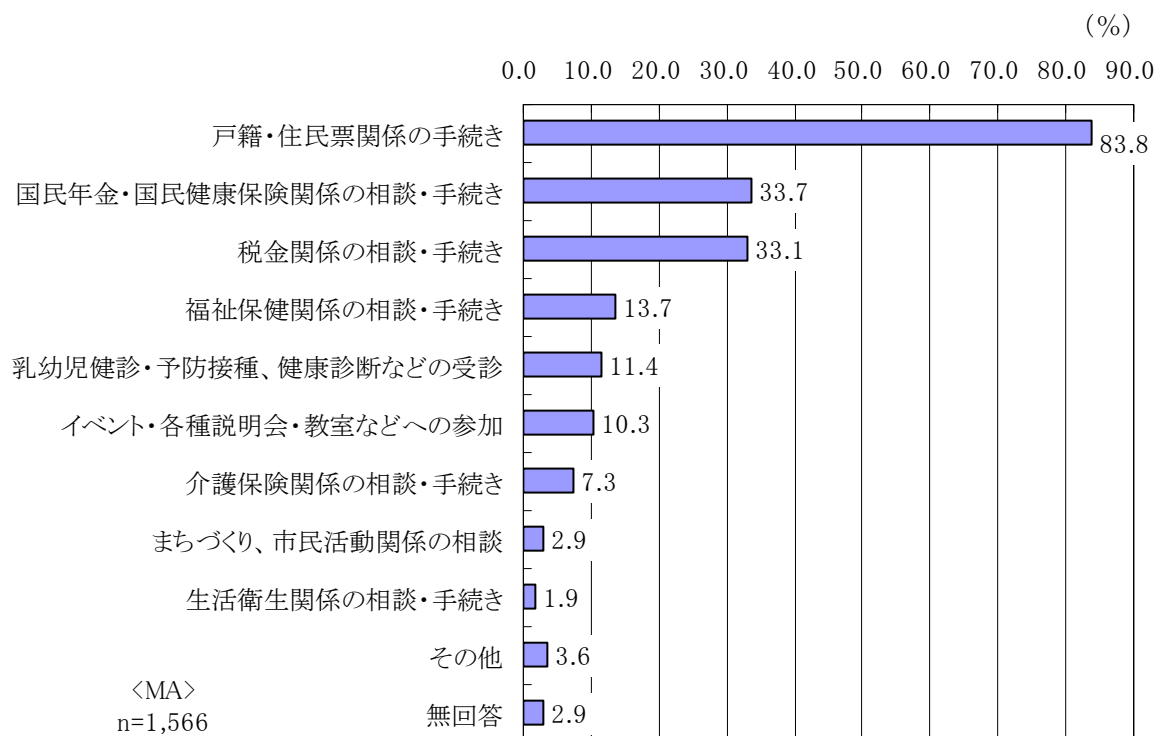
図表 年齢別 区役所に行く頻度

		全体	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	年に3～4回程度	年に2回程度	年に1回程度	数年に1回	ここ数年行ったことがない	無回答	「週に1回」+「月に2～3回」+「月に1回」
全体		1,566	5	54	79	373	345	311	185	187	27	8.8
		100.0	0.3	3.4	5.0	23.8	22.0	19.9	11.8	11.9	1.7	
F2 年齢	15～19歳	36	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	13.9	66.7	2.8	0.0
	20～24歳	63	0.0	0.0	3.2	12.7	19.0	23.8	20.6	19.0	1.6	3.2
	25～29歳	77	1.3	0.0	6.5	20.8	16.9	23.4	19.5	11.7	0.0	7.8
	30～34歳	115	0.9	1.7	0.9	27.0	18.3	27.0	14.8	8.7	0.9	3.5
	35～39歳	157	0.0	1.9	1.9	28.7	16.6	24.2	13.4	12.7	0.6	3.8
	40～44歳	122	0.0	4.1	4.9	18.9	23.0	17.2	18.9	12.3	0.8	9.0
	45～49歳	112	0.0	2.7	4.5	15.2	25.0	24.1	21.4	6.3	0.9	7.1
	50～54歳	107	0.0	9.3	4.7	25.2	20.6	21.5	9.3	8.4	0.9	14.0
	55～59歳	133	0.8	4.5	5.3	26.3	18.0	20.3	9.8	13.5	1.5	10.5
	60～64歳	149	0.0	2.7	3.4	26.2	26.2	20.8	10.7	8.1	2.0	6.0
	65～69歳	156	0.6	1.3	5.8	30.1	31.4	13.5	7.7	8.3	1.3	7.7
70～74歳	151	0.0	5.3	11.3	23.8	28.5	15.9	4.6	9.3	1.3	16.6	
75歳以上	171	0.6	5.8	8.2	27.5	20.5	15.2	3.5	13.5	5.3	14.6	
無回答	17	0.0	5.9	0.0	11.8	17.6	29.4	17.6	5.9	11.8	5.9	

## 問2 あなたが区役所に行くときは、主にどのような用件のあるときですか。(3つまでの複数回答)

- ・「戸籍・住民票関係の手続き」が 83.8%で特に多くなっており、次いで「国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き」(33.7%)、「税金関係の相談・手続き」(33.1%)となっている。以下、「福祉保健関係の相談・手続き」(13.7%)、「乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診」(11.4%)、「イベント・各種説明会・教室などへの参加」(10.3%)、「介護保険関係の相談・手続き」(7.3%)、「その他」(3.6%)、「まちづくり、市民活動関係の相談」(2.9%)、「生活衛生関係の相談・手続き」(1.9%)の順となっている。

図表 区役所に行く主な用件



## ■ 年齢別 区役所に行く主な用件(F2×問2)

- ・どの年齢層でも「戸籍・住民票関係の手続き」が最も高く、半数を超えている。
- ・「税金関係の相談・手続き」は 20 代前半までは割合は高くないが、20 代後半から3割前後の利用となり、「75歳以上」では4割となっている。
- ・「国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き」は「20～24 歳」、「55～59 歳」、「65～69 歳」で4割を超えている。
- ・「乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診」は 20 代～30 代の利用が中心となっており、「35～39 歳」では35%の利用となっている。
- ・「福祉保健関係の相談・手続き」については 30 代で2割を超えている。
- ・「イベント・各種説明会・教室などへの参加」については 10 代と 60 歳以上で利用が特に多い。

図表 年齢別 区役所に行く主な用件

問2 区役所に行く用件（3つまで回答）

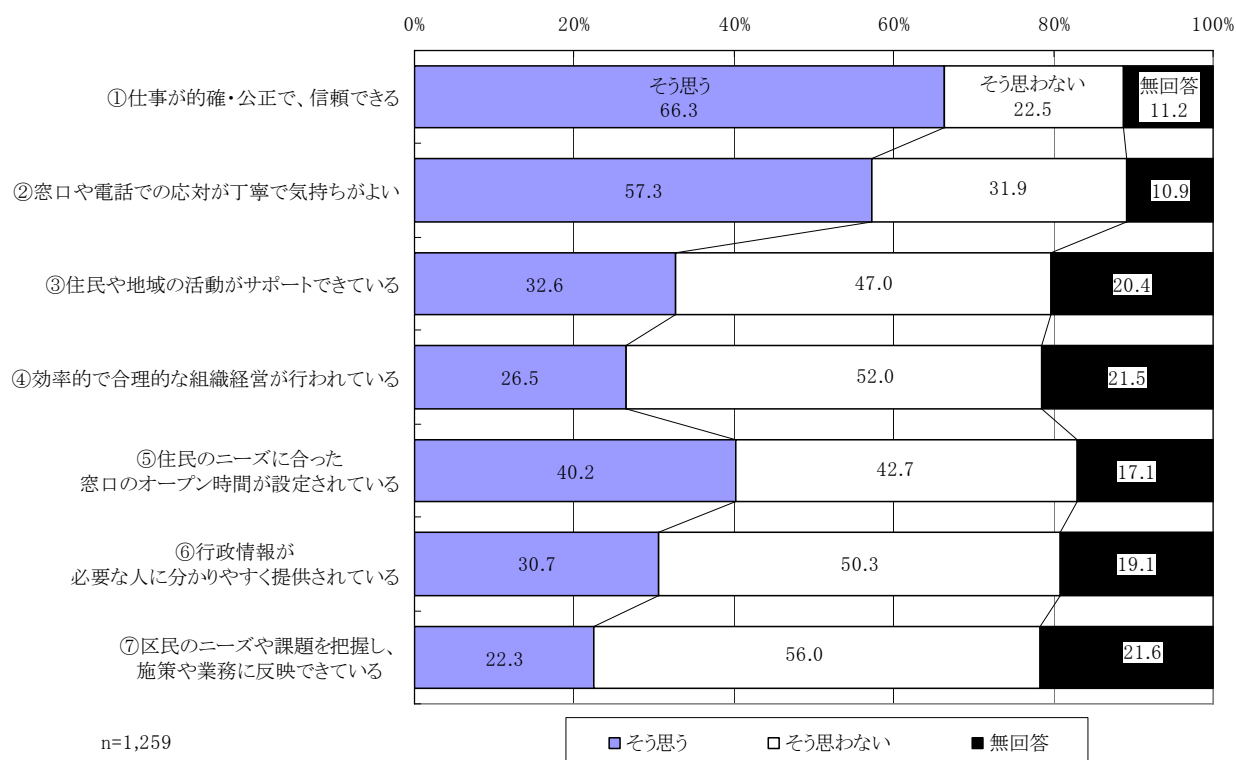
		全体	戸籍・住民票関係の手続き	税金関係の相談・手続き	国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き	乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診	介護保険関係の相談・手続き	福祉保健関係の相談・手続き	生活衛生関係の相談・手続き	まちづくり、市民活動関係の相談	イベント・各種説明会・教室などへの参加	その他	無回答
全体		1,566	1,313	519	527	178	115	214	29	45	161	56	46
		—	83.8	33.1	33.7	11.4	7.3	13.7	1.9	2.9	10.3	3.6	2.9
F2 年齢	15～19歳	36	52.8	5.6	2.8	11.1	0.0	0.0	0.0	8.3	19.4	2.8	30.6
	20～24歳	63	73.0	19.0	44.4	6.3	1.6	7.9	0.0	0.0	1.6	6.3	6.3
	25～29歳	77	88.3	27.3	35.1	27.3	2.6	9.1	1.3	0.0	5.2	7.8	0.0
	30～34歳	115	90.4	33.9	29.6	27.0	0.9	20.0	2.6	0.9	4.3	6.1	0.0
	35～39歳	157	86.6	27.4	27.4	35.0	0.6	26.1	0.0	1.3	5.7	2.5	0.0
	40～44歳	122	95.1	36.1	27.9	13.9	2.5	19.7	1.6	0.8	8.2	2.5	0.0
	45～49歳	112	87.5	33.0	21.4	5.4	4.5	17.0	4.5	1.8	8.0	5.4	0.9
	50～54歳	107	92.5	39.3	34.6	4.7	7.5	12.1	0.9	2.8	8.4	7.5	0.0
	55～59歳	133	91.7	33.1	42.9	9.0	7.5	8.3	1.5	3.0	9.0	2.3	0.8
	60～64歳	149	91.9	36.9	39.6	8.1	5.4	7.4	2.7	2.7	13.4	1.3	1.3
	65～69歳	156	87.2	31.4	41.0	4.5	9.0	10.9	0.6	3.8	18.6	1.9	1.9
70～74歳	151	73.5	37.7	31.1	2.0	12.6	12.6	6.0	7.3	17.9	2.0	5.3	
75歳以上	171	63.7	41.5	39.8	0.6	23.4	12.3	0.0	3.5	10.5	2.9	8.2	
無回答	17	70.6	17.6	23.5	0.0	17.6	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9	11.8	

問3 現在の区役所の仕事ぶりについて、次の項目ごとに、どう思われるかお答えください。また、区役所のあり方における各項目の重要度をお答えください。

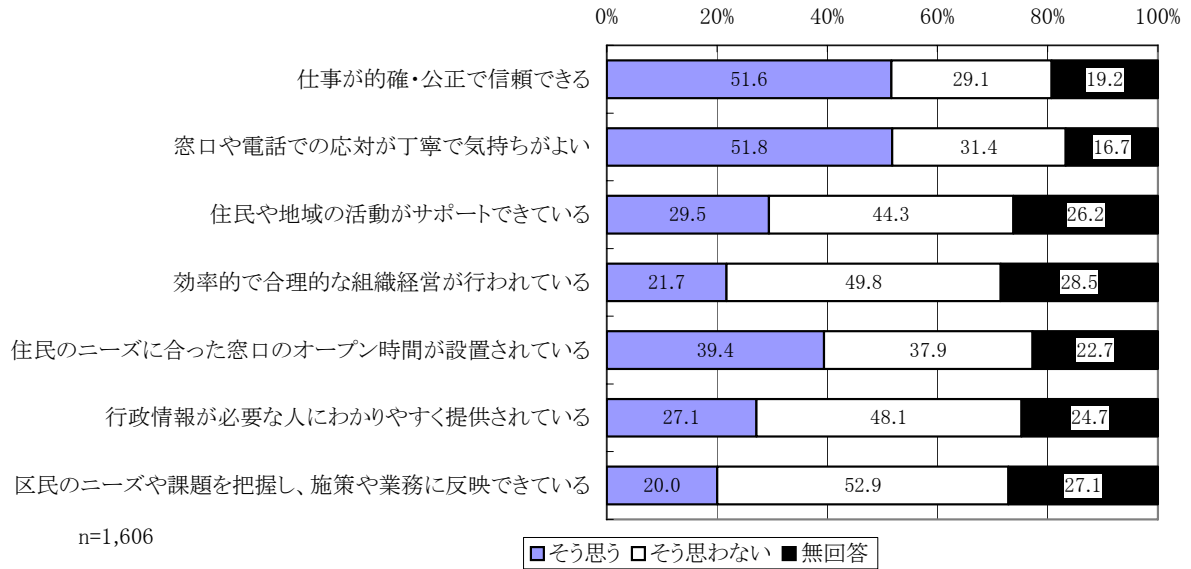
【仕事ぶりについて】

- 区役所の仕事ぶりについて、「そう思う」の割合が最も高いのは「①仕事が的確・公正で、信頼できる」で66.3%である。次いで「②窓口や電話での応対が丁寧で気持ちが良い」の57.3%である。この2項目については半数を超えている。
- 「⑤住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている」については、「そう思う」(40.2%)と「そう思わない」(42.7%)が拮抗している。
- 以下、「そう思う」の割合が高い順に「③住民や地域の活動がサポートできている」(32.6%)、「⑥行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている」(30.7%)、「④効率的で合理的な組織経営が行われている」(26.5%)、「⑦区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」(22.3%)となっている。これらの項目は「無回答」の割合も2割前後と高くなっており、区民が普段接する機会が少ない領域であり、仕事ぶりについての評価が難しい項目と考えられる。
- 平成18年度調査結果と比較すると、全ての項目で「そう思う」の割合が高くなっており、特に「①仕事が的確・公正で、信頼できる」については、約15ポイント増加している。また全体として、平成19年度調査では「無回答」の割合が低くなっており、全ての項目で「そう思う」、「そう思わない」の割合が高くなっている。
- 無回答を除いた「そう思う」の割合を比較すると、「⑤住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている」で2.5ポイント減少した以外は全ての項目で割合が高くなっている。特に「①仕事が的確・公正で、信頼できる」では10.8ポイント増加している。

図表 区役所の仕事ぶりについて



図表 区役所の仕事ぶりについて(平成18年度調査)



図表 区役所の仕事ぶりについて/無回答を除いた「そう思う」人の割合の比較

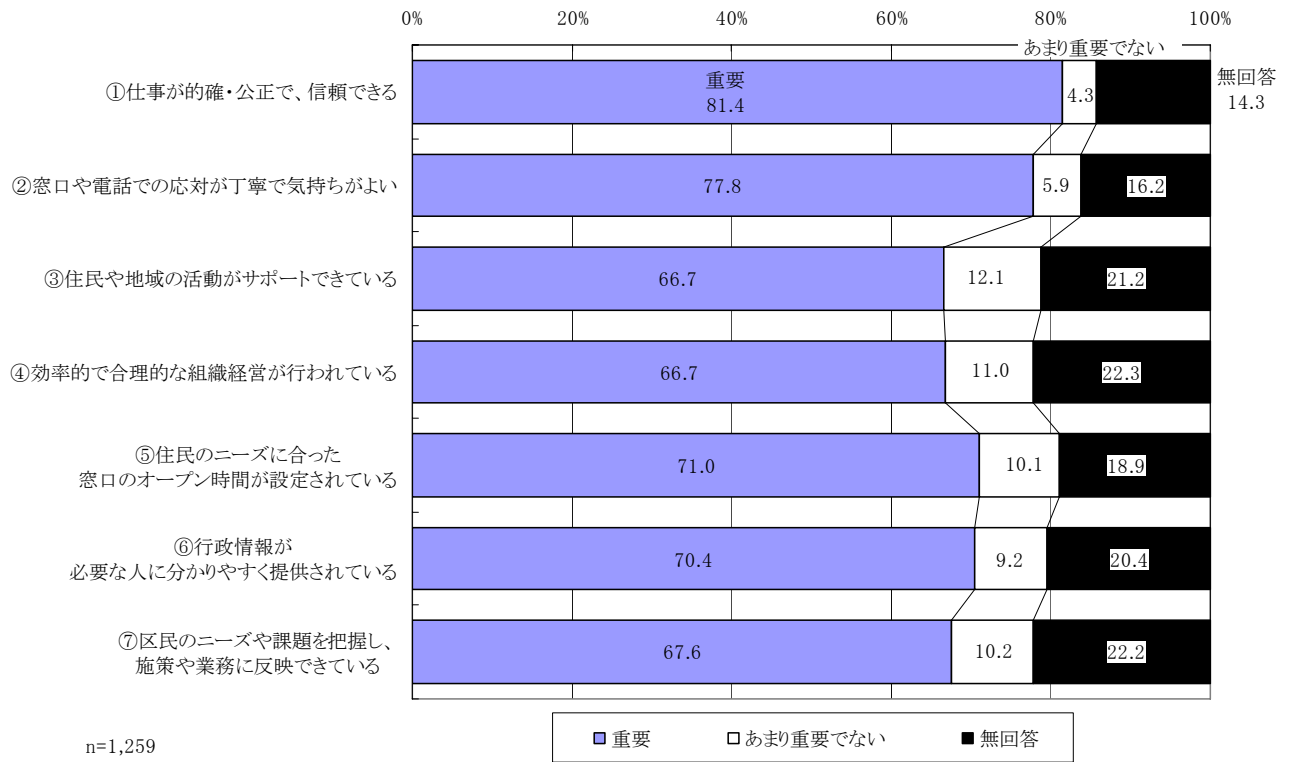
	平成18年度	平成19年度	増減
① 仕事 that 的確・公正で、信頼できる	63.9	74.7	10.8
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持ちが良い	62.2	64.3	2.0
③ 住民や地域の活動がサポートできている	39.9	41.0	1.1
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている	30.4	33.7	3.3
⑤ 住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている	51.0	48.5	-2.5
⑥ 行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている	36.1	37.9	1.8
⑦ 区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている	27.5	28.5	1.0



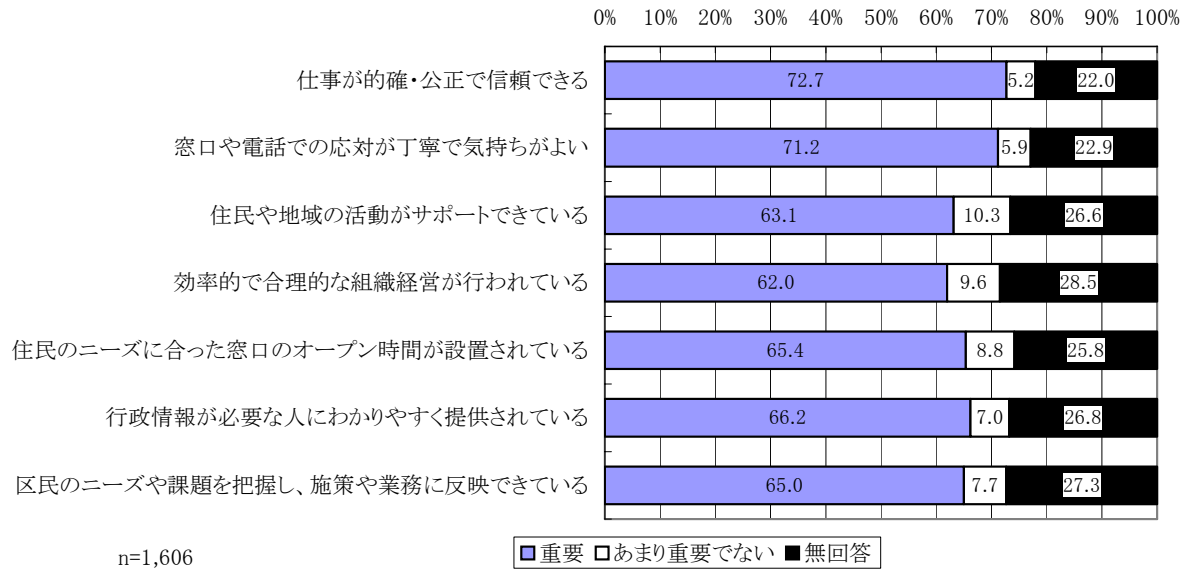
### 【区役所のあり方における重要度について】

- 区役所のあり方における重要度について、「重要」の割合が最も高いのは「①仕事の確・公正で、信頼できる」で81.4%である。次いで「②窓口や電話での応対が丁寧で気持ちが良い」の77.8%である。
- 以下、「重要」の割合が高い順に「⑤住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている」(71.0%)、「⑥行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている」(70.4%)、「⑦区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」(67.6%)、「③住民や地域の活動がサポートできている」と「④効率的で合理的な組織経営が行われている」(いずれも66.7%)となっている。ここでも③、④、⑥、⑦は「無回答」の割合が2割以上と高くなっている。
- 「あまり重要でない」の割合が高いのは「③住民や地域の活動がサポートできている」(12.1%)であり、最も割合が低いのは「①仕事の確・公正で、信頼できる」である。
- 平成18年度調査結果と比較すると、全ての項目で「重要」の割合が高くなっている。また全体として、仕事ぶりの評価と同様、平成19年度調査では「無回答」の割合が低くなっている。

図表 区役所のあり方における重要度について



図表 区役所のあり方における重要度について(平成18年度調査)



### ■ 年齢別 区役所の仕事ぶりについて(F2×問3)

- ・「仕事の的確・公正で、信頼できる」については、全ての年齢で半数以上が「そう思う」としており、特に70歳以上と30～34歳では7割を超えている。
- ・「窓口や電話での応対が丁寧で気持ちがよい」については、50代を除く全ての年齢で半数以上が「そう思う」としており、特に70歳以上では6割以上が「そう思う」としている。
- ・「住民や地域の活動がサポートできている」については、10代と「35～39歳」で高くなっている。
- ・「効率的で合理的な組織経営が行われている」については10代と20～24歳で高くなっている。
- ・「住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている」については、10代と55歳以上では4割を超えているが、20代～50代前半までは3割台にとどまっている。
- ・「行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている」については10代の半数が「そう思う」としているが、他は2割台～3割台となっている。
- ・「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」については10代から20代前半で「そう思う」の割合が高いが、他の年齢層では2割前後となっており、特に「55～59歳」で低くなっている。

**図表 年齢別 区役所の仕事ぶりについて**

(「そう思う」と回答した人の割合、無回答を含む)

問3 現在の区役所の仕事ぶりについて

		全体	仕事の的確・公正で、信頼できる	窓口や電話での応対が丁寧で気持ちがよい	住民や地域の活動がサポートできている	効率的で合理的な組織経営が行われている	住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている	行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている	区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている
全体		1,566	1,038	897	511	415	630	480	350
		100.0	66.3	57.3	32.6	26.5	40.2	30.7	22.3
F2 年齢	15～19歳	36	52.8	52.8	41.7	41.7	47.2	50.0	38.9
	20～24歳	63	61.9	52.4	38.1	38.1	31.7	34.9	38.1
	25～29歳	77	67.5	50.6	28.6	24.7	36.4	28.6	18.2
	30～34歳	115	71.3	59.1	38.3	23.5	30.4	31.3	20.9
	35～39歳	157	63.7	57.3	39.5	31.2	37.6	28.0	22.9
	40～44歳	122	69.7	57.4	31.1	27.0	31.1	29.5	20.5
	45～49歳	112	65.2	52.7	34.8	22.3	37.5	33.9	24.1
	50～54歳	107	59.8	48.6	30.8	22.4	32.7	21.5	21.5
	55～59歳	133	61.7	48.9	28.6	20.3	41.4	30.1	16.5
	60～64歳	149	65.8	59.7	26.2	22.1	50.3	24.2	18.1
	65～69歳	156	65.4	59.0	27.6	21.2	46.2	32.1	17.9
	70～74歳	151	72.8	68.9	34.4	27.8	48.3	33.8	23.2
	75歳以上	171	70.2	62.6	32.2	34.5	43.9	33.3	25.7
無回答		17	70.6	58.8	41.2	29.4	35.3	41.2	41.2

## ■ 年齢別 区のあり方における重要度(F2×問3)

- ・「仕事の的確・公正で、信頼できる」については全ての年齢で6割以上が「そう思う」としており、特に 20 代後半から 40 代までの年齢層では、9割を超えている。
- ・「窓口や電話での応対が丁寧で気持ちがよい」については全ての年齢で半数以上が「そう思う」としており、特に 20 代から 50 代では8割を超えており、最も高いのは「30～34 歳」(93.0%)である。
- ・「住民や地域の活動がサポートできている」については、「75 歳以上」を除く全ての年齢で半数以上が「そう思う」としている。特に「40～44 歳」と「50～54 歳」では8割を超えている。
- ・「効率的で合理的な組織経営が行われている」については、「30～34 歳」(85.2%)で最も高くなっている。
- ・「住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている」については「75 歳以上」を除く全ての年齢で半数以上が「そう思う」としている。「25～29 歳」と「30～34 歳」で最も高い。
- ・「行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている」については、「30～34 歳」(87.8%)で最も高くなっている。
- ・「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」については、「35～39 歳」で最も高くなっている。

### 図表 年齢別 区のあり方における重要度

(「重要」と回答した人の割合、無回答を含む)

問3 区役所のあり方における重要度

		全体	仕事の的確・公正で、信頼できる	窓口や電話での応対が丁寧で気持ちがよい	住民や地域の活動がサポートできている	効率的で合理的な組織経営が行われている	住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている	行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている	区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている
全体		1,566	1,275	1,219	1,044	1,045	1,112	1,102	1,059
		100.0	81.4	77.8	66.7	66.7	71.0	70.4	67.6
F 2 年齢	15～19歳	36	83.3	77.8	72.2	80.6	63.9	77.8	83.3
	20～24歳	63	84.1	82.5	69.8	68.3	71.4	71.4	69.8
	25～29歳	77	92.2	89.6	79.2	80.5	87.0	79.2	84.4
	30～34歳	115	93.0	93.0	76.5	85.2	87.0	87.8	82.6
	35～39歳	157	90.4	89.8	78.3	80.3	86.0	86.0	87.9
	40～44歳	122	91.8	91.0	82.0	82.8	82.0	85.2	80.3
	45～49歳	112	91.1	85.7	79.5	77.7	78.6	83.9	81.3
	50～54歳	107	87.9	84.1	83.2	74.8	83.2	80.4	82.2
	55～59歳	133	83.5	82.7	69.9	69.2	75.9	69.9	65.4
	60～64歳	149	73.8	69.8	57.7	60.4	66.4	59.7	61.1
	65～69歳	156	76.3	69.9	52.6	55.1	59.6	64.7	55.1
	70～74歳	151	68.2	63.6	50.3	44.4	56.3	48.3	42.4
	75歳以上	171	63.7	55.0	44.4	43.3	45.6	48.5	42.7
	無回答	17	70.6	70.6	64.7	58.8	52.9	52.9	52.9

■ 区役所に行く頻度別 区役所の仕事ぶりについて(問1×問3)

【仕事の的確・公正で、信頼できる】

- ・ 利用頻度が年に2回以上の人では「そう思う」の割合が7割を超えており、年に1回以下の人に比べて高くなっている。

図表 区役所に行く頻度別 区役所の仕事ぶりについて／①仕事の的確・公正で、信頼できる

問3 現在の区役所の仕事ぶりについて  
【仕事の的確・公正で、信頼できる】

		全体	そう思う	そう思わない	無回答
全体		1,566 100.0	1,038 66.3	352 22.5	176 11.2
問1 区役所 利用頻度	月に1回以上	138	70.3	18.8	10.9
	年に3～4回程度	373	74.0	20.4	5.6
	年に2回程度	345	72.2	20.3	7.5
	年に1回程度	311	65.6	24.4	10.0
	数年に1回	185	62.2	26.5	11.4
	ここ数年行ったことがない	187	46.0	28.3	25.7
	無回答	27	40.7	7.4	51.9

※「週に1回程度」、「月に2～3回程度」、「月に1回程度」はサンプル数が少ないことから、「月に1回以上」として統合した。

■ 区役所に行く頻度別 区役所の仕事ぶりについて(問1×問3)

【窓口や電話での対応が丁寧で気持ちが良い】

- ・ 利用頻度が年に2回以上の人では「そう思う」の割合が6割を超えており、年に1回以下の人に比べて高くなっている。

図表 区役所に行く頻度別 区役所の仕事ぶりについて／②窓口や電話での対応が丁寧で気持ちが良い

問3 現在の区役所の仕事ぶりについて  
【窓口や電話での対応が丁寧で気持ちが良い】

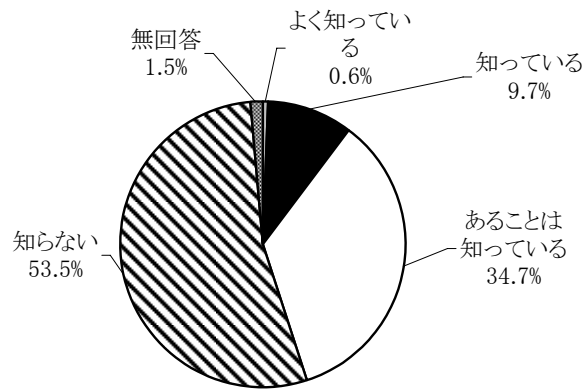
		全体	そう思う	そう思わない	無回答
全体		1,566 100.0	897 57.3	499 31.9	170 10.9
問1 区役所 利用頻度	月に1回程度	138	64.5	23.9	11.6
	年に3～4回程度	373	62.2	33.2	4.6
	年に2回程度	345	66.4	26.4	7.2
	年に1回程度	311	50.5	38.6	10.9
	数年に1回	185	54.6	35.7	9.7
	ここ数年行ったことがない	187	41.7	33.2	25.1
	無回答	27	40.7	11.1	48.1

※「週に1回程度」、「月に2～3回程度」、「月に1回程度」はサンプル数が少ないことから、「月に1回以上」として統合した。

**問4 瀬谷区では毎年、区政運営方針を策定し、それに基づいて各種施策・業務を実施しています。あなたは区政運営方針についてご存じでしたか。**

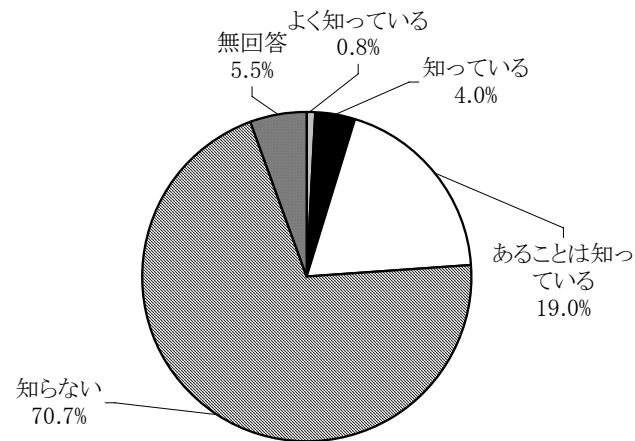
- ・ 「知らない」(53.5%)が半数強を占めており、次いで「あることは知っている」(34.7%)となっている。「知っている」(9.7%)、「よく知っている」(0.6%)は割合が低く、概ね1割にとどまっている。
- ・ 平成 18 年度調査と比較すると、「知っている」が 5.7 ポイント、「あることは知っている」が 15.7 ポイントそれぞれ増加している。また「知らない」は 17.2 ポイント減少しており、区政運営方針の認知度が高くなっていることがわかる。

**図表 区政運営方針の認知度**



n=1,566

**図表 区政運営方針の認知度(平成 18 年度調査)**



n=1,606

■ 年齢別 区政運営方針の認知度(F2×問4)

- ・ 全体として、年齢が高いほど認知度が高い傾向がみられる。「20～24 歳」では認知度が最も低く、「知らない」が8割以上となっている。一方、「75 歳以上」では「よく知っている」と「知っている」をあわせて、4分の1である。

図表 年齢別 区のあり方における重要度

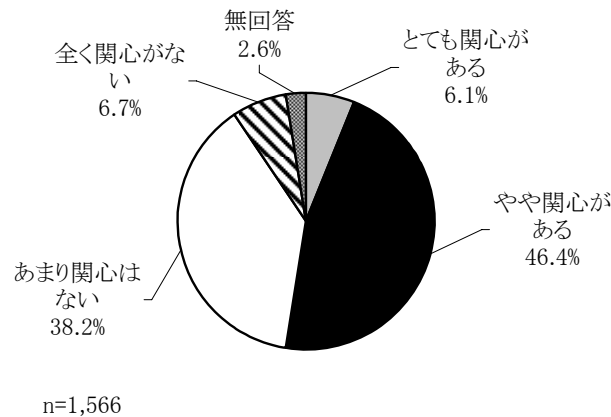
問4 区政運営方針の認知度

		全体	よく知っ ている	知ってい る	あること は知って いる	知らない	無回答
全 体		1,566	10	152	543	838	23
		100.0	0.6	9.7	34.7	53.5	1.5
F 2 年齢	15～19歳	36	0.0	2.8	25.0	72.2	0.0
	20～24歳	63	0.0	1.6	14.3	84.1	0.0
	25～29歳	77	0.0	1.3	19.5	79.2	0.0
	30～34歳	115	0.9	1.7	27.8	68.7	0.9
	35～39歳	157	0.0	2.5	29.3	66.9	1.3
	40～44歳	122	0.0	1.6	29.5	68.9	0.0
	45～49歳	112	0.9	8.9	28.6	61.6	0.0
	50～54歳	107	0.9	7.5	37.4	53.3	0.9
	55～59歳	133	0.0	10.5	32.3	55.6	1.5
	60～64歳	149	1.3	14.1	39.6	45.0	0.0
	65～69歳	156	0.0	14.7	46.2	35.9	3.2
	70～74歳	151	0.7	17.2	51.0	29.1	2.0
	75歳以上	171	2.3	21.6	39.8	31.6	4.7
無回答	17	0.0	11.8	29.4	52.9	5.9	

**問5 あなたは区政運営方針について関心がありますか。**

- 「やや関心がある」(46.4%)が最も多く、「とても関心がある」(6.1%)とあわせると 52.5%であり、半数を超えている。「あまり関心はない」(38.2%)、「全く関心がない」(6.7%)をあわせた無関心層(44.9%)と比べて、割合はやや高くなっている。

**図表 区政運営方針への関心**



**■ 年齢別 区政運営方針への関心(F2×問5)**

- 「とても関心がある」と「やや関心がある」をあわせた割合をみると、年齢が上がるほど関心が高くなる傾向がみられる。
- 20代前半までは約2割で最も低く、「35～39歳」、「40～44歳」と50歳以上では半数以上となっている。65歳以上では6割を超えている。

**図表 年齢別 区政運営方針への関心**

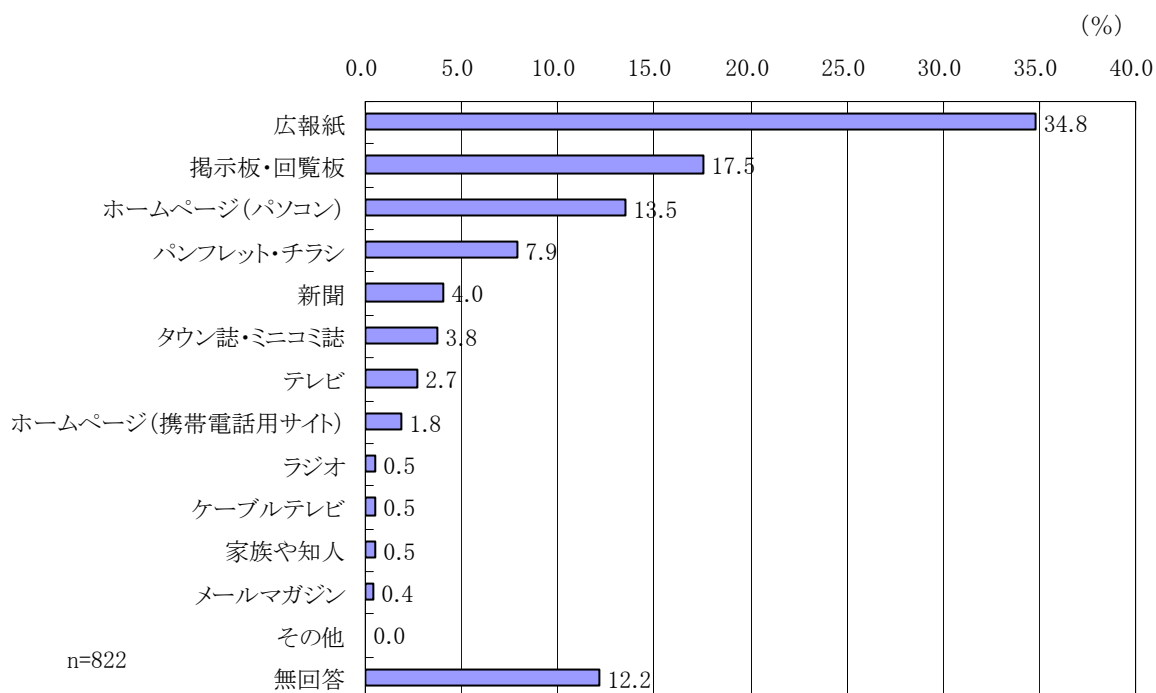
		全体	とても関心がある	やや関心がある	あまり関心はない	全く関心がない	無回答	「とても関心がある」 + 「やや関心がある」 計
全体		1,566	96	726	598	105	41	52.5
		100.0	6.1	46.4	38.2	6.7	2.6	
F2 年齢	15～19歳	36	0.0	22.2	44.4	33.3	0.0	22.2
	20～24歳	63	3.2	22.2	52.4	20.6	1.6	25.4
	25～29歳	77	0.0	35.1	57.1	7.8	0.0	35.1
	30～34歳	115	6.1	39.1	43.5	10.4	0.9	45.2
	35～39歳	157	3.2	48.4	40.1	7.0	1.3	51.6
	40～44歳	122	4.1	47.5	41.0	6.6	0.8	51.6
	45～49歳	112	5.4	33.9	52.7	8.0	0.0	39.3
	50～54歳	107	6.5	46.7	43.0	1.9	1.9	53.3
	55～59歳	133	5.3	48.1	41.4	3.8	1.5	53.4
	60～64歳	149	6.0	51.7	34.2	6.7	1.3	57.7
	65～69歳	156	7.7	53.2	32.7	1.9	4.5	60.9
70～74歳	151	6.6	58.9	27.8	2.6	4.0	65.6	
75歳以上	171	14.6	50.3	19.3	5.8	9.9	64.9	
無回答	17	5.9	64.7	29.4	0.0	0.0	70.6	



問5-1 問5で「1とても関心がある」「2やや関心がある」と答えた方にうかがいます。あなたは区政運営方針の情報をどのような手段で得たいですか。(区政運営方針に関心がある人のみ)

- ・「広報紙」(34.8%)が最も多く、「掲示板・回覧板」(17.5%)とあわせて半数以上を占めている。次いで「ホームページ(パソコン)」(13.5%)、「パンフレット・チラシ」(7.9%)と続き、「新聞」、「タウン誌・ミニコミ誌」、「テレビ」、「ホームページ(携帯電話用サイト)」、「ラジオ」、「ケーブルテレビ」、「家族や知人」、「メールマガジン」はそれぞれ5%未満にとどまっている。

図表 希望する区政運営方針の情報取得手段



■ 年齢別 希望する区政運営方針の情報取得手段(F2×問5-1)

- ・ 10代～20代では「ホームページ(パソコン)」が最も高く、他の年齢層に比べて高くなっている。
- ・ 30代以降は「広報紙」の割合が高く、65歳以降では4割以上が「広報紙」を挙げている。また60代以上では「掲示板・回覧板」の割合も概ね高くなっている。

図表 年齢別 希望する区政運営方針の情報取得手段

問5-1 希望する区政運営方針の情報取得手段

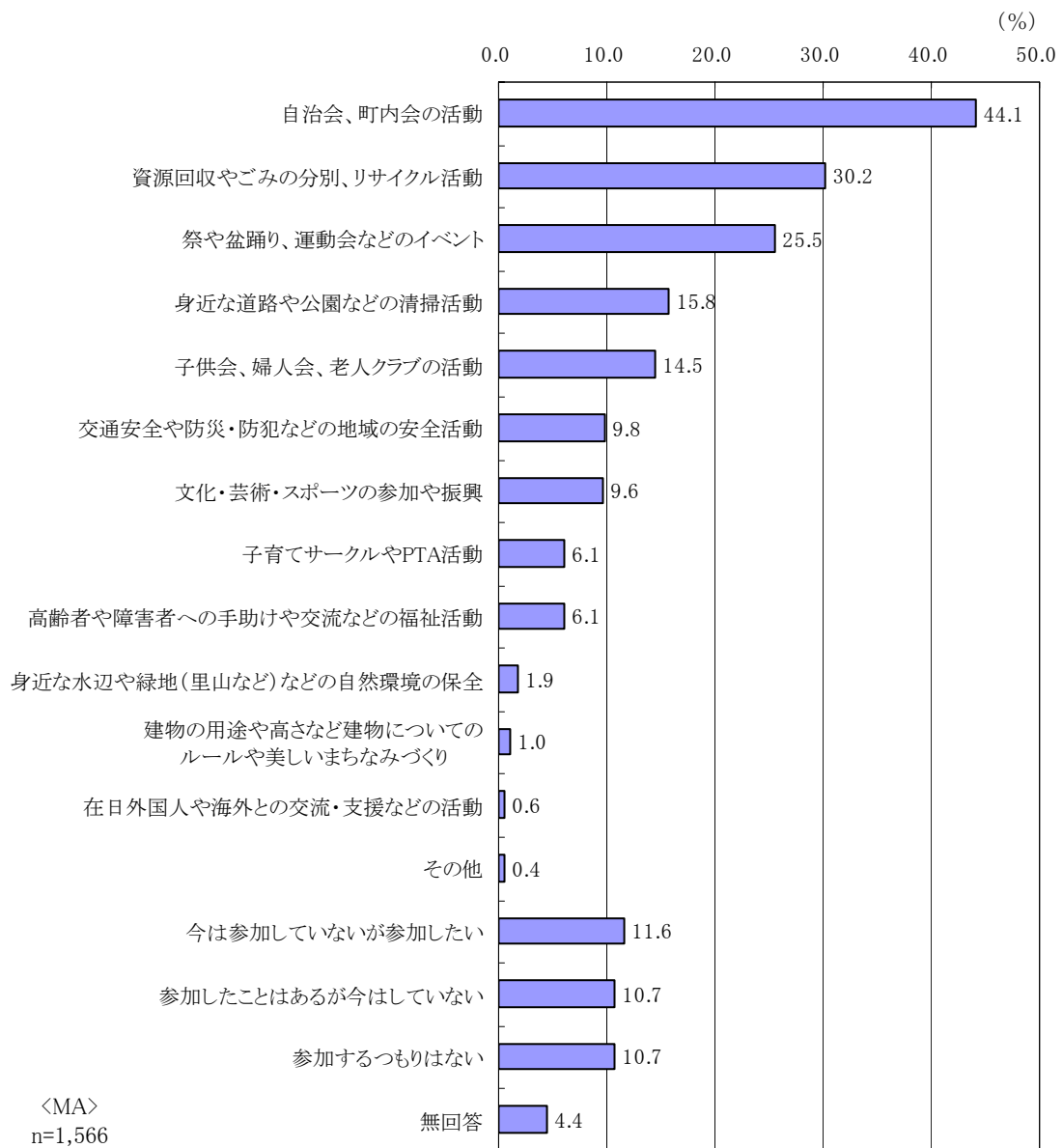
		全体	ホームページ (パソコン)	ホームページ (携帯電話用 サイ)	メールマガ ジン	テレビ	ラジオ	ケー ブル テレビ	新聞	パン フレ ット・ チラ シ	掲 示 板・ 回 覧 板	タ ウ ン 誌・ ミ ニ コ ミ 誌	家 族 や 知 人	広 報 紙	そ の 他	無 回 答
全 体		822 100.0	111 13.5	15 1.8	3 0.4	22 2.7	4 0.5	4 0.5	33 4.0	65 7.9	144 17.5	31 3.8	4 0.5	286 34.8	0 0.0	100 12.2
F 2 年 齢	15～19歳	8	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	20～24歳	16	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	6.3	0.0	12.5	0.0	12.5
	25～29歳	27	29.6	7.4	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	7.4	14.8	3.7	0.0	18.5	0.0	7.4
	30～34歳	52	17.3	5.8	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8	13.5	13.5	1.9	0.0	28.8	0.0	11.5
	35～39歳	81	24.7	2.5	0.0	3.7	0.0	0.0	2.5	13.6	16.0	2.5	0.0	28.4	0.0	6.2
	40～44歳	63	17.5	7.9	0.0	4.8	1.6	0.0	3.2	4.8	9.5	0.0	0.0	39.7	0.0	11.1
	45～49歳	44	25.0	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	9.1	13.6	4.5	2.3	25.0	0.0	13.6
	50～54歳	57	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	8.8	7.0	15.8	0.0	0.0	33.3	0.0	19.3
	55～59歳	71	9.9	0.0	0.0	5.6	0.0	1.4	5.6	9.9	16.9	4.2	1.4	32.4	0.0	12.7
	60～64歳	86	12.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	3.5	3.5	26.7	9.3	0.0	31.4	0.0	11.6
	65～69歳	95	9.5	0.0	0.0	3.2	1.1	0.0	4.2	9.5	13.7	2.1	1.1	44.2	0.0	11.6
	70～74歳	99	5.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.1	3.0	20.2	7.1	1.0	44.4	0.0	11.1
	75歳以上	111	1.8	0.0	0.0	0.9	0.9	0.9	2.7	8.1	26.1	2.7	0.0	42.3	0.0	13.5
無回答		12	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	33.3

## 2. 地域での活動について

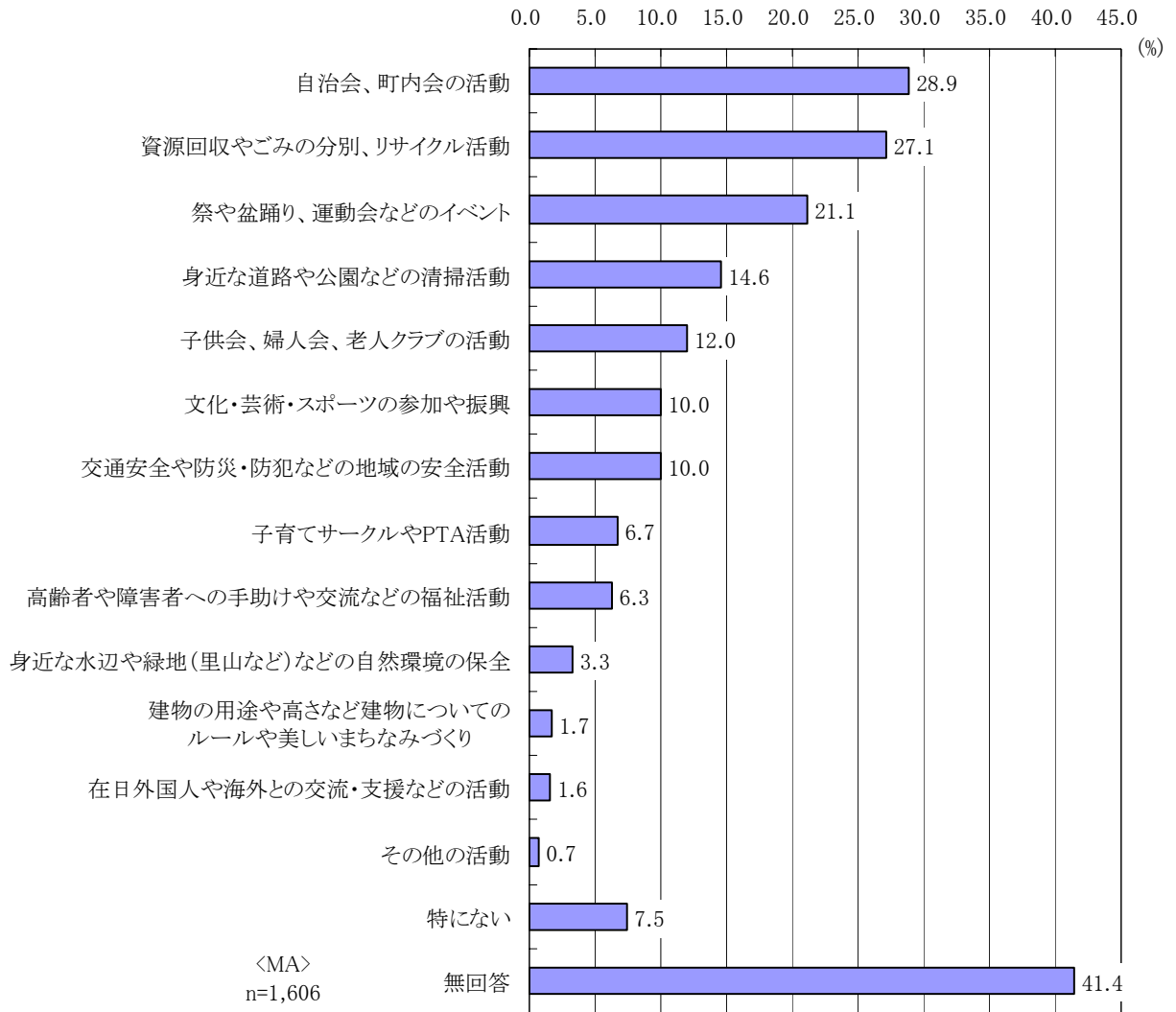
### 問6 あなたは、どのような地域の活動に参加していますか。(複数回答)

- ・「自治会、町内会の活動」(44.1%)が最も多く、次いで「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(30.2%)、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(25.5%)となっている。以下、参加率の高い順に、「身近な道路や公園などの清掃活動」(15.8%)、「子供会、婦人会、老人クラブの活動」(14.5%)、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」(9.8%)、「文化・芸術・スポーツの参加や振興」(9.6%)、「子育てサークルやPTA活動」(6.1%)、「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」(6.1%)、「身近な水辺や緑地(里山など)などの自然環境の保全」(1.9%)、「建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり」(1.0%)、「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」(0.6%)、「その他」(0.4%)となっている。
- ・一方、「今は参加していないが参加したい」は11.6%、「参加するつもりはない」と「参加したことはあるが今はしていない」はそれぞれ10.7%となっており、この3項目はほぼ同程度である。
- ・平成18年度調査と比較すると、活動ごとの割合はほぼ同じ結果であるが、今年度調査では「自治会、町内会の活動」への参加率が15.2ポイント増で高くなっている。

図表 参加している地域の活動



図表 参加している地域の活動(平成 18 年度調査)



■ 年齢別 参加している地域の活動(F2×問6)

- 年齢別に活動の状況を見ると、「自治会、町内会の活動」については、50～60代の半数以上が参加している。「子供会、婦人会、老人クラブの活動」は「40～44歳」、「70～74歳」のそれぞれ2割以上が参加している。「身近な道路や公園などの清掃活動」は60歳以上の2割以上が参加している。また75歳以上でも2割を超えている。「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」については、35歳から74歳までの3割以上が参加している。
- 活動に参加していない人の状況を見ると、20代までの若年層で割合が高く、「今は参加していないが参加したい」については、20～30代の概ね2割以上が回答している。また「参加したことはあるが今はしていない」は10代から20代前半で多く、「参加するつもりはない」については、20代の2割以上となっている。

図表 年齢別 参加している地域の活動

問6 参加している地域の活動（複数回答）

		全体	自治会、町内会の活動	子供会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術・スポーツの参加や振興	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	身近な水辺や緑地（里山など）の自然環境の保全	在日外国人や海外との交流・支援などの活動	子育てサークルやPTA活動	交通安全や防災などの地域の安全活動	建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちづくり	その他	今は参加していないが参加したい	参加したことはあるが今はしていない	参加するつもりはない	無回答
全体		1,566	690	227	95	247	150	399	473	29	9	96	153	16	7	182	167	168	69
		—	44.1	14.5	6.1	15.8	9.6	25.5	30.2	1.9	0.6	6.1	9.8	1.0	0.4	11.6	10.7	10.7	4.4
F2 年齢	15～19歳	36	0.0	13.9	0.0	8.3	5.6	36.1	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	38.9	13.9	0.0
	20～24歳	63	11.1	0.0	0.0	1.6	3.2	12.7	12.7	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	23.8	28.6	20.6	0.0
	25～29歳	77	11.7	2.6	0.0	5.2	1.3	15.6	24.7	0.0	0.0	9.1	5.2	1.3	0.0	26.0	7.8	26.0	2.6
	30～34歳	115	32.2	10.4	1.7	4.3	5.2	21.7	29.6	0.9	0.0	6.1	4.3	1.7	0.0	20.9	8.7	18.3	1.7
	35～39歳	157	44.6	19.1	0.6	11.5	8.9	31.2	33.8	1.3	1.3	17.2	5.7	1.3	0.0	19.1	5.1	14.6	1.3
	40～44歳	122	44.3	23.8	4.9	13.1	7.4	27.0	31.1	0.0	0.8	16.4	10.7	0.0	0.0	13.9	9.0	11.5	0.0
	45～49歳	112	48.2	16.1	4.5	9.8	4.5	24.1	35.7	0.9	0.9	12.5	12.5	0.0	0.9	9.8	9.8	15.2	2.7
	50～54歳	107	55.1	12.1	11.2	19.6	11.2	28.0	34.6	0.9	0.0	8.4	10.3	3.7	1.9	8.4	13.1	9.3	3.7
	55～59歳	133	59.4	12.0	9.0	15.8	13.5	24.8	34.6	0.8	0.0	4.5	12.0	0.0	0.0	9.0	12.8	4.5	3.8
	60～64歳	149	57.7	11.4	9.4	20.8	14.1	28.2	30.9	2.0	0.0	0.7	11.4	2.0	1.3	12.1	6.0	4.0	7.4
	65～69歳	156	58.3	13.5	7.1	27.6	14.1	28.2	32.1	3.8	0.6	0.6	12.8	1.3	0.6	7.7	7.7	7.1	3.8
70～74歳	151	48.3	20.5	11.3	25.2	13.9	27.2	33.1	4.6	0.0	1.3	16.6	0.0	0.0	4.6	10.6	5.3	6.6	
75歳以上	171	38.6	18.1	8.8	20.5	8.8	21.6	25.1	3.5	2.3	0.6	10.5	0.6	0.6	2.3	11.1	7.6	12.9	
無回答	17	29.4	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	29.4	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	11.8	5.9	11.8	

■ 居住地区別 参加している地域の活動(F3×問6)

- 「自治会、町内会の活動」への参加率については「阿久和南部連合自治会」で最も高い。また「子供会、婦人会、老人クラブの活動」については「阿久和南部連合自治会」と「本郷地区連合自治会」で2割を超えている。「祭や盆踊り、運動会などのイベント」については「本郷地区連合自治会」で最も高くなっている。「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」については「南瀬谷自治連合会」で4割を超えている。
- 「今は参加していないが参加したい」については「瀬谷北部町内連合会」で最も高く、「参加したことはあるが今はしていない」については「瀬谷第一地区連合町内会」と「宮沢連合自治会」で高い。「参加するつもりはない」については「三ツ境連合自治会」で最も高い。

図表 居住地区別 参加している地域の活動

問6 参加している地域の活動（複数回答）

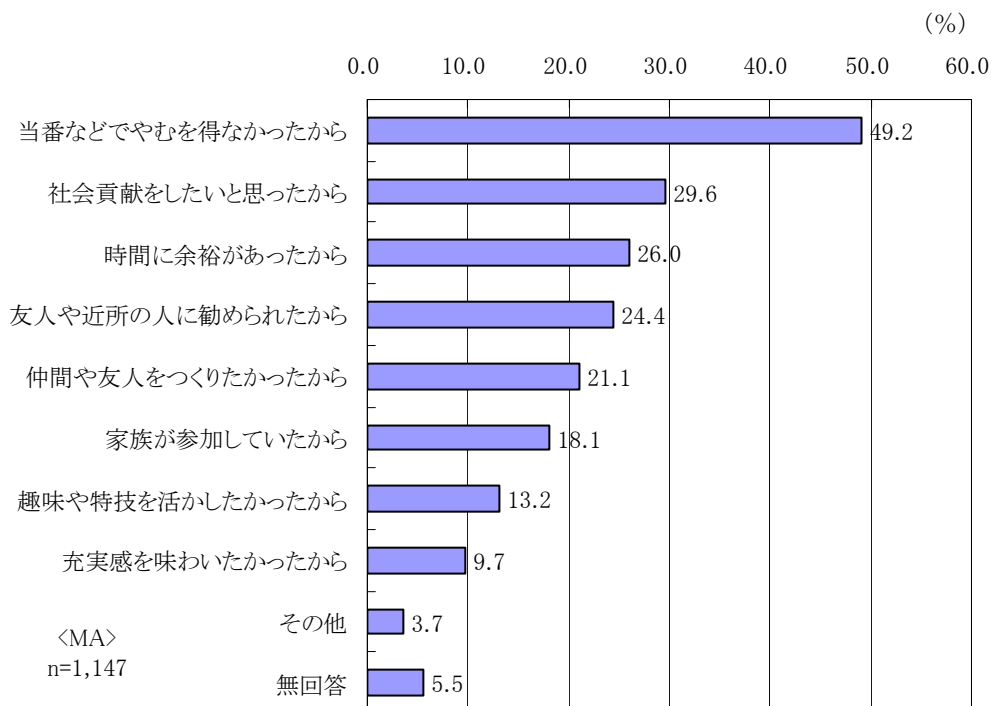
		全体	自治会、町内会の活動	子供会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術・スポーツの参加や振興	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	身近な水辺や緑地（里山など）などの自然環境の保全	在日外国人や海外との交流・支援などの活動
全体		1,566	690	227	95	247	150	399	473	29	9
		—	44.1	14.5	6.1	15.8	9.6	25.5	30.2	1.9	0.6
F3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	47.8	12.7	7.5	20.9	11.2	22.4	41.8	2.2	0.7
	阿久和南部連合自治会	152	55.3	21.1	7.2	17.1	10.5	30.9	30.3	0.0	0.0
	三ツ境連合自治会	106	47.2	11.3	6.6	10.4	5.7	31.1	33.0	0.9	0.9
	瀬谷第一地区連合町内会	80	30.0	12.5	3.8	12.5	2.5	20.0	33.8	1.3	0.0
	本郷地区連合自治会	94	43.6	21.3	2.1	16.0	10.6	34.0	27.7	1.1	1.1
	瀬谷北部町内連合会	89	42.7	15.7	10.1	13.5	11.2	24.7	27.0	0.0	0.0
	瀬谷第二地区連合自治会	288	42.0	11.1	4.2	17.7	10.1	22.9	28.5	1.0	0.7
	細谷戸連合町内会	46	50.0	15.2	13.0	10.9	4.3	30.4	37.0	2.2	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	154	48.1	11.7	9.1	22.7	11.7	20.1	27.3	3.2	1.3
	南瀬谷自治連合会	93	46.2	12.9	2.2	21.5	8.6	25.8	43.0	2.2	1.1
	宮沢連合自治会	125	46.4	19.2	8.0	14.4	12.8	31.2	28.8	7.2	0.8
	相沢町内連合会	173	34.7	15.6	4.6	8.7	9.2	23.1	20.2	1.7	0.0
無回答	32	31.3	6.3	3.1	3.1	6.3	15.6	21.9	0.0	0.0	

		全体	子育てサークルやPTA活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	その他	今は参加していないが参加したい	参加したことはあるが今はしていない	参加するつもりはない	無回答
全体		1,566	96	153	16	7	182	167	168	69
		—	6.1	9.8	1.0	0.4	11.6	10.7	10.7	4.4
F3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	4.5	16.4	0.0	0.7	9.0	7.5	13.4	4.5
	阿久和南部連合自治会	152	5.3	12.5	1.3	0.0	9.9	9.2	8.6	3.3
	三ツ境連合自治会	106	6.6	14.2	0.9	0.0	14.2	4.7	14.2	3.8
	瀬谷第一地区連合町内会	80	8.8	2.5	1.3	1.3	8.8	16.3	10.0	5.0
	本郷地区連合自治会	94	11.7	11.7	0.0	1.1	13.8	8.5	10.6	6.4
	瀬谷北部町内連合会	89	9.0	9.0	1.1	0.0	16.9	5.6	12.4	3.4
	瀬谷第二地区連合自治会	288	5.6	8.7	2.1	0.7	13.5	11.8	12.2	3.8
	細谷戸連合町内会	46	2.2	13.0	0.0	0.0	6.5	6.5	8.7	8.7
	瀬谷第四地区連合自治会	154	5.8	9.1	1.3	0.6	8.4	13.6	6.5	4.5
	南瀬谷自治連合会	93	3.2	9.7	1.1	0.0	4.3	9.7	10.8	4.3
	宮沢連合自治会	125	8.8	4.8	0.0	0.8	8.8	16.0	6.4	4.0
	相沢町内連合会	173	4.6	8.7	1.2	0.0	16.2	12.7	13.9	3.5
無回答	32	3.1	3.1	0.0	0.0	21.9	9.4	6.3	12.5	

**問7 あなたが地域の活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(現在活動に参加している人のみ、3つまでの複数回答)**

- 「当番などでやむを得なかったから」が 49.2%で最も多く、約半数が挙げている。次いで「社会貢献をしたいと思ったから」(29.6%)、「時間に余裕があったから」(26.0%)、「友人や近所の人に勧められたから」(24.4%)、「仲間や友人をつくりたかったから」(21.1%)、「家族が参加していたから」(18.1%)、「趣味や特技を活かしたかったから」(13.2%)、「充実感を味わいたかったから」(9.7%)、「その他」(3.7%)となっている。

**図表 地域の活動に参加した主な理由**



**■ 男女別 地域の活動に参加した主な理由(F1×問7)**

- 男女別に参加理由をみると、女性では「当番などでやむを得なかったから」が半数を超えており、男性を上回っている。また「時間に余裕があったから」、「友人や近所の人に勧められたから」、「仲間や友人をつくりたかったから」の割合も男性と比べてやや高い。
- 男性では、「家族が参加していたから」、「社会貢献をしたいと思ったから」、「趣味や特技を活かしたかったから」、「充実感を味わいたかったから」の割合が女性に比べて高くなっている。

**図表 男女別 地域の活動に参加した主な理由**

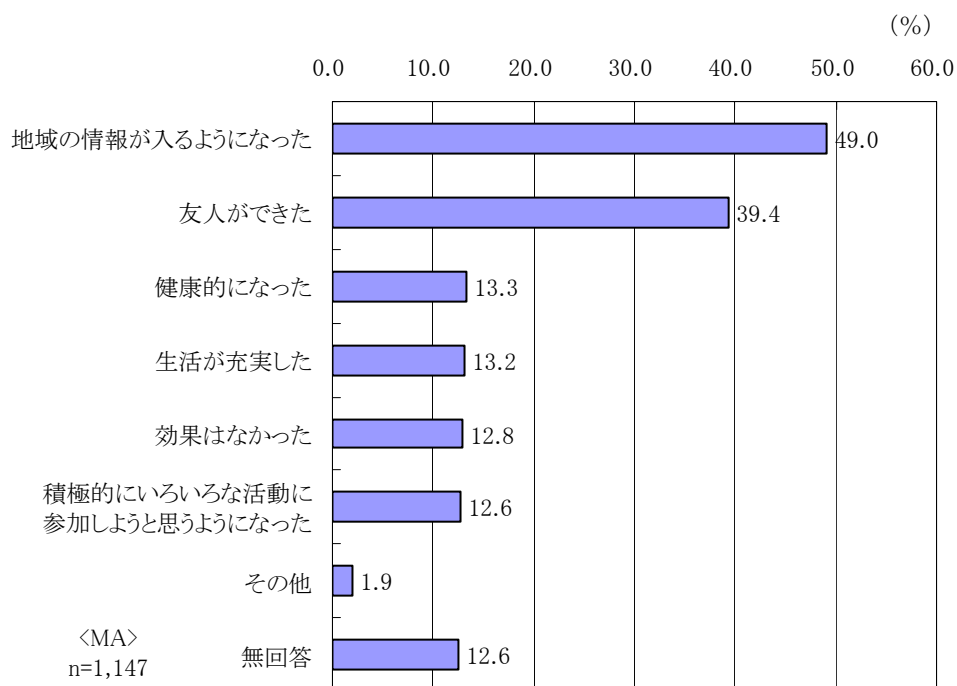
問7 地域の活動に参加した主な理由 (3つまで回答)

		全体	社会貢献を したいと思っ たから	友人や近所 の人に勧め られたから	充実感を味 わいたから	時間に余裕 があったか ら	家族が参加 していたか ら	趣味や特技 を活かした かったから	仲間や友人 をつくりた かったから	当番など でやむを得 なかったか ら	その他	無回答
全体		1,147	339	280	111	298	208	151	242	564	42	63
		—	29.6	24.4	9.7	26.0	18.1	13.2	21.1	49.2	3.7	5.5
F1 性別	男性	424	30.9	22.6	11.6	22.9	23.6	15.1	18.2	44.3	4.2	5.7
	女性	699	28.8	25.6	8.9	28.2	14.7	12.2	22.7	52.8	3.4	5.0
	無回答	24	29.2	20.8	0.0	16.7	20.8	8.3	25.0	29.2	0.0	16.7

**問8 あなたは、活動に参加して次のような効果がありましたか。(現在活動に参加している人のみ、複数回答)**

- ・「地域の情報が入ようになった」が 49.0%で最も多く、約半数が挙げている。次いで効果として高かった順に「友人ができた」(39.4%)、「健康的になった」(13.3%)、「生活が充実した」(13.2%)、「積極的にいろいろな活動に参加しようと思うようになった」(12.6%)、「その他」(1.9%)となっている。一方、「効果はなかった」は 12.8%であった。
- ・「当番などでやむを得なかったから」など、活動に参加した理由が消極的な理由だったとしても、実際に活動に参加したことによって、人とのつながりができた、地域の情報が入ようになったなど、何らかの効果は実感されていることがわかる。

**図表 地域の活動に参加したことによる効果**





■ 年齢別 地域の活動に参加したことによる効果(F2×問7)

- ・ 全体的に、いずれの年齢においても「地域の情報が入るようになった」と「友人ができた」の割合が高くなっている。「地域の情報が入るようになった」は40代以上で特に多く、「45～49歳」で6割を超えている。「友達ができた」については年齢が高い層ほど割合が高く、60代以降では4割を超えている。「健康的になった」も高齢者層で割合が高く、65歳以上では2割を超えている。
- ・ 一方、「効果はなかった」は「15～19歳」と「25～29歳」で3割を超えている。

図表 年齢別 地域の活動に参加したことによる効果

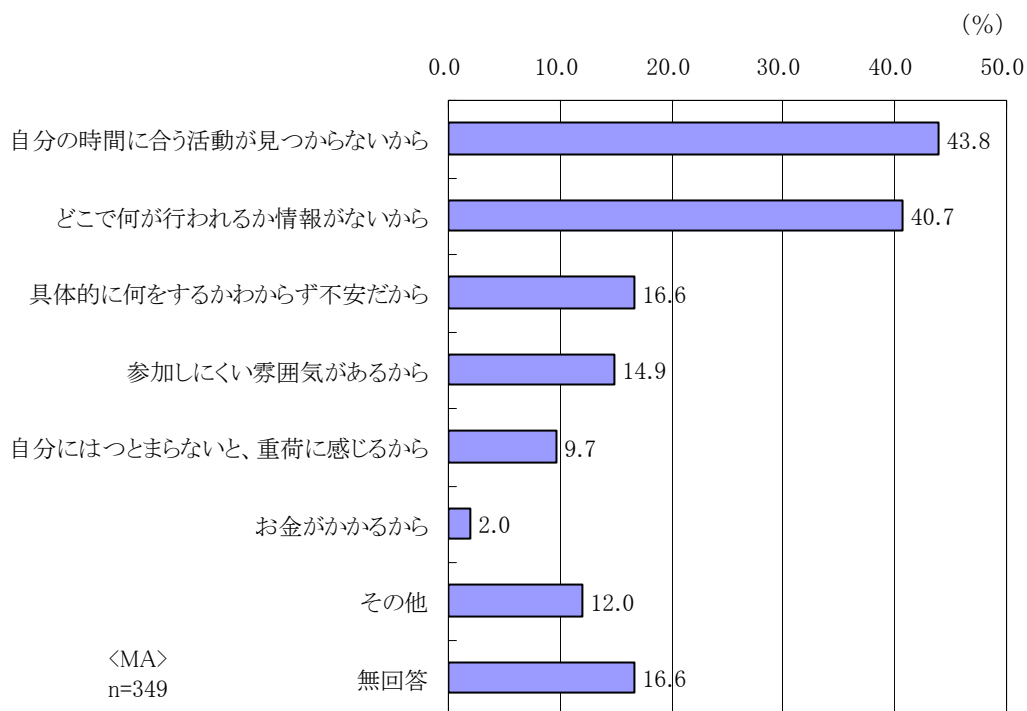
問8 地域の活動に参加したことによる効果（複数回答）

		全体	友人ができた	生活が充実した	地域の情報が入るようになった	健康的になった	積極的にいろいろな活動に参加しようと思うようになった	効果はなかった	その他	無回答
全体		1,147	452	151	562	152	145	147	22	144
		—	39.4	13.2	49.0	13.3	12.6	12.8	1.9	12.6
F2 年齢	15～19歳	30	26.7	13.3	23.3	0.0	6.7	36.7	3.3	0.0
	20～24歳	35	28.6	20.0	25.7	14.3	11.4	11.4	0.0	22.9
	25～29歳	35	17.1	22.9	20.0	2.9	2.9	31.4	2.9	20.0
	30～34歳	68	22.1	17.6	32.4	7.4	10.3	25.0	4.4	5.9
	35～39歳	102	39.2	11.8	48.0	2.9	12.7	19.6	2.9	6.9
	40～44歳	91	39.6	11.0	58.2	0.0	8.8	18.7	1.1	4.4
	45～49歳	81	32.1	8.6	63.0	2.5	7.4	14.8	1.2	11.1
	50～54歳	85	35.3	12.9	58.8	9.4	15.3	8.2	1.2	12.9
	55～59歳	110	31.8	10.9	54.5	11.8	8.2	15.5	3.6	13.6
	60～64歳	114	42.1	9.6	51.8	10.5	16.7	12.3	0.0	13.2
	65～69歳	127	45.7	14.2	51.2	24.4	19.7	3.9	2.4	12.6
	70～74歳	125	55.2	10.4	54.4	24.0	19.2	4.8	1.6	14.4
	75歳以上	132	51.5	16.7	43.2	30.3	10.6	3.0	1.5	21.2
	無回答	12	25.0	33.3	41.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7

**問9 参加しない大きな理由はなんですか。(問6で「14 今は参加していないが参加したい」または「15 参加したことはあるが今はしていない」と答えた人のみ、2つまでの複数回答)**

- ・「自分の時間に合う活動が見つからないから」が 43.8%、「どこで何が行われるか情報がないから」が 40.7%で、この2項目については4割以上が挙げている。次いで多い順に「具体的に何をやるかわからず不安だから」(16.6%)、「参加しにくい雰囲気があるから」(14.9%)、「その他」(12.0%)、「自分にはつとまらないと、重荷に感じるから」(9.7%)、「お金がかかるから」(2.0%)となっている。

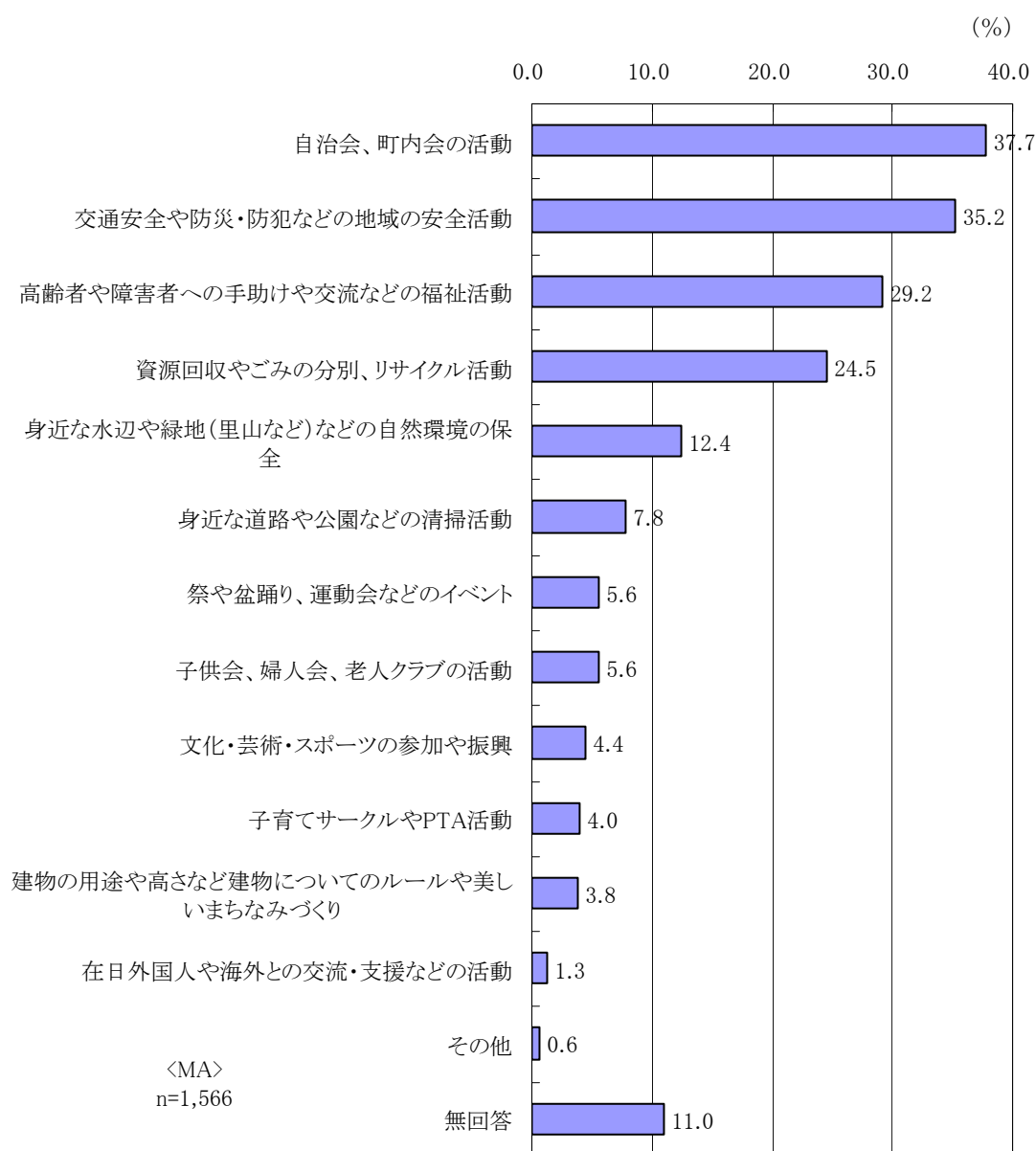
**図表 地域の活動に参加しない大きな理由**



**問10 地域が取り組む活動でとくに重要だと思う活動はどれですか。(2つまでの複数回答)**

- ・「自治会、町内会の活動」(37.7%)、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」(35.2%)で、この2項目については3割以上が挙げている。次いで多い順に「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」(29.2%)、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(24.5%)、「身近な水辺や緑地(里山など)などの自然環境の保全」(12.4%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(7.8%)、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」と「子供会、婦人会、老人クラブの活動」(ともに 5.6%)、「文化・芸術・スポーツの参加や振興」(4.4%)、「子育てサークルや PTA 活動」(4.0%)、「建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり」(3.8%)、「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」(1.3%)、「その他」(0.6%)となっている。

**図表 地域が取り組む活動でとくに重要だと思う活動**



■ 居住地域別 地域が取り組む活動でとくに重要だと思う活動(F3×問10)

- 全体的にいずれの地域においても「自治会、町内会の活動」の割合が高く、「細谷戸連合町内会」では半数を占めている。
- 「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」については「瀬谷第四地区連合自治会」と「細谷戸連合町内会」で、他の地域に比べて高くなっている。また「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」については、「阿久和北部連合自治会」、「本郷地区連合自治会」、「瀬谷北部町内連合会」で4割を超えており、高くなっている。

図表 居住地域別 地域が取り組む活動でとくに重要だと思う活動

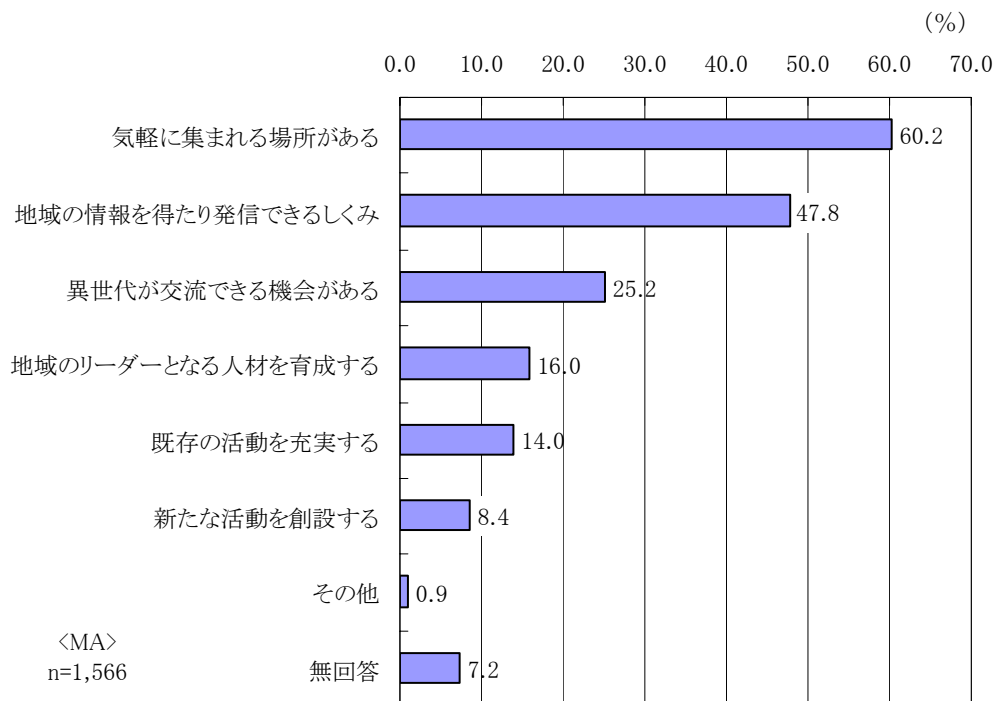
問10 地域が取り組む活動でとくに重要だと思う活動（2つまで回答）

		全体	自治会、町内会の活動	子供会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術・スポーツの参加や振興	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	身近な水辺や緑地（里山など）の自然環境の保全	在日外国人や海外との交流・支援などの活動	子育てサークルやPTA活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちづくり	その他	無回答
全体		1,566	591	87	457	122	69	88	384	194	21	62	552	59	9	172
		—	37.7	5.6	29.2	7.8	4.4	5.6	24.5	12.4	1.3	4.0	35.2	3.8	0.6	11.0
F3 居住 地域	阿久和北部連合自治会	134	34.3	6.0	31.3	4.5	3.0	6.0	24.6	9.0	3.0	4.5	40.3	4.5	0.7	10.4
	阿久和南部連合自治会	152	41.4	2.6	25.7	9.9	5.3	5.9	23.0	11.2	2.0	5.3	36.8	2.0	0.0	10.5
	三ツ境連合自治会	106	38.7	3.8	29.2	11.3	1.9	4.7	25.5	12.3	0.0	4.7	33.0	4.7	0.0	12.3
	瀬谷第一地区連合町内会	80	33.8	10.0	27.5	3.8	1.3	10.0	18.8	11.3	1.3	3.8	37.5	6.3	0.0	13.8
	本郷地区連合自治会	94	43.6	3.2	25.5	9.6	2.1	10.6	20.2	12.8	1.1	2.1	40.4	2.1	0.0	11.7
	瀬谷北部町内連合会	89	29.2	3.4	30.3	3.4	7.9	9.0	21.3	12.4	2.2	3.4	40.4	4.5	1.1	13.5
	瀬谷第二地区連合自治会	288	36.1	4.5	28.5	9.4	6.9	3.8	26.7	13.5	1.4	3.8	35.1	4.2	1.0	9.7
	細谷戸連合町内会	46	50.0	2.2	34.8	4.3	0.0	10.9	23.9	10.9	0.0	4.3	21.7	2.2	0.0	10.9
	瀬谷第四地区連合自治会	154	36.4	6.5	35.7	4.5	4.5	3.9	27.3	11.0	1.3	3.9	33.8	3.9	0.0	11.0
	南瀬谷自治連合会	93	34.4	7.5	28.0	9.7	5.4	4.3	28.0	14.0	1.1	3.2	35.5	2.2	0.0	10.8
	宮沢連合自治会	125	42.4	5.6	31.2	6.4	3.2	4.8	27.2	16.0	1.6	4.0	28.0	4.0	1.6	8.8
	相沢町内連合会	173	41.0	9.2	25.4	9.8	4.6	3.5	23.1	12.1	0.6	4.6	34.7	3.5	1.2	11.6
	無回答	32	25.0	9.4	31.3	12.5	3.1	6.3	18.8	15.6	0.0	0.0	37.5	6.3	0.0	12.5

**問11 地域のコミュニティを充実させていくためにどのようなことが必要だと思いますか。(2つまでの複数回答)**

- ・ 「気軽に集まれる場所がある」(60.2%)が最も多く、6割に達している。次いで「地域の情報を得たり発信できるしくみ」(47.8%)、「異世代が交流できる機会がある」(25.2%)、「地域のリーダーとなる人材を育成する」(16.0%)、「既存の活動を充実する」(14.0%)、「新たな活動を創設する」(8.4%)、「その他」(0.9%)となっている。

**図表 地域のコミュニティを充実させていくために必要だと思うこと**



■ 居住地域別 地域のコミュニティを充実させていくために必要だと思うこと(F3×問11)

- ・ 全ての地域で「気軽に集まれる場所がある」について半数以上が挙げている。
- ・ 「地域の情報を得たり発信できるしくみ」についても、全体的に割合が高く、特に「本郷地区連合自治会」で6割近くが挙げている。
- ・ 「異世代が交流できる機会がある」については、「瀬谷北部町内連合会」で3割を超えており他の地域に比べてやや高くなっている。

図表 居住地域別 地域のコミュニティを充実させていくために必要だと思うこと

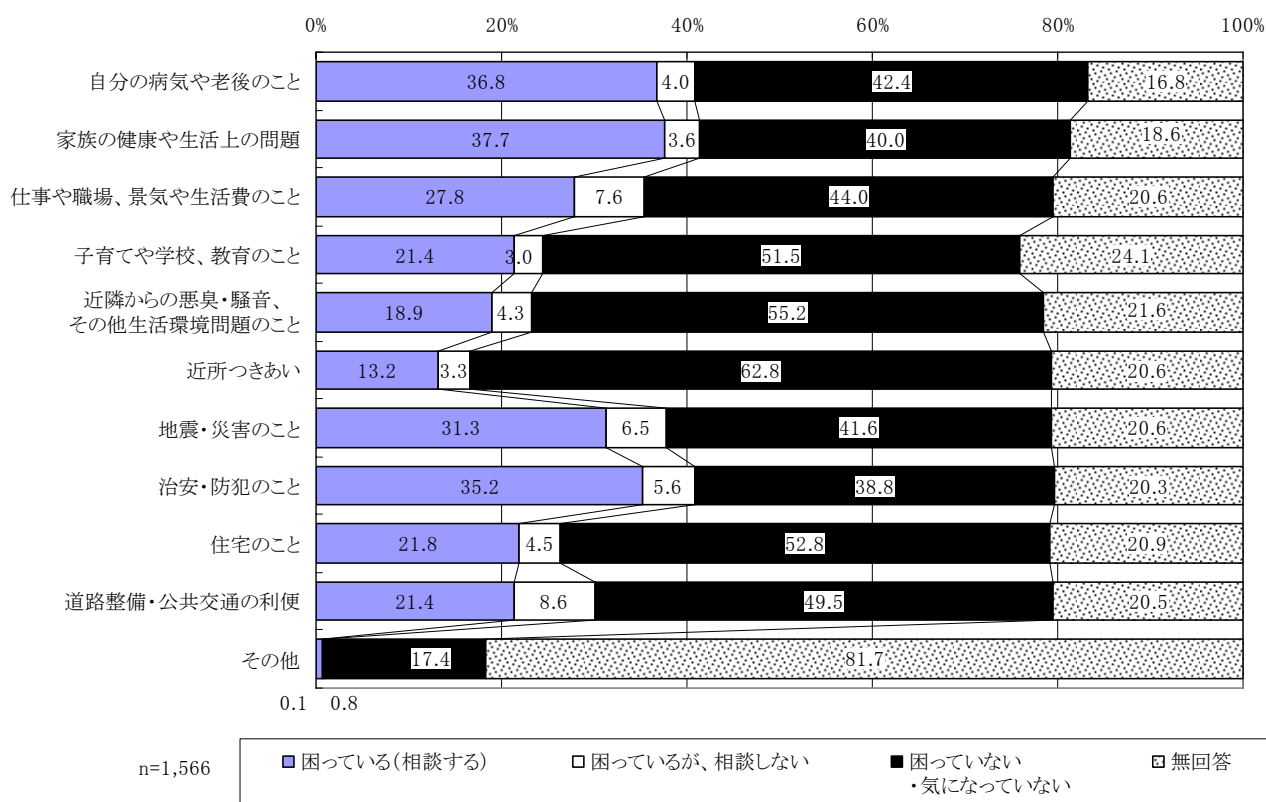
問11 地域のコミュニティを充実させていくために必要だと思うこと（2つまで回答）

		全体	気軽に集まれる場所がある	地域の情報を得たり発信できるしくみ	異世代が交流できる機会がある	地域のリーダーとなる人材を育成する	既存の活動を充実する	新たな活動を創設する	その他	無回答
全 体		1,566	943	749	394	250	219	132	14	113
		—	60.2	47.8	25.2	16.0	14.0	8.4	0.9	7.2
F 3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	64.2	47.8	23.9	14.2	16.4	6.0	0.7	7.5
	阿久和南部連合自治会	152	65.1	35.5	26.3	17.1	11.8	10.5	0.7	9.9
	三ツ境連合自治会	106	58.5	50.9	29.2	19.8	12.3	12.3	0.0	3.8
	瀬谷第一地区連合町内会	80	62.5	48.8	28.8	10.0	8.8	5.0	0.0	7.5
	本郷地区連合自治会	94	58.5	58.5	22.3	19.1	10.6	6.4	3.2	4.3
	瀬谷北部町内連合会	89	55.1	51.7	31.5	14.6	16.9	9.0	1.1	4.5
	瀬谷第二地区連合自治会	288	62.2	51.0	23.3	11.8	14.2	7.6	0.7	8.0
	細谷戸連合町内会	46	56.5	37.0	23.9	23.9	4.3	6.5	0.0	17.4
	瀬谷第四地区連合自治会	154	64.3	49.4	22.1	15.6	18.2	11.0	0.6	2.6
	南瀬谷自治連合会	93	52.7	43.0	28.0	20.4	17.2	6.5	1.1	11.8
	宮沢連合自治会	125	60.8	44.8	24.0	22.4	16.0	5.6	0.8	6.4
	相沢町内連合会	173	55.5	49.1	25.4	13.3	13.3	11.6	1.7	8.1
	無回答	32	53.1	50.0	21.9	18.8	12.5	6.3	0.0	6.3

**問12 最近、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていることがありますか。困っている場合はそれぞれに相談する先をお答え下さい。**

- ・「困っている(相談する)」の割合が最も高いのは「家族の健康や生活上の問題」(37.7%)で、次いで「自分の病気や老後のこと」(36.8%)、「治安・防犯のこと」(35.2%)、「地震・災害のこと」(31.3%)と続いている。
- ・「困っていない、気になっていない」の割合が最も高いのは「近所つきあい」(62.8%)で、次いで「近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境問題のこと」(55.2%)、「住宅のこと」(52.8%)、「子育てや学校、教育のこと」(51.5%)と続いている。最も割合が低いのは「治安・防犯のこと」(38.8%)である。
- ・「困っているが、相談しない」の割合が最も高いのは「道路整備・公共交通の利便」(8.6%)、次いで「仕事や職場、景気や生活費のこと」(7.6%)、「地震・災害のこと」(6.5%)と続いている。
- ・「その他」については、「無回答」が 81.7%、「困っていない・気になっていない」が 17.4%で、「困っている(相談する)」、「相談しない」はいずれも1%未満であった。

**図表 心配ごとや気になること、困っていることの有無**



- ・「困っている(相談する)」の相談先の内訳をみたところ、「区役所・行政機関」の割合が高いのは、「道路整備・公共交通の利便」(64.8%)、「地震・災害のこと」(38.8%)、「近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境問題のこと」(32.8%)となっている。特に「道路整備・公共交通の利便」については6割以上が「区役所・行政機関」を挙げている。
- ・「家族・親戚」の割合が高いのは、「自分の病気や老後のこと」、「家族の健康や生活上の問題」、「仕事や職場、景気や生活費のこと」、「子育てや学校、教育のこと」、「住宅のこと」となっている。
- ・「近所つきあい」の相談先としては「近所の人」、「治安・防犯のこと」の相談先としては「警察」の割合がそれぞれ最も高い。

図表 心配ごとや気になること、困っていることの相談先(「相談する」人のみ集計)

	「困っている(相談)」計	区役所・行政機関	家族・親戚	友人・知人	近所の人	警察	町内会・自治会	専門機関(病院・学校など)
自分の病気や老後のこと	N=576	14.1	49.7	10.2	0.3	0.2	0.3	25.2
家族の健康や生活上の問題	N=590	12.7	55.4	9.0	0.3	0.0	0.2	22.4
仕事や職場、景気や生活費のこと	N=436	11.0	61.0	25.5	0.7	0.0	0.2	1.6
子育てや学校、教育のこと	N=335	10.1	40.9	30.1	3.0	0.3	0.0	15.5
近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境問題のこと	N=296	32.8	14.5	9.8	16.9	6.8	17.9	1.4
近所つきあい	N=207	1.9	28.0	26.6	30.0	1.9	11.1	0.5
地震・災害のこと	N=490	38.8	33.9	6.1	5.3	1.0	13.5	1.4
治安・防犯のこと	N=552	12.7	22.5	4.9	9.6	36.2	13.0	1.1
住宅のこと	N=342	23.1	52.0	8.2	4.1	0.3	3.8	8.5
道路整備・公共交通の利便	N=335	64.8	13.4	5.1	3.0	3.0	8.1	2.7
その他	N=12	25.0	25.0	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0

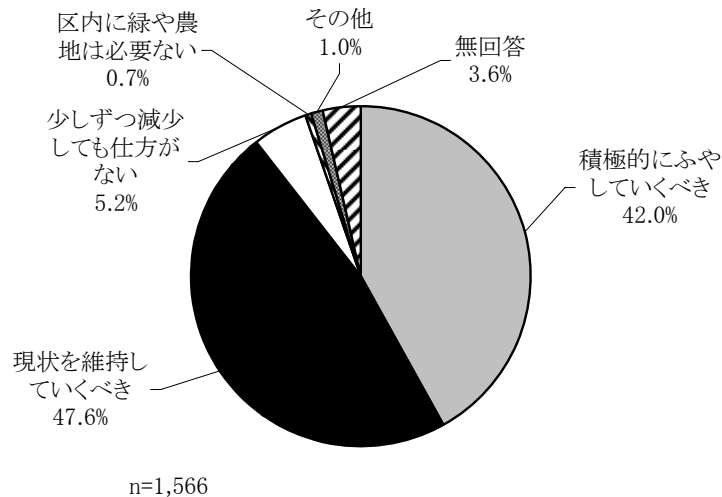


### 3. 自然環境・環境行動について

問 13 あなたは、身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきだと思いますか。

- ・ 「現状を維持していきべき」(47.6%)が最も多く、全体の半数近くを占めている。次いで「積極的にふやしていきべき」(42.0%)が続く。「少しずつ減少しても仕方ない」(5.2%)、「その他」(1.0%)、「区内に緑や農地は必要ない」(0.7%)となっている。

図表 身近な緑や農地についての今後の方向性



#### ■ 年齢別 身近な緑や農地についての今後の方向性(F2×問13)

- ・ 若年層の方が「積極的にふやしていきべき」の割合が多く、20～40歳では概ね半数が挙げている。「15～19歳」では7割を超えている。
- ・ 65歳以上では、年齢が上がるほど「積極的にふやしていきべき」の割合が減少し、「現状を維持していきべき」や「少しずつ減少しても仕方ない」の割合がやや高くなっている。

図表 年齢別 身近な緑や農地についての今後の方向性

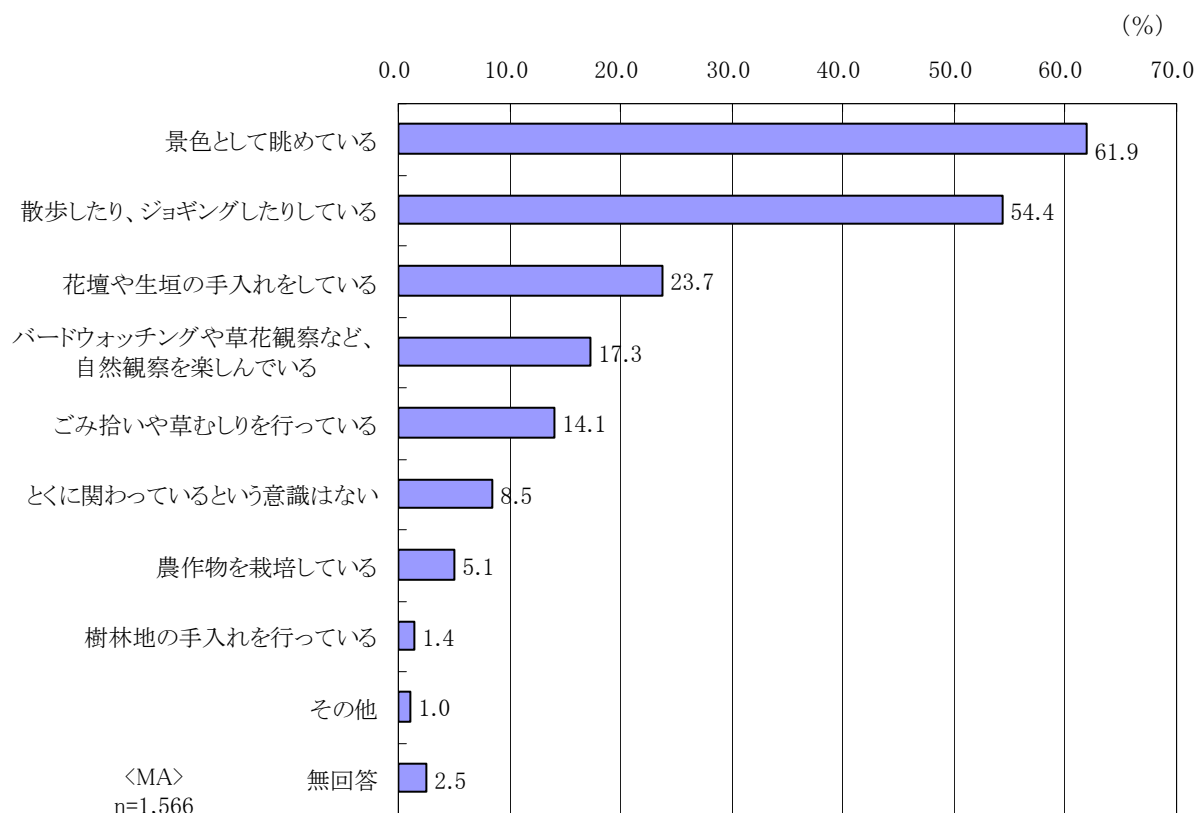
問13 身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきだと思いますか

		全体	積極的にふやしていきべき	現状を維持していきべき	少しずつ減少しても仕方ない	区内に緑や農地は必要ない	その他	無回答
全体		1,566	657	745	81	11	15	57
		100.0	42.0	47.6	5.2	0.7	1.0	3.6
F 2 年齢	15～19歳	36	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	63	55.6	36.5	3.2	0.0	3.2	1.6
	25～29歳	77	49.4	42.9	3.9	1.3	0.0	2.6
	30～34歳	115	55.7	39.1	2.6	0.9	0.9	0.9
	35～39歳	157	51.6	42.0	3.8	0.0	1.3	1.3
	40～44歳	122	41.0	50.8	4.9	0.0	1.6	1.6
	45～49歳	112	42.9	48.2	5.4	0.9	0.9	1.8
	50～54歳	107	39.3	44.9	5.6	0.9	1.9	7.5
	55～59歳	133	45.1	50.4	3.8	0.0	0.8	0.0
	60～64歳	149	40.3	54.4	4.7	0.0	0.0	0.7
	65～69歳	156	38.5	46.2	7.1	1.9	0.6	5.8
	70～74歳	151	31.8	50.3	9.9	1.3	0.7	6.0
	75歳以上	171	22.8	57.3	6.4	1.2	1.2	11.1
無回答	17	35.3	58.8	0.0	0.0	0.0	5.9	

**問 14 あなたは日頃、緑・水辺などの身近な自然環境とどのように関わっていますか。(複数回答)**

- ・「景色として眺めている」(61.9%)が最も多く、次いで「散歩したり、ジョギングしたりしている」(54.4%)が続いており、この2項目についてはそれぞれ半数以上の人々が挙げている。以下、関わりの割合の高い順に「花壇や生垣の手入れをしている」(23.7%)、「バードウォッチングや草花観察など、自然観察を楽しんでいる」(17.3%)、「ごみ拾いや草むしりを行っている」(14.1%)、「農作物を栽培している」(5.1%)、「樹林地の手入れを行っている」(1.4%)、「その他」(1.0%)となっている。一方、「とくに関わっているという意識はない」は8.5%である。

**図表 身近な自然環境との関わり**



■ 居住地域別 身近な自然環境との関わり(F3×問14)

- 全ての地域で「景色として眺めている」について半数を超えている。特に「本郷地区連合自治会」で高く7割近くとなっている。また「散歩したり、ジョギングしたりしている」についても全ての地域で概ね半数以上が挙げている。特に「宮沢連合自治会」で高く、64.8%となっている。
- 「バードウォッチングや草花観察など、自然観察を楽しんでいる」については、「阿久和北部連合自治会」、「瀬谷第四地区連合自治会」、「宮沢連合自治会」で2割を超えている。
- 「花壇や生垣の手入れをしている」については、「阿久和北部連合自治会」、「瀬谷第四地区連合自治会」で3割を超えている。また「農作物を栽培している」については「本郷地区連合自治会」でやや高い。
- 「ごみ拾いや草むしりを行っている」については、「細谷戸連合町内会」で2割を超えており、他の地域に比べて高くなっている。
- 「とくに関わっているという意識はない」については、「細谷戸連合町内会」、「三ツ境連合自治会」でやや高い。割合が最も低いのは「宮沢連合自治会」(2.4%)である。

図表 居住地域別 身近な自然環境との関わり

問14 身近な自然環境との関わり (複数回答)

		全体	景色として眺めている	散歩したり、ジョギングしたりしている	バードウォッチングや草花観察など、自然観察を楽しんでいる	花壇や生垣の手入れをしている	農作物を栽培している	ごみ拾いや草むしりを行っている	樹林地の手入れを行っている	その他	とくに関わっているという意識はない	無回答
全体		1,566	970	852	271	371	80	221	22	16	133	39
		—	61.9	54.4	17.3	23.7	5.1	14.1	1.4	1.0	8.5	2.5
F3 居住 地域	阿久和北部連合自治会	134	64.9	55.2	22.4	30.6	6.7	15.7	3.0	1.5	6.7	0.7
	阿久和南部連合自治会	152	60.5	53.9	15.1	13.2	3.9	12.5	0.0	0.7	7.9	5.3
	三ツ境連合自治会	106	51.9	52.8	16.0	19.8	3.8	10.4	2.8	1.9	14.2	0.9
	瀬谷第一地区連合町内会	80	53.8	50.0	12.5	18.8	6.3	13.8	1.3	0.0	11.3	3.8
	本郷地区連合自治会	94	69.1	58.5	12.8	24.5	8.5	8.5	1.1	2.1	7.4	1.1
	瀬谷北部町内連合会	89	66.3	55.1	18.0	25.8	4.5	13.5	3.4	0.0	9.0	2.2
	瀬谷第二地区連合自治会	288	62.5	52.8	19.4	29.9	4.5	16.3	1.4	1.0	7.6	1.7
	細谷戸連合町内会	46	52.2	58.7	17.4	21.7	2.2	21.7	0.0	0.0	15.2	4.3
	瀬谷第四地区連合自治会	154	63.6	55.8	20.1	30.5	7.1	16.2	0.6	0.6	7.1	1.9
	南瀬谷自治連合会	93	67.7	52.7	16.1	19.4	6.5	16.1	1.1	1.1	8.6	3.2
	宮沢連合自治会	125	60.0	64.8	22.4	16.0	2.4	10.4	3.2	1.6	2.4	2.4
	相沢町内連合会	173	64.2	49.7	11.6	22.0	4.0	15.0	0.0	1.2	10.4	2.9
無回答	32	56.3	46.9	15.6	28.1	9.4	9.4	0.0	0.0	12.5	6.3	

■ 身近な緑や農地についての考え別 身近な自然環境との関わり(問13×問14)

- ・「積極的にふやしていくべき」または「現状を維持していくべき」と考えている層では、自然環境との関わりが強い傾向がみられ、「少しずつ減少しても仕方がない」と「区内に緑や農地は必要ない」と考えている層に比べて、割合が高くなっている項目が多い。
- ・「とくに関わっているという意識はない」について、「積極的にふやしていくべき」と「現状を維持していくべき」では1割に満たないが、「少しずつ減少しても仕方がない」と「区内に緑や農地は必要ない」では約2割となっている。

図表 身近な緑や農地についての考え別 身近な自然環境との関わり

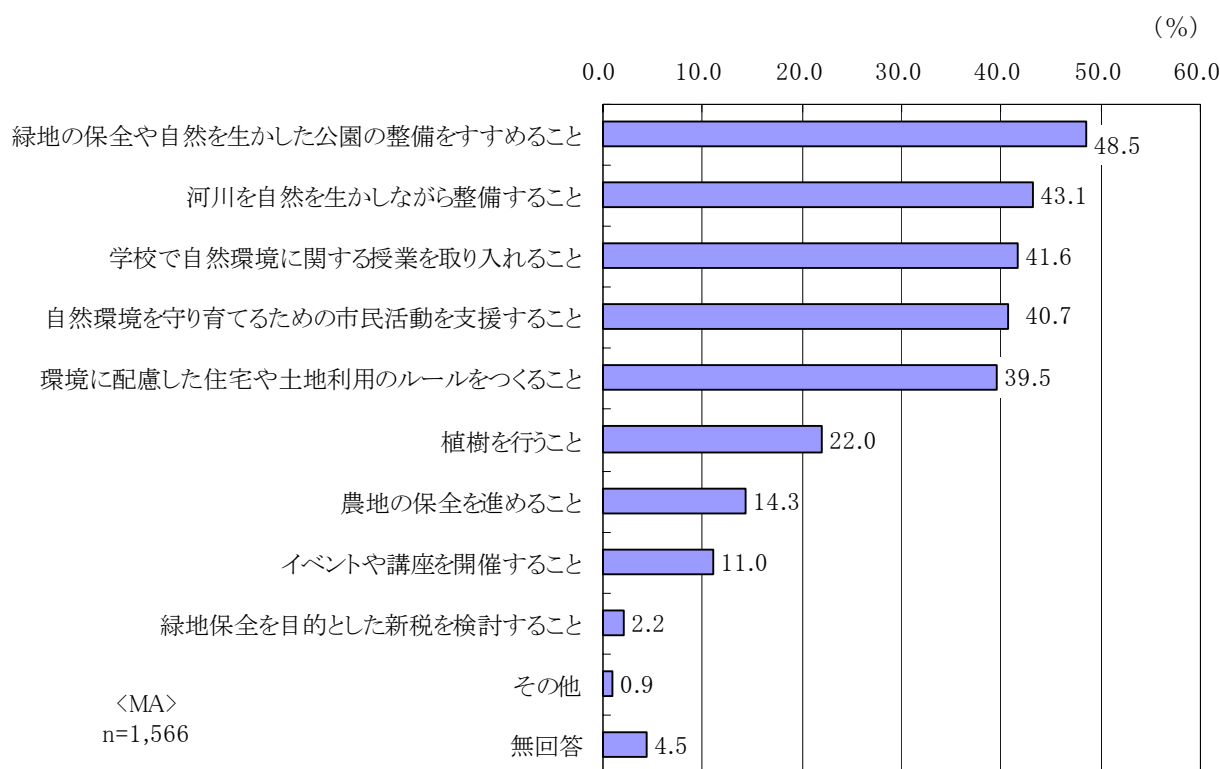
問14 身近な自然環境との関わり (複数回答)

		全体	景色として眺めている	散歩したり、ジョギングしたりしている	バードウォッチングや草花観察など、自然観察を楽しんでいる	花壇や生垣の手入れをしている	農作物を栽培している	ごみ拾いや草むしりを行っている	樹林地の手入れを行っている	その他	とくに関わっているという意識はない	無回答
全体		1,566	970	852	271	371	80	221	22	16	133	39
		—	61.9	54.4	17.3	23.7	5.1	14.1	1.4	1.0	8.5	2.5
問13 緑地等に 対する 考え	積極的にふやしていくべき	657	65.3	56.0	19.6	25.1	5.5	14.8	1.8	1.5	6.4	0.9
	現状を維持していくべき	745	62.8	56.1	16.9	24.3	5.2	14.8	0.9	0.5	9.4	0.5
	少しずつ減少しても仕方がない	81	54.3	49.4	9.9	14.8	2.5	6.2	3.7	0.0	19.8	0.0
	区内に緑や農地は必要ない	11	54.5	27.3	9.1	27.3	0.0	27.3	0.0	0.0	18.2	0.0
	その他	15	66.7	53.3	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0
	無回答	57	22.8	26.3	10.5	12.3	5.3	10.5	0.0	0.0	3.5	50.9

**問 15 身近な自然環境を守り育てるために行政は何に力を入れるべきだと思いますか。(3つまでの複数回答)**

- ・ 「緑地の保全や自然を生かした公園の整備をすすめること」(48.5%)が最も多く、全体の半数近くが挙げている。次いで「河川を自然を生かしながら整備すること」(43.1%)が続いており、以下、「学校で自然環境に関する授業を取り入れること」(41.6%)、「自然環境を守り育てるための市民活動を支援すること」(40.7%)、「環境に配慮した住宅や土地利用のルールをつくること」(39.5%)、「植樹を行うこと」(22.0%)、「農地の保全を進めること」(14.3%)、「イベントや講座を開催すること」(11.0%)、「緑地保全を目的とした新税を検討すること」(2.2%)、「その他」(0.9%)となっている。

**図表 身近な自然環境を守り育てるために行政が力を入れるべきこと**



■ 年齢別 身近な自然環境を守り育てるために行政が力を入れるべきこと(F2×問15)

- ・「学校で自然環境に関する授業を取り入れること」については、若年層で割合が高く、「15～19 歳」と「25～29 歳」では6割を超えている。45歳以上では45歳未満と比べて割合がやや低くなっている。
- ・「自然環境を守り育てるための市民活動を支援すること」については50代で半数以上となっている。
- ・「緑地の保全や自然を生かした公園の整備をすすめること」については、どの年齢層でも4割台から5割以上となっている。「25～29歳」でやや低く、「50～54歳」と「35～39歳」でやや高くなっている。
- ・「河川を自然を生かしながら整備すること」については、45歳以上で割合が高くなっている。
- ・「環境に配慮した住宅や土地利用のルールをつくること」については20～30代を中心に割合が高くなっている。

図表 年齢別 身近な自然環境を守り育てるために行政が力を入れるべきこと

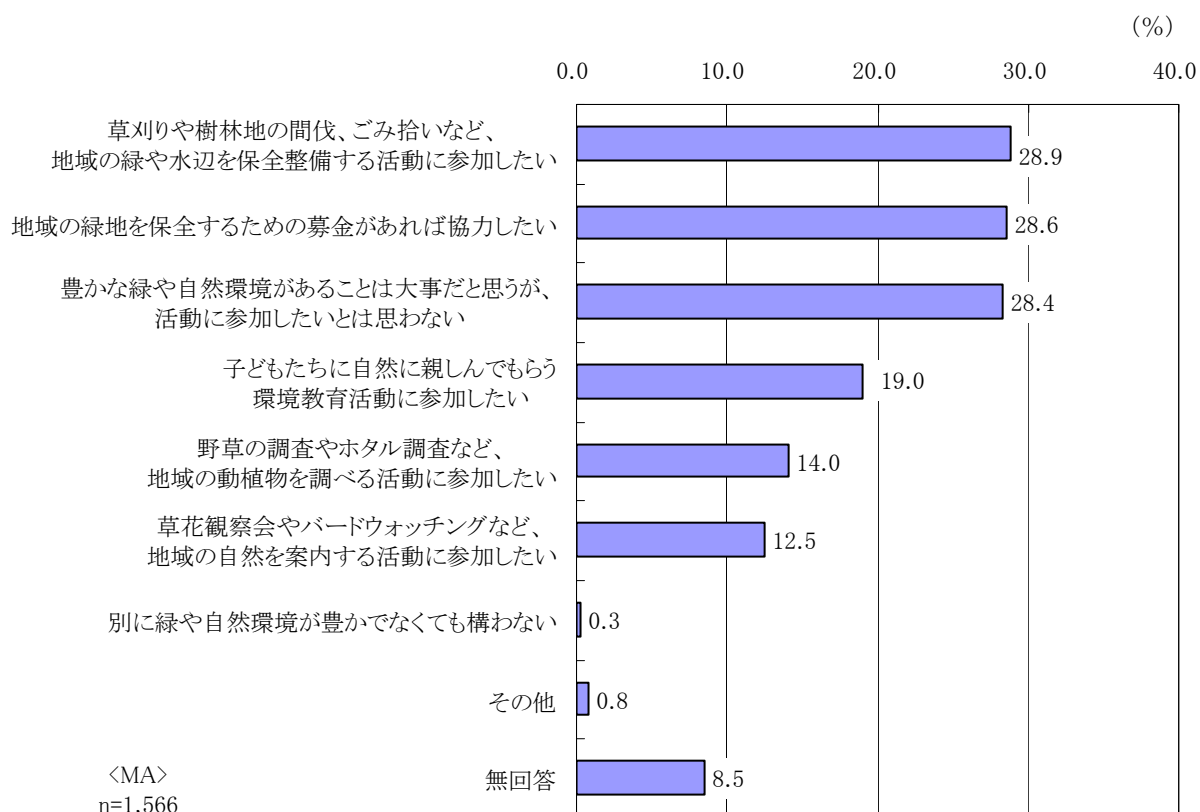
問15 身近な自然環境を守り育てるために行政が力を入れるべきこと（3つまで回答）

		全体	イベントや講座を開催すること	学校で自然環境に関する授業を取り入れること	自然環境を守り育てるための市民活動を支援すること	緑地の保全や自然を生かした公園の整備をすすめること	農地の保全を進めること	河川を自然を生かしながら整備すること	環境に配慮した住宅や土地利用のルールをつくること	緑地保全を目的とした新税を検討すること	植樹を行うこと	その他	無回答
全 体		1,566	173	651	638	760	224	675	619	34	345	14	70
		—	11.0	41.6	40.7	48.5	14.3	43.1	39.5	2.2	22.0	0.9	4.5
F 2 年齢	15～19歳	36	2.8	61.1	33.3	47.2	11.1	33.3	25.0	2.8	44.4	0.0	0.0
	20～24歳	63	4.8	44.4	30.2	42.9	15.9	42.9	46.0	1.6	31.7	0.0	1.6
	25～29歳	77	7.8	61.0	32.5	39.0	13.0	26.0	54.5	5.2	29.9	0.0	1.3
	30～34歳	115	7.8	46.1	33.9	47.8	14.8	38.3	45.2	0.9	33.0	0.9	1.7
	35～39歳	157	9.6	49.0	26.1	53.5	15.9	42.0	50.3	2.5	21.7	0.6	1.3
	40～44歳	122	16.4	49.2	40.2	45.9	10.7	38.5	43.4	1.6	20.5	2.5	0.8
	45～49歳	112	9.8	35.7	45.5	50.0	17.0	51.8	42.0	0.0	22.3	0.0	0.0
	50～54歳	107	9.3	37.4	51.4	54.2	18.7	44.9	41.1	3.7	15.9	0.9	2.8
	55～59歳	133	8.3	39.8	53.4	46.6	14.3	47.4	39.1	3.0	21.8	0.0	1.5
	60～64歳	149	11.4	39.6	47.7	51.7	18.8	47.7	39.6	1.3	16.1	0.7	2.0
	65～69歳	156	14.1	39.1	40.4	50.6	16.0	50.0	41.0	0.0	18.6	1.9	5.8
	70～74歳	151	13.9	31.1	49.0	50.3	13.2	46.4	25.8	2.6	21.2	2.6	7.9
75歳以上	171	12.9	35.7	36.3	42.7	7.0	38.0	27.5	2.9	17.5	0.0	18.7	
無回答		17	29.4	17.6	35.3	58.8	11.8	35.3	17.6	11.8	17.6	0.0	11.8

**問 16 緑・水辺など身近な自然環境を守るための地域での活動への参加について、あなたはどのようにお考えですか。(複数回答)**

- ・「草刈りや樹林地の間伐、ごみ拾いなど、地域の緑や水辺を保全整備する活動に参加したい」(28.9%)が最も多く、僅差で「地域の緑地を保全するための募金があれば協力したい」(28.6%)が続いている。次いで、「豊かな緑や自然環境があることは大事だと思うが、活動に参加したいとは思わない」(28.4%)も3割近くを占めている。
- ・以下、割合の高い順に「子どもたちに自然に親んでもらう環境教育活動に参加したい」(19.0%)、「野草の調査やホタル調査など、地域の動植物を調べる活動に参加したい」(14.0%)、「草花観察会やバードウォッチングなど、地域の自然を案内する活動に参加したい」(12.5%)、「その他」(0.8%)、「別に緑や自然環境が豊かでなくても構わない」(0.3%)となっている。

**図表 身近な自然環境を守るための地域での活動への参加についての考え**



■ 居住地域別 身近な自然環境を守るための地域での活動への参加についての考え(F3×問16)

- ・「地域の緑地を保全するための募金があれば協力したい」については、「三ツ境連合自治会」、「瀬谷第一地区連合町内会」、「宮沢連合自治会」、「相沢町内連合会」で3割を超えている。
- ・「草刈りや樹林地の間伐、ごみ拾いなど、地域の緑や水辺を保全整備する活動に参加したい」については、「本郷地区連合自治会」と「宮沢連合自治会」でやや高くなっている。
- ・「野草の調査やホタル調査など、地域の動植物を調べる活動に参加したい」については、「本郷地区連合自治会」、「瀬谷第二地区連合自治会」、「瀬谷北部連合自治会」でやや高くなっている。
- ・「草花観察会やバードウォッチングなど、地域の自然を案内する活動に参加したい」については、「宮沢連合自治会」と「阿久和北部連合自治会」でやや高くなっている。
- ・「子どもたちに自然に親んでもらう環境教育活動に参加したい」については、「本郷地区連合自治会」と「相沢町内連合会」で4分の1近くが挙げている。
- ・「豊かな緑や自然環境があることは大事だと思うが、活動に参加したいとは思わない」については、「瀬谷第一地区連合町内会」で4割となっており、他の地域に比べて特に高くなっている。

図表 居住地域別 身近な自然環境を守るための地域での活動への参加についての考え

問16 身近な自然環境を守るための地域での活動への参加についての考え

	全体	地域の緑地を保全するための募金があれば協力したい	草刈りや樹林地の間伐、ごみ拾いなど、地域の緑や水辺を保全整備する活動に参加したい	野草の調査やホタル調査など、地域の動植物を調べる活動に参加したい	草花観察会やバードウォッチングなど、地域の自然を案内する活動に参加したい	子どもたちに自然に親んでもらう環境教育活動に参加したい	その他	豊かな緑や自然環境があることは大事だと思うが、活動に参加したいとは思わない	別に緑や自然環境が豊かでも構わない	無回答	
全体	1,566	448	452	220	195	297	12	444	4	133	
	—	28.6	28.9	14.0	12.5	19.0	0.8	28.4	0.3	8.5	
F3											
居住地域	阿久和北部連合自治会	134	29.1	29.1	14.9	18.7	20.9	0.7	25.4	0.0	7.5
	阿久和南部連合自治会	152	29.6	23.0	13.8	10.5	14.5	2.0	23.0	0.7	15.1
	三ツ境連合自治会	106	33.0	28.3	9.4	6.6	17.0	0.0	31.1	0.0	7.5
	瀬谷第一地区連合町内会	80	30.0	17.5	7.5	6.3	15.0	1.3	41.3	0.0	10.0
	本郷地区連合自治会	94	23.4	37.2	17.0	9.6	24.5	0.0	25.5	0.0	10.6
	瀬谷北部町内連合会	89	23.6	34.8	16.9	10.1	21.3	1.1	25.8	0.0	5.6
	瀬谷第二地区連合自治会	288	29.2	30.6	17.7	15.3	22.6	0.7	29.9	0.3	4.5
	細谷戸連合町内会	46	23.9	23.9	13.0	13.0	10.9	0.0	30.4	0.0	17.4
	瀬谷第四地区連合自治会	154	22.7	33.1	14.9	14.3	14.3	0.0	29.9	0.0	7.1
	南瀬谷自治連合会	93	24.7	21.5	11.8	6.5	15.1	1.1	38.7	0.0	10.8
	宮沢連合自治会	125	33.6	37.6	10.4	19.2	18.4	0.0	23.2	0.0	8.0
	相沢町内連合会	173	33.5	24.9	13.9	11.0	23.7	1.2	23.7	1.2	6.9
	無回答	32	28.1	25.0	12.5	9.4	15.6	3.1	31.3	0.0	15.6



■ 身近な緑や農地についての考え別 身近な自然環境を守るための地域での活動への参加についての考え  
(問13×問16)

- 身近な緑や農地について「積極的にふやしていくべき」と考えている層では、活動への参加意向も高い傾向がみられ、「地域の緑地を保全するための募金があれば協力したい」と「草刈りや樹林地の間伐、ごみ拾いなど、地域の緑や水辺を保全整備する活動に参加したい」についてはそれぞれ3割、「子どもたちに自然に親しんでもらう環境教育活動に参加したい」については、2割が挙げている。

図表 身近な緑や農地についての考え別  
身近な自然環境を守るための地域での活動への参加についての考え

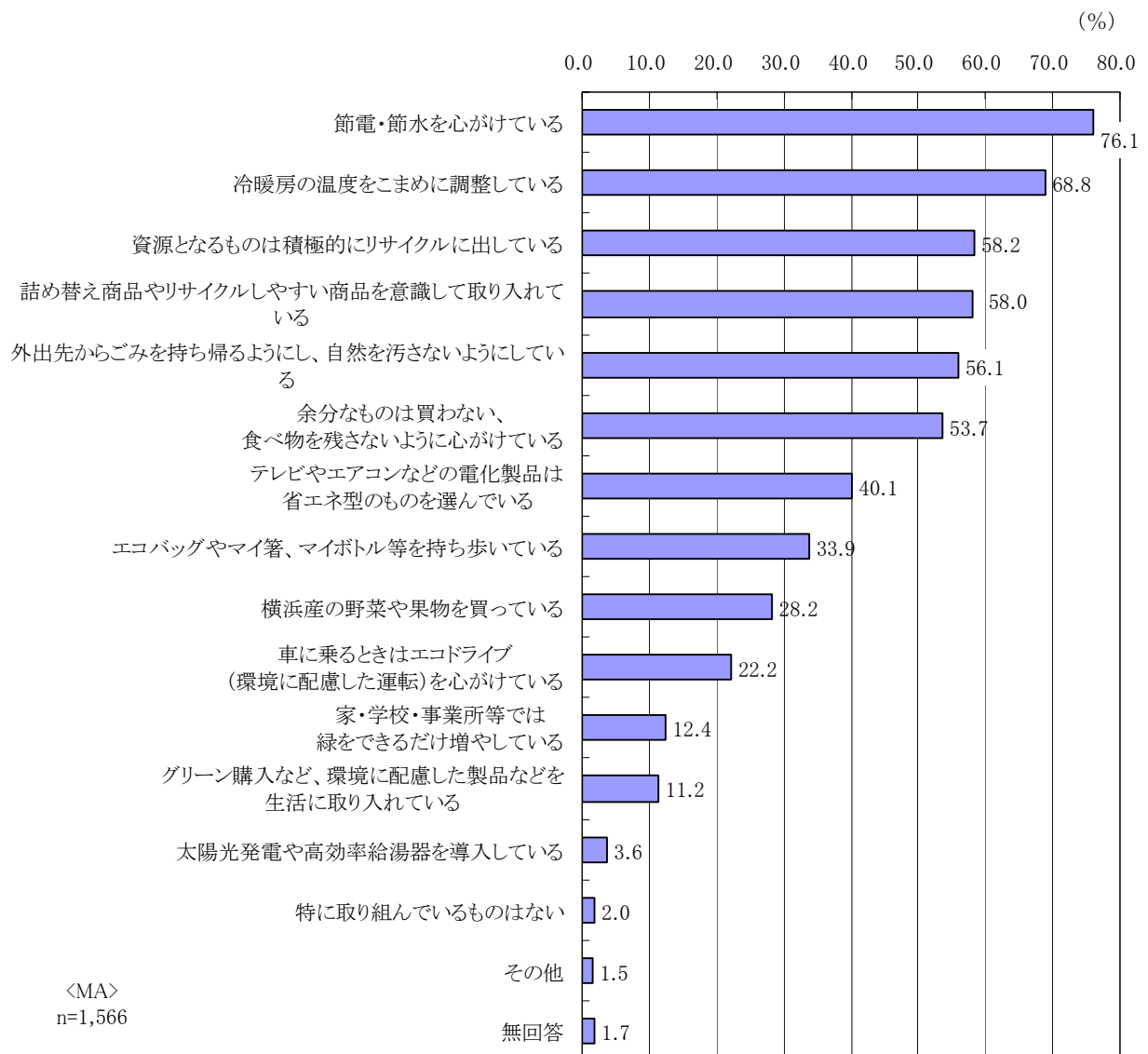
問16 身近な自然環境を守るための地域での活動への参加についての考え

		全体	地域の緑地を保全するための募金があれば協力したい	草刈りや樹林地の間伐、ごみ拾いなど、地域の緑や水辺を保全整備する活動に参加したい	野草の調査やホタル調査など、地域の動植物を調べる活動に参加したい	草花観察会やバードウォッチングなど、地域の自然を案内する活動に参加したい	子どもたちに自然に親しんでもらう環境教育活動に参加したい	その他	豊かな緑や自然環境があることは大事だと思うが、活動に参加したいとは思わない	別に緑や自然環境が豊かでも構わない	無回答
全 体		1,566 —	448 28.6	452 28.9	220 14.0	195 12.5	297 19.0	12 0.8	444 28.4	4 0.3	133 8.5
問13 緑地等に 対する 考え	積極的にふやしていくべき	657	32.6	32.6	16.9	13.2	21.5	0.8	27.5	0.2	4.4
	現状を維持していくべき	745	28.1	28.3	12.6	12.5	18.4	0.8	28.9	0.1	8.2
	少しずつ減少しても仕方がない	81	21.0	18.5	7.4	12.3	14.8	1.2	37.0	0.0	7.4
	区内に緑や農地は必要ない	11	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	45.5	9.1	18.2
	その他	15	20.0	33.3	26.7	0.0	20.0	0.0	26.7	0.0	0.0
	無回答	57	7.0	10.5	5.3	8.8	5.3	0.0	15.8	1.8	61.4

**問 17 あなたは、身近な自然を含めた地球環境を守るために、どのような取り組みをしていますか。(複数回答)**

- ・「節電・節水を心がけている」(76.1%)が最も多く、次いで「冷暖房の温度をこまめに調整している」(68.8%)が続いている。「資源となるものは積極的にリサイクルに出している」(58.2%)、「詰め替え商品やリサイクルしやすい商品を意識して取り入れている」(58.0%)、「外出先からごみを持ち帰るようにし、自然を汚さないようにしている」(56.1%)、「余分なものは買わない、食べ物を残さないように心がけている」(53.7%)となっており、以上の項目はそれぞれ半数以上が挙げている。
- ・以下、取り組みの割合の高い順に「テレビやエアコンなどの電化製品は省エネ型のものを選んでいる」(40.1%)、「エコバッグやマイ箸、マイボトル等を持ち歩いている」(33.9%)、「横浜産の野菜や果物を買っている」(28.2%)、「車に乗るときはエコドライブ(環境に配慮した運転)を心がけている」(22.2%)、「家・学校・事業所等では緑をできるだけ増やしている」(12.4%)、「グリーン購入など、環境に配慮した製品などを生活に取り入れている」(11.2%)、「太陽光発電や高効率給湯器を導入している」(3.6%)、「その他」(1.5%)となっている。一方「特に取り組んでいるものはない」は2.0%にとどまっている。

**図表 身近な自然を含めた地球環境を守るためにしている取り組み**



■ 男女別 身近な自然を含めた地球環境を守るためにしている取り組み(F1×問17)

- 男女別に取り組み状況をみると、「車に乗るときはエコドライブ(環境に配慮した運転)を心がけている」と「太陽光発電や高公立給湯器を導入している」以外は、女性の方が割合が高く、「冷暖房の温度をこまめに調整している」、「外出先からごみを持ち帰るようにし、自然を汚さないようにしている」、「詰め替え商品やリサイクルしやすい商品を意識して取り入れている」、「横浜産の野菜や果物を買っている」、「エコバッグやマイ箸、マイボトル等を持ち歩いている」、「資源となるものは積極的にリサイクルに出している」は特に高い。

図表 男女別 身近な自然を含めた地球環境を守るためにしている取り組み

問17 身近な自然を含めた地球環境を守るためにしている取り組み(複数回答)

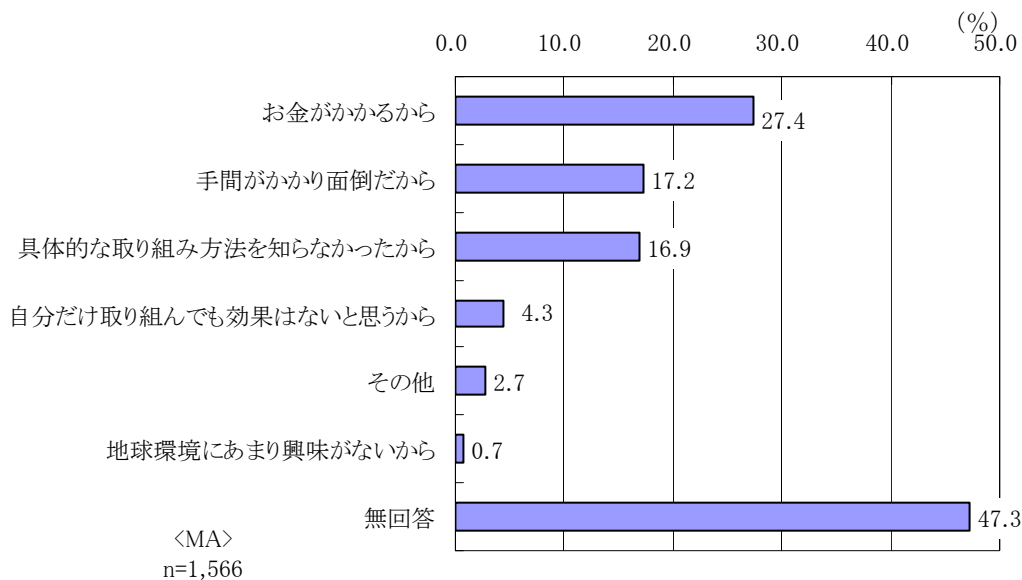
		全体	節電・節水を心がけている	冷暖房の温度をこまめに調整している	家・学校・事業所等では緑をできるだけ増やしている	外出先からごみを持ち帰るようにし、自然を汚さないようにしている	グリーン購入など、環境に配慮した製品などを生活に取り入れている	詰め替え商品やリサイクルしやすい商品を意識して取り入れている	テレビやエアコンなどの電化製品は省エネ型のものを選んでている	横浜産の野菜や果物を買っている
全体		1,566	1,191	1,078	194	878	176	909	628	442
		—	76.1	68.8	12.4	56.1	11.2	58.0	40.1	28.2
F1 性別	男性	630	72.7	61.1	10.8	49.7	8.7	44.0	37.0	20.0
	女性	901	78.6	74.3	13.8	60.8	13.1	68.6	43.0	34.0
	無回答	35	71.4	68.6	5.7	48.6	8.6	40.0	22.9	28.6

余分なものを買わない、食べ物を残さないように心がけている	エコバッグやマイ箸、マイボトル等を持ち歩いている	資源となるものは積極的にリサイクルに出している	車に乗るときはエコドライブ(環境に配慮した運転)を心がけている	太陽光発電や高公立給湯器を導入している	その他	特に取り組んでいるものはない	無回答
841	531	912	348	57	24	31	27
53.7	33.9	58.2	22.2	3.6	1.5	2.0	1.7
53.2	18.7	50.5	31.4	3.8	1.7	3.0	2.2
53.9	44.8	63.8	16.2	3.4	1.3	1.2	1.2
57.1	25.7	54.3	11.4	5.7	2.9	2.9	5.7

**問 18 問 17 で取り組んでいない項目がある場合、その理由は何ですか。(複数回答)**

- ・ 回答の中では「お金がかかるから」(27.4%)が最も多く、「手間がかかり面倒だから」(17.2%)、「具体的な取り組み方法を知らなかったから」(16.9%)、「自分だけ取り組んでも効果はないと思うから」(4.3%)、「その他」(2.7%)、「地球環境にあまり興味がないから」(0.7%)となっている。なお「無回答」が 47.3%となっている。

**図表 取り組んでいない項目がある理由**



■ 年齢別 取り組んでいない項目がある理由(F2×問18)

- ・ 年齢別に理由をみると、「手間がかかり面倒だから」は若い年齢層で高く、年齢が高いほど低くなる傾向がみられる。
- ・ 「お金がかかるから」については、「30～34 歳」と「45～49 歳」で4割を超えており、年齢が高いほど割合は低い傾向がみられる。
- ・ 「具体的な取り組み方法を知らなかったから」は「15～19 歳」、「20～24 歳」、「30～34 歳」で他の年齢層と比べて高くなっている。

図表 年齢別 取り組んでいない項目がある理由

問18 取り組んでいないものがある理由（複数回答）

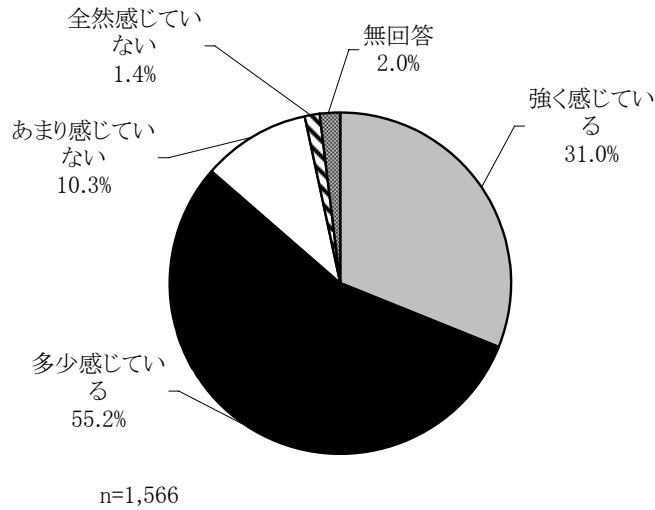
		全体	手間がかかり面倒だから	お金がかかるから	具体的な取り組み方法を知らなかったから	自分だけ取り組んでも効果はないと思うから	地球環境にあまり興味がないから	その他	無回答
全 体		1,566	270	429	264	68	11	43	740
		—	17.2	27.4	16.9	4.3	0.7	2.7	47.3
F 2 年齢	15～19歳	36	33.3	5.6	30.6	5.6	2.8	5.6	36.1
	20～24歳	63	27.0	20.6	25.4	6.3	1.6	0.0	36.5
	25～29歳	77	26.0	36.4	13.0	13.0	2.6	1.3	33.8
	30～34歳	115	23.5	42.6	28.7	5.2	0.9	0.0	27.8
	35～39歳	157	22.3	33.8	19.7	1.9	1.3	4.5	37.6
	40～44歳	122	22.1	32.8	19.7	3.3	0.0	4.1	38.5
	45～49歳	112	20.5	42.9	11.6	3.6	0.9	3.6	39.3
	50～54歳	107	22.4	31.8	15.0	4.7	0.0	0.0	47.7
	55～59歳	133	11.3	23.3	12.8	4.5	0.0	2.3	54.1
	60～64歳	149	14.1	18.1	15.4	2.7	1.3	2.7	55.7
	65～69歳	156	9.0	28.2	17.3	2.6	0.6	5.1	50.0
	70～74歳	151	11.3	17.9	12.6	3.3	0.0	2.0	63.6
75歳以上	171	9.4	18.1	13.5	4.1	0.0	2.9	63.7	
無回答	17	11.8	11.8	5.9	23.5	0.0	5.9	41.2	

## 4. 防災について

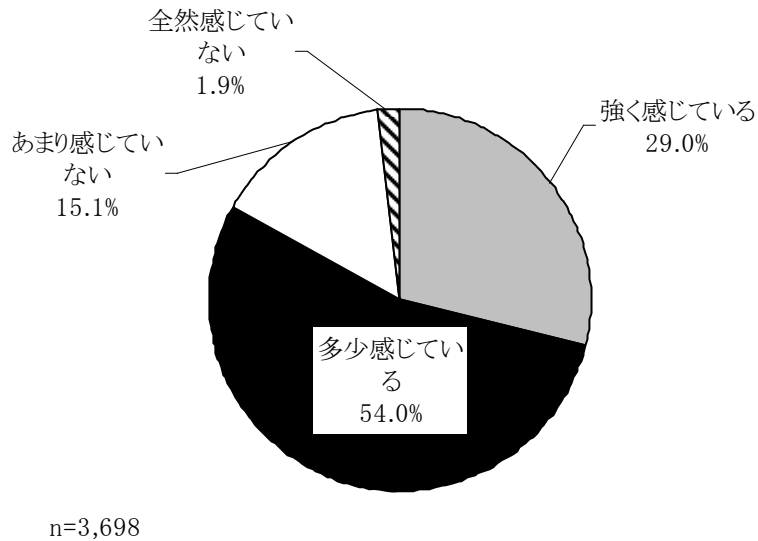
問 19 あなたは自分の住んでいる地域で大地震が近く起きるのではないかと不安を感じていますか。

- ・ 「多少感じている」(55.2%)が最も多く、「強く感じている」(31.0%)と合わせると、86.2%が不安を感じていることがわかる。「あまり感じていない」は10.3%、「全然感じていない」は1.4%となっている。
- ・ 横浜市民意識調査と比較すると、回答状況に大きな差異はみられない。

図表 大地震が近く起きるのではないかと不安の有無



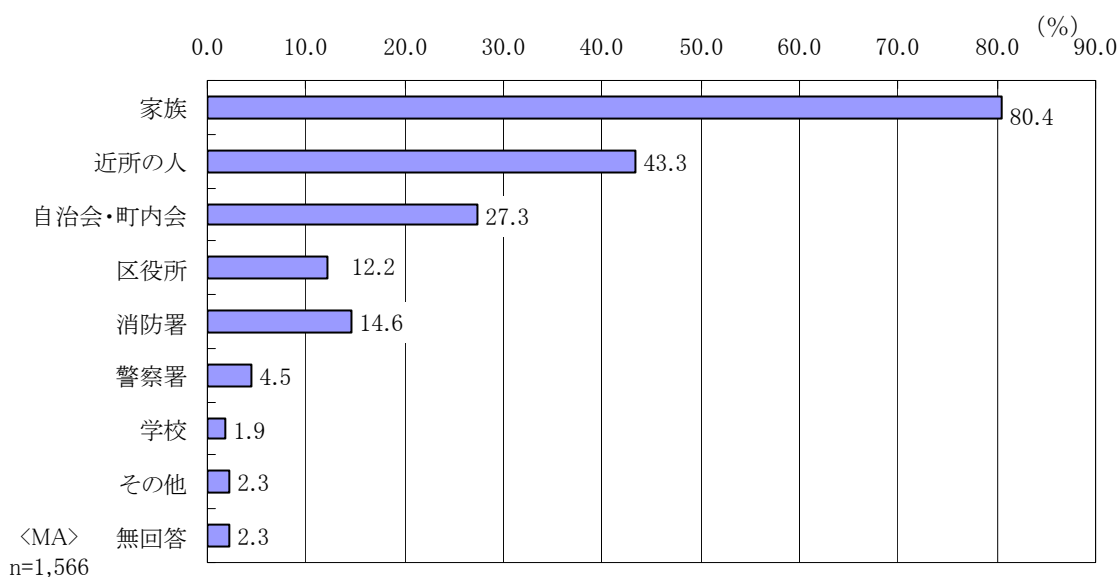
図表 大地震が近く起きるのではないかと不安の有無(平成19年度横浜市民意識調査)



**問 20 あなたは自宅で地震にあった場合、誰を頼りにしますか。(2つまでの複数回答)**

- ・「家族」(80.4%)が最も多く、8割の人が挙げている。次いで「近所の人」(43.3%)、「自治会・町内会」(27.3%)である。以下、割合の高い順に「消防署」(14.6%)、「区役所」(12.2%)、「警察署」(4.5%)、「その他」(2.3%)、「学校」(1.9%)となっている。

**図表 自宅で地震にあった場合、頼りにするもの**



**■ 年齢別 自宅で地震にあった場合、頼りにするもの(F2×問20)**

- ・年齢別にみると、「家族」は年齢が若い層ほど割合が高い。「15～19歳」では全員となっている。「近所の人」については30歳以上で割合が高くなっており、65歳以上では半数以上が挙げている。「自治会・町内会」については年齢が高い層で割合が高い傾向がみられ、60歳以上では3割以上となっている。
- ・「消防署」について、10代と20代では2割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。

**図表 年齢別 自宅で地震にあった場合、頼りにするもの**

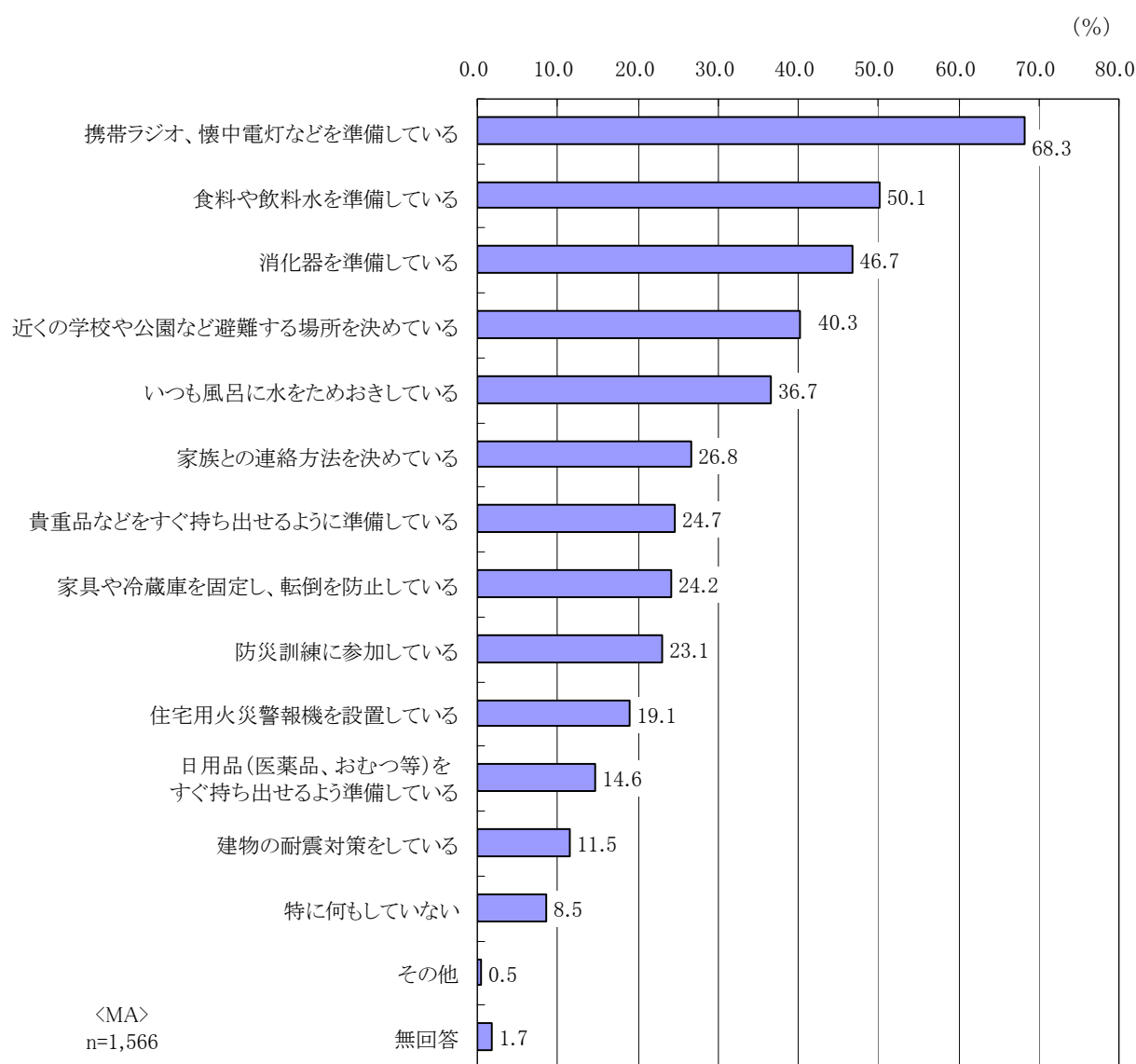
問20 自宅で地震にあった場合、頼りにするもの (2つまで回答)

		全体	家族	近所の人	自治会・町内会	区役所	消防署	警察署	学校	その他	無回答
全体		1,566	1,259	678	427	191	228	71	29	36	36
		—	80.4	43.3	27.3	12.2	14.6	4.5	1.9	2.3	2.3
F2 年齢	15～19歳	36	100.0	16.7	11.1	2.8	22.2	5.6	25.0	2.8	0.0
	20～24歳	63	93.7	27.0	12.7	7.9	25.4	9.5	1.6	4.8	0.0
	25～29歳	77	87.0	27.3	11.7	10.4	26.0	9.1	3.9	3.9	1.3
	30～34歳	115	90.4	48.7	12.2	7.8	15.7	6.1	1.7	3.5	0.9
	35～39歳	157	80.3	36.3	29.3	11.5	13.4	7.0	1.9	5.1	1.3
	40～44歳	122	83.6	38.5	23.0	13.1	16.4	5.7	1.6	3.3	1.6
	45～49歳	112	80.4	49.1	22.3	10.7	17.0	4.5	1.8	0.9	0.9
	50～54歳	107	82.2	29.9	37.4	17.8	12.1	5.6	2.8	1.9	2.8
	55～59歳	133	75.9	49.6	27.1	14.3	15.8	3.0	0.8	2.3	3.0
	60～64歳	149	85.2	45.0	33.6	9.4	14.1	4.0	0.0	0.0	1.3
	65～69歳	156	78.2	53.2	35.3	16.0	8.3	1.3	0.0	2.6	0.6
	70～74歳	151	74.8	51.0	31.8	14.6	10.6	4.0	0.7	0.7	4.0
75歳以上	171	65.5	50.9	34.5	11.7	12.9	0.6	0.0	1.2	7.6	
無回答	17	70.6	41.2	29.4	17.6	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	

## 問 21 あなたの家では災害に対する備えをしていますか。(複数回答)

- ・「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」(68.3%)が最も多く、次いで「食料や飲料水を準備している」(50.1%)となっており、この2項目はそれぞれ半数以上が挙げている。以下、取り組みの割合の高い順に「消火器を準備している」(46.7%)、「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」(40.3%)、「いつも風呂に水をためおきしている」(36.7%)、「家族との連絡方法を決めている」(26.8%)、「貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している」(24.7%)、「家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している」(24.2%)、「防災訓練に参加している」(23.1%)、「住宅用火災警報機を設置している」(19.1%)、「日用品(医薬品、おむつ等)をすぐ持ち出せるよう準備している」(14.6%)、「建物の耐震対策をしている」(11.5%)、「その他」(0.5%)となっている。
- ・「特に何もしていない」は8.5%である。
- ・横浜市民意識調査と比較すると、大半の項目で瀬谷区の方が横浜市の実施率を上回っている。特に、「食料や飲料水を準備している」、「携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している」、「いつも風呂に水をためおきしている」、「家族との連絡方法を決めている」、「防災訓練に参加している」は10ポイント以上上回っている。

図表 災害に対する備え





図表 災害に対する備え(平成19年度横浜市民意識調査との比較)

	瀬谷区 n=1,566	横浜市 n=3,698
食料や飲料水を準備している	50.1	39.2
携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している	68.3	56.5
貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	24.7	19.1
日用品(医薬品、おむつ等)をすぐ持ち出せるよう準備している	14.6	15.4
消火器を準備している	46.7	38.6
いつも風呂に水をためおきしている	36.7	26.4
家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	24.2	24.5
住宅用火災警報機を設置している	19.1	—
建物の耐震対策をしている	11.5	10.2
近くの学校や公園など避難する場所を決めている	40.3	30.3
家族との連絡方法を決めている	26.8	20.8
防災訓練に参加している	23.1	12.1
その他	0.5	0.0
特に何もしていない	8.5	16.9
無回答	1.7	—

■ 年齢別 災害に対する備え(F2×問21)

- ・ 全体的に高齢者層の方が取り組みの割合が高くなっている。
- ・ 「防災訓練に参加している」については、60～74歳で3割以上となっている。一方、40歳未満では1割前後にとどまっている。

図表 年齢別 災害に対する備え

問21 災害に対する備え (複数回答)

		全体	食料や飲料水を準備している	携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	日用品(医薬品、おむつ等)をすぐ持ち出せるよう準備 <sup>1</sup>	消火器を準備している	いつも風呂に水をためおきしている	家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	住宅用火災警報機を設置している
全 体		1,566 —	784 50.1	1,070 68.3	387 24.7	229 14.6	732 46.7	574 36.7	379 24.2	299 19.1
F 2 年齢	15～19歳	36	50.0	50.0	11.1	8.3	38.9	27.8	30.6	11.1
	20～24歳	63	49.2	46.0	11.1	7.9	28.6	17.5	9.5	7.9
	25～29歳	77	31.2	39.0	18.2	13.0	26.0	22.1	16.9	9.1
	30～34歳	115	43.5	53.9	17.4	9.6	31.3	18.3	18.3	22.6
	35～39歳	157	51.0	63.7	15.3	18.5	36.3	26.8	24.2	21.7
	40～44歳	122	46.7	61.5	16.4	15.6	36.1	32.0	25.4	23.0
	45～49歳	112	49.1	64.3	15.2	15.2	43.8	27.7	20.5	12.5
	50～54歳	107	49.5	73.8	21.5	13.1	53.3	35.5	22.4	31.8
	55～59歳	133	52.6	72.9	21.8	13.5	46.6	36.1	31.6	18.0
	60～64歳	149	54.4	79.9	26.2	9.4	55.0	44.3	27.5	17.4
	65～69歳	156	52.6	82.1	35.3	16.0	60.3	53.8	32.1	17.3
	70～74歳	151	55.0	76.2	35.1	18.5	60.3	51.7	25.2	23.2
75歳以上	171	52.6	78.9	43.3	21.1	57.9	48.5	22.2	18.7	
無回答	17	58.8	64.7	47.1	0.0	52.9	35.3	17.6	17.6	

		全体	建物の耐震対策をしている	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	家族との連絡の方法を決めている	防災訓練に参加している	その他	特に何もしていない	無回答
全 体		1,566 —	180 11.5	631 40.3	419 26.8	362 23.1	8 0.5	133 8.5	27 1.7
F 2 年齢	15～19歳	36	11.1	36.1	30.6	13.9	0.0	16.7	0.0
	20～24歳	63	4.8	22.2	17.5	7.9	3.2	12.7	0.0
	25～29歳	77	10.4	24.7	29.9	5.2	0.0	16.9	0.0
	30～34歳	115	8.7	22.6	20.0	7.0	0.0	16.5	0.0
	35～39歳	157	12.7	29.9	25.5	12.1	1.3	13.4	1.3
	40～44歳	122	9.8	32.8	29.5	20.5	0.8	12.3	2.5
	45～49歳	112	11.6	39.3	30.4	16.1	1.8	12.5	1.8
	50～54歳	107	16.8	40.2	23.4	26.2	0.9	4.7	1.9
	55～59歳	133	10.5	41.4	26.3	28.6	0.0	8.3	1.5
	60～64歳	149	12.8	48.3	28.2	34.2	0.0	1.3	0.7
	65～69歳	156	16.0	50.0	30.8	35.9	0.0	2.6	0.0
	70～74歳	151	13.9	58.9	24.5	36.4	0.0	2.0	2.6
75歳以上	171	7.0	48.0	29.2	26.9	0.0	5.3	5.8	
無回答	17	5.9	52.9	23.5	23.5	0.0	17.6	5.9	

■ 災害への不安別 災害に対する備え(問19×問21)

- ・ 災害への不安を「強く感じている」層では、全体的に災害に対する備えについて実施率が高く、災害を意識していない層ほど実施率が低い傾向がみられる。不安感を煽るのではなく、災害が起こりうることを伝えていく工夫が必要である。

図表 災害への不安別 災害に対する備え

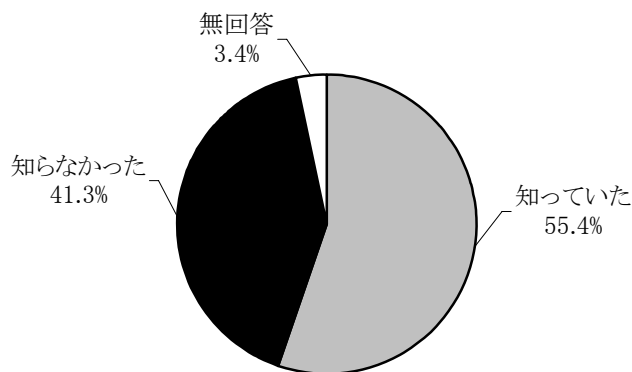
問21 災害に対する備え(複数回答)

		全体	食料や飲料水を準備している	携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	日用品(医薬品、おむつ等)をすぐ持ち出せるよう準備している	消火器を準備している	いつも風呂に水をためおきしている	家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	住宅用火災警報機を設置している
全 体		1,566	784	1,070	387	229	732	574	379	299
		—	50.1	68.3	24.7	14.6	46.7	36.7	24.2	19.1
問19 災害への不安	強く感じている	486	58.8	77.0	29.6	19.3	51.2	43.6	28.2	25.7
	多少感じている	865	47.7	66.2	23.2	14.2	44.9	34.7	25.0	16.1
	あまり感じていない	162	42.0	58.0	19.8	5.6	49.4	28.4	13.6	19.8
	全然感じていない	22	31.8	45.5	13.6	0.0	13.6	27.3	0.0	0.0
	無回答	31	32.3	61.3	22.6	9.7	38.7	32.3	12.9	9.7

		建物の耐震対策をしている	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に参加している	その他	特に何もしていない	無回答
全 体		180	631	419	362	8	133	27
		11.5	40.3	26.8	23.1	0.5	8.5	1.7
問19 災害への不安	強く感じている	13.0	48.4	31.9	28.4	0.8	4.9	0.8
	多少感じている	11.3	38.5	25.4	21.5	0.3	9.0	1.2
	あまり感じていない	11.1	28.4	22.8	16.0	0.6	13.0	3.7
	全然感じていない	0.0	27.3	13.6	27.3	0.0	40.9	0.0
	無回答	3.2	35.5	12.9	19.4	0.0	3.2	22.6

- 問22 区内に15箇所ある地域防災拠点、災害が発生し、家屋の倒壊等で自宅で生活できない時に避難し生活するための場所です。まず自宅の状況を確認することが大切ですが、このことをご存知でしたか
- ・「知っていた」が55.4%で、「知らなかった」(41.3%)を上回っている。

図表 地域防災拠点の意味の認識度



n=1,566

■ 男女別、年齢別 地域防災拠点の意味の認識度 (F1、2×問22)

- ・男女別にみると、男性の方が認識度がやや高い。
- ・年齢別では、高齢者層ほど認識度が高く、50～74歳では6割以上となっている。一方「30～34歳」では認識度が低い。

図表 男女別、年齢別 地域防災拠点についての認識度

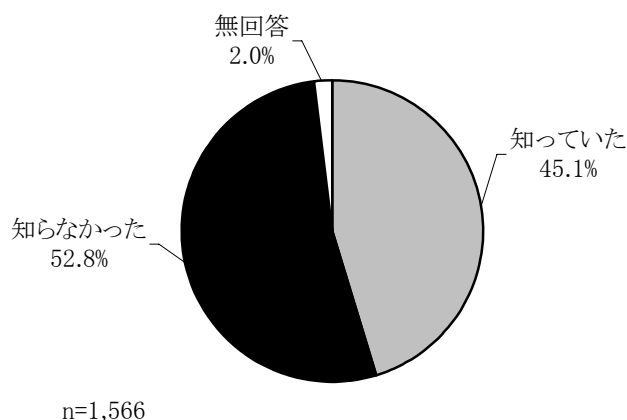
問22 地域防災拠点についての認識度

		全体	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1,566	867	646	53
		100.0	55.4	41.3	3.4
F1 性別	男性	630	58.1	38.1	3.8
	女性	901	53.7	43.3	3.0
	無回答	35	48.6	45.7	5.7
F2 年齢	15～19歳	36	44.4	55.6	0.0
	20～24歳	63	47.6	52.4	0.0
	25～29歳	77	44.2	55.8	0.0
	30～34歳	115	39.1	60.0	0.9
	35～39歳	157	54.1	43.9	1.9
	40～44歳	122	43.4	54.9	1.6
	45～49歳	112	55.4	42.9	1.8
	50～54歳	107	66.4	32.7	0.9
	55～59歳	133	60.2	37.6	2.3
	60～64歳	149	69.8	28.2	2.0
	65～69歳	156	60.3	36.5	3.2
	70～74歳	151	60.9	32.5	6.6
75歳以上	171	53.2	33.3	13.5	
	無回答	17	58.8	41.2	0.0

問 23 警戒宣言や災害発生などで自宅から避難する時には、再通電火災を防ぐために電気のブレーカーを落としていくことが大変重要となっています。ご存知でしたか。

- ・ 「知らなかった」が 52.8%で、「知っていた」(45.1%)を上回っている。

図表 避難時に電気のブレーカーを落とすことの重要性の認識度



■ 男女別、年齢別 避難時に電気のブレーカーを落とすことの重要性の認識度(F1、2×問23)

- ・ 男女別にみると、男性の方が認識度が高く、半数を超えており、女性は4割にとどまっている。
- ・ 高齢者層ほど認知度が高く、55歳以上では半数以上となっている。一方「30～34歳」では認知度が低い。

図表 男女別、年齢別 避難時に電気のブレーカーを落とすことの重要性の認識度

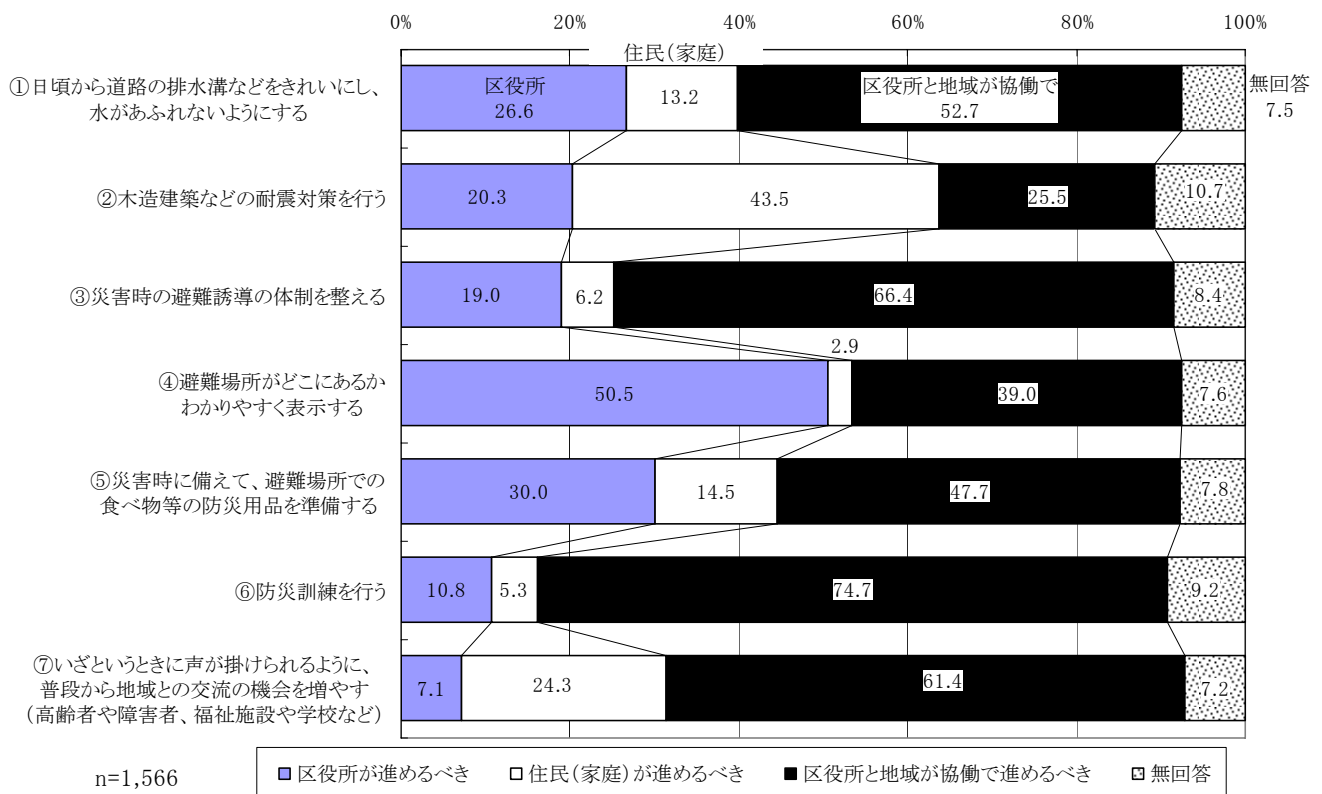
問23 避難する時に電気のブレーカーを落としていくことの重要性の認知度

		重要性の認知度			
		全体	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1,566	707	827	32
		100.0	45.1	52.8	2.0
F 1 性別	男性	630	51.6	46.2	2.2
	女性	901	40.6	57.6	1.8
	無回答	35	45.7	48.6	5.7
F 2 年齢	15～19歳	36	44.4	55.6	0.0
	20～24歳	63	31.7	68.3	0.0
	25～29歳	77	35.1	64.9	0.0
	30～34歳	115	29.6	70.4	0.0
	35～39歳	157	36.9	61.1	1.9
	40～44歳	122	35.2	63.1	1.6
	45～49歳	112	33.9	64.3	1.8
	50～54歳	107	46.7	52.3	0.9
	55～59歳	133	50.4	49.6	0.0
	60～64歳	149	55.7	43.6	0.7
	65～69歳	156	53.2	45.5	1.3
	70～74歳	151	57.6	37.7	4.6
	75歳以上	171	54.4	38.0	7.6
無回答	17	47.1	47.1	5.9	

**問23 防災対策について、どこが中心となって進めるべきだと考えますか。**

- ・「日頃から道路の排水溝などをきれいにし、水があふれないようにする」については、「区役所と地域が協働で進めるべき」(52.7%)が過半数を占めている。「区役所が進めるべき」は26.6%である。
- ・「木造建築などの耐震対策を行う」については、「住民(家庭)が進めるべき」が43.5%となっており、「区役所と地域が協働で進めるべき」(25.5%)が、「区役所が進めるべき」(20.3%)をやや上回っている。
- ・「災害時の避難誘導の体制を整える」については、「区役所と地域が協働で進めるべき」(66.4%)が6割以上となっている。
- ・「避難場所がどこにあるかわかりやすく表示する」については、「区役所が進めるべき」(50.5%)が半数を占め、「区役所と地域が協働で進めるべき」(39.0%)が4割となっている。
- ・「災害時に備えて、避難場所での食べ物等の防災用品を準備する」については、「区役所と地域が協働で進めるべき」(47.7%)が5割弱を占めている。
- ・「防災訓練を行う」については、「区役所と地域が協働で進めるべき」(74.7%)が4分の3を占めている。
- ・「いざというときに声が掛けられるように、普段から地域との交流の機会を増やす(高齢者や障害者、福祉施設や学校など)」については、「区役所と地域が協働で進めるべき」(61.4%)が6割以上を占めている。
- ・全体として「区役所と地域が協働で進めるべき」と考えられている項目が多く、「日頃から道路の排水溝などをきれいにし、水があふれないようにする」、「災害時の避難誘導の体制を整える」、「防災訓練を行う」、「いざというときに声が掛けられるように、普段から地域との交流の機会を増やす(高齢者や障害者、福祉施設や学校など)」の4項目は半数を超えている。
- ・「区役所が進めるべき」の割合が最も高いのは、「避難場所がどこにあるかわかりやすく表示する」(50.5%)、最も低いのは「いざというときに声が掛けられるように、普段から地域との交流の機会を増やす(高齢者や障害者、福祉施設や学校など)」(7.1%)である。
- ・「住民(家庭)が進めるべき」の割合が最も高いのは、「木造建築などの耐震対策を行う」(43.5%)で、最も低いのは「避難場所がどこにあるかわかりやすく表示する」(2.9%)である。

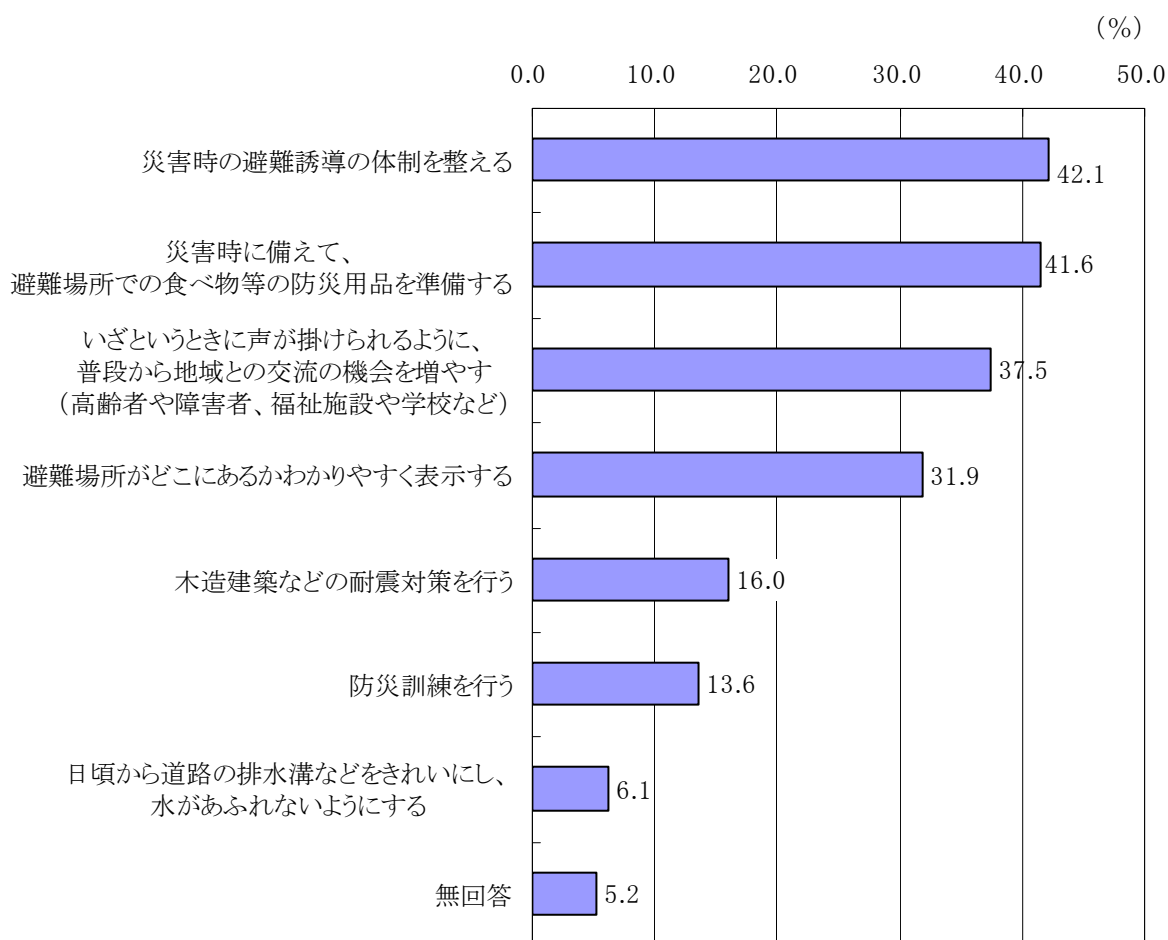
**図表 防災対策について、中心となって進めるべき実施主体**



問24-1 問 24 の地域での防災対策について、あなたはどれが特に有効な取り組みだと思いますか。(上位2つ選択の複数回答)

- ・ 「災害時の避難誘導の体制を整える」(42.1%)が最も多く、僅差で「災害時に備えて、避難場所での食べ物等の防災用品を準備する」(41.6%)が続いている。以下、「いざというときに声が掛けられるように、普段から地域との交流の機会を増やす(高齢者や障害者、福祉施設や学校など)」(37.5%)、「避難場所がどこにあるかわかりやすく表示する」(31.9%)、「木造建築などの耐震対策を行う」(16.0%)、「防災訓練を行う」(13.6%)、「日頃から道路の排水溝などをきれいにし、水があふれないようにする」(6.1%)の順である。

図表 地域での防災対策について、特に有効だと思う取り組み



<MA>  
n=1,566

■ 居住地域別 地域での防災対策について、特に有効だと思う取り組み(F3×問24-1)

- ・「災害時の避難誘導の体制を整える」については、「瀬谷北部町内連合会」と「細谷戸連合町内会」で特に割合が高く、半数以上が挙げている。
- ・「災害時に備えて、避難場所での食べ物等の防災用品を準備する」については、「南瀬谷自治連合会」、「三ツ境連合自治会」、「瀬谷第一地区連合町内会」、「瀬谷北部町内連合会」で45%を超えている。
- ・「避難場所がどこにあるかわかりやすく表示する」については、「本郷地区連合自治会」でやや高くなっている。
- ・「木造建築などの耐震対策を行う」については、「相沢町内連合会」、「瀬谷第一地区連合町内会」で2割を超えており、他地域に比べてやや高くなっている。
- ・「いざというときに声が掛けられるように、普段から地域との交流の機会を増やす(高齢者や障害者、福祉施設や学校など)」については「宮沢連合自治会」と「阿久和南部連合自治会」で4割を超えており、やや高くなっている。

図表 居住地域別 地域での防災対策について、特に有効だと思う取り組み

問24-1 地域での防災対策について、特に有効だと思う取り組み（2つまで回答）

		全体	日頃から道路の排水溝などをきれいにし、水があふれないようにする	木造建築などの耐震対策を行う	災害時の避難誘導の体制を整える	避難場所がどこにあるかわかりやすく表示する	災害時に備えて、避難場所での食べ物等の防災用品を準備する	防災訓練を行う	いざというときに声が掛けられるように、普段から地域との交流の機会を増やす(高齢者や障害者、福祉施設や学校など)	無回答
全 体		1,566	96	250	660	500	651	213	587	82
		—	6.1	16.0	42.1	31.9	41.6	13.6	37.5	5.2
F 3 居住 地域	阿久和北部連合自治会	134	6.7	15.7	41.8	30.6	43.3	10.4	39.6	6.0
	阿久和南部連合自治会	152	9.9	13.8	38.2	32.9	40.1	9.2	41.4	6.6
	三ツ境連合自治会	106	4.7	13.2	44.3	34.9	48.1	12.3	35.8	2.8
	瀬谷第一地区連合町内会	80	6.3	22.5	30.0	28.8	47.5	10.0	35.0	10.0
	本郷地区連合自治会	94	6.4	18.1	41.5	38.3	43.6	12.8	36.2	1.1
	瀬谷北部町内連合会	89	2.2	11.2	51.7	27.0	46.1	16.9	37.1	3.4
	瀬谷第二地区連合自治会	288	6.6	14.6	44.1	32.3	39.9	16.0	36.5	4.5
	細谷戸連合町内会	46	2.2	10.9	50.0	23.9	37.0	15.2	34.8	13.0
	瀬谷第四地区連合自治会	154	6.5	11.0	45.5	35.1	40.9	13.6	37.0	5.2
	南瀬谷自治連合会	93	7.5	17.2	35.5	29.0	48.4	17.2	35.5	4.3
	宮沢連合自治会	125	4.0	16.8	48.0	29.6	34.4	18.4	41.6	3.2
	相沢町内連合会	173	5.8	24.3	39.9	33.5	37.6	11.0	37.0	5.2
	無回答	32	6.3	18.8	25.0	28.1	40.6	15.6	34.4	15.6

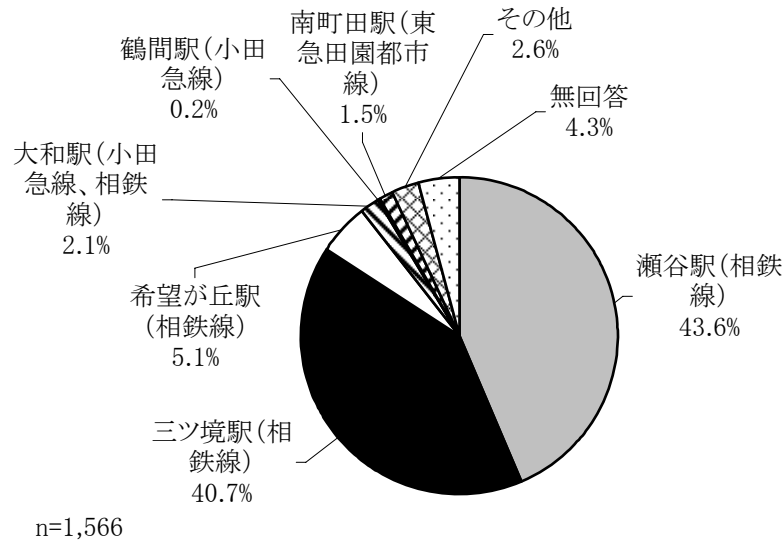


## 5. その他について

### 問 25 あなたが普段よく利用する最寄り駅をお知らせください。

- ・ 「瀬谷駅(相鉄線)」(43.6%)が最も多く、次いで「三ツ境駅(相鉄線)」(40.7%)であり、この2駅で全体の約85%を占めている。
- ・ 以下、「希望が丘駅(相鉄線)」(5.1%)、「その他」(2.6%)、「大和駅(小田急線、相鉄線)」(2.1%)、「南町田駅(東急田園都市線)」(1.5%)、「鶴間駅(小田急線)」(0.2%)の順である。
- ・ なお、「その他」(40件)のうち30件が「いずみ野駅(相鉄線)」であった。

図表 普段よく利用する最寄り駅



### ■ 居住地域別 普段よく利用する最寄り駅(F3×問25)

- ・ 各居住地域の利用率の高い駅は、下表の通りである。(網かけで表示)
- ・ 「阿久和北部連合自治会」では「三ツ境駅(相鉄線)」と「希望が丘駅(相鉄線)」に分かれており、やや「三ツ境駅(相鉄線)」が上回っている。

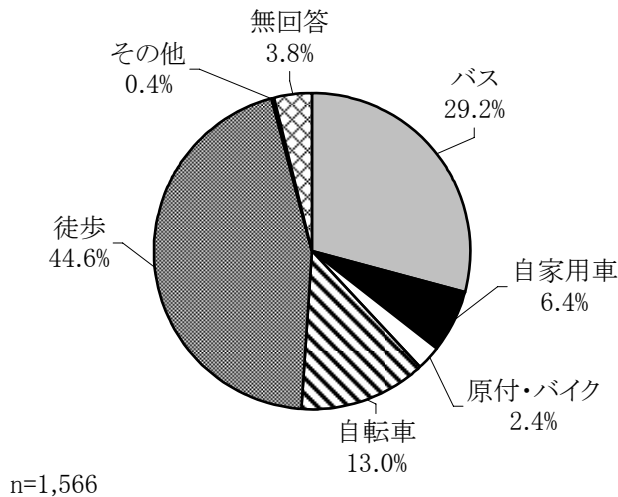
図表 居住地域別 普段よく利用する最寄り駅

		問25 普段よく利用する最寄り駅								
		全体	瀬谷駅 (相鉄線)	三ツ境駅 (相鉄線)	希望が丘 駅(相鉄 線)	大和駅 (小田急 線、相鉄 線)	鶴間駅 (小田急 線)	南町田駅 (東急田 園都市 線)	その他	無回答
全 体		1,566	682	637	80	33	3	24	40	67
		100.0	43.6	40.7	5.1	2.1	0.2	1.5	2.6	4.3
F 3 居住 地域	阿久和北部連合自治会	134	0.0	56.7	41.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5
	阿久和南部連合自治会	152	0.7	60.5	15.8	0.0	0.0	0.7	15.8	6.6
	三ツ境連合自治会	106	0.9	97.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
	瀬谷第一地区連合町内会	80	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	本郷地区連合自治会	94	89.4	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	8.5
	瀬谷北部町内連合会	89	66.3	0.0	0.0	2.2	3.4	25.8	0.0	2.2
	瀬谷第二地区連合自治会	288	80.9	4.5	0.0	8.3	0.0	0.0	1.7	4.5
	細谷戸連合町内会	46	91.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
	瀬谷第四地区連合自治会	154	6.5	88.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	4.5
	南瀬谷自治連合会	93	16.1	72.0	0.0	1.1	0.0	0.0	7.5	3.2
	宮沢連合自治会	125	0.8	92.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	5.6
	相沢町内連合会	173	85.5	9.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.6	2.9
	無回答	32	37.5	50.0	3.1	3.1	0.0	0.0	3.1	3.1

**問 26 あなたが利用する最寄り駅までの交通手段をお知らせください。**

- ・ 「徒歩」(44.6%)が最も多く、次いで「バス」(29.2%)となっている。以下、「自転車」(13.0%)、「自家用車」(6.4%)、「原付・バイク」(2.4%)、「その他」(0.4%)の順である。

**図表 最寄り駅までの交通手段**



**■ 最寄り駅別 最寄り駅までの交通手段(問25×問26)**

- ・ 「瀬谷駅(相鉄線)」と「希望が丘駅(相鉄線)」は半数が「徒歩」である。「希望が丘駅(相鉄線)」は3割が「自転車」である。
- ・ 「三ツ境駅(相鉄線)」は「バス」、「徒歩」が4割前後で、「バス」がやや多い。
- ・ 「大和駅(小田急線、相鉄線)」は半数以上が「バス」、2割が「自転車」である。

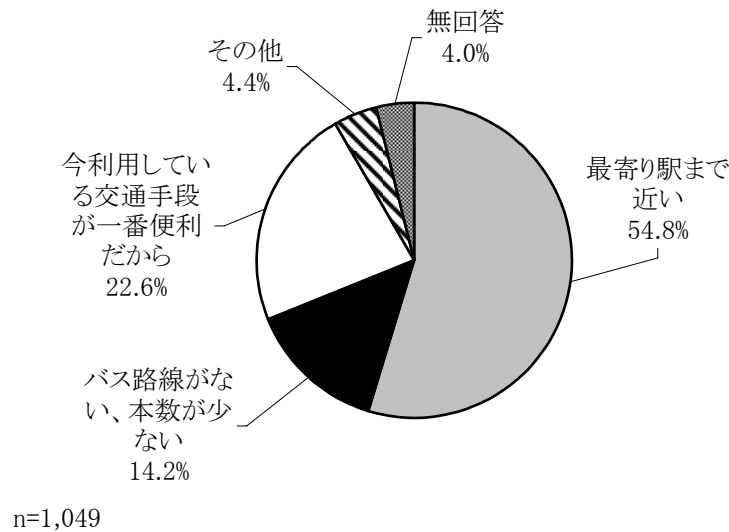
**図表 最寄り駅別 最寄り駅までの交通手段**

		全体	バス	自家用車	原付・バイク	自転車	徒歩	その他	無回答
全 体		1,566	457	101	38	204	699	7	60
		100.0	29.2	6.4	2.4	13.0	44.6	0.4	3.8
問25 最寄り駅	瀬谷駅(相鉄線)	682	18.6	5.3	2.1	16.3	56.5	0.4	0.9
	三ツ境駅(相鉄線)	637	43.0	6.6	2.0	7.4	39.7	0.2	1.1
	希望が丘駅(相鉄線)	80	3.8	6.3	7.5	31.3	50.0	1.3	0.0
	大和駅(小田急線、相鉄線)	33	54.5	6.1	9.1	21.2	6.1	0.0	3.0
	鶴間駅(小田急線)	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南町田駅(東急田園都市線)	24	33.3	20.8	0.0	25.0	20.8	0.0	0.0
	その他	40	40.0	12.5	2.5	20.0	12.5	2.5	10.0
	無回答	67	11.9	9.0	1.5	0.0	13.4	1.5	62.7

問 26-1 問 26 で「1 バス」以外を答えた方にうかがいます。その理由はなんですか。

- ・ 「最寄り駅まで近い」(54.8%)が最も多く、半数以上を占めている。次いで「今利用している交通手段が一番便利だから」(22.6%)、「バス路線がない、本数が少ない」(14.2%)、「その他」(4.4%)の順である。

図表 バス以外を利用する理由



■ 最寄り駅別 バス以外を利用する理由(問25×問26-1)

- ・ 「瀬谷駅(相鉄線)」と「三ツ境駅(相鉄線)」では概ね6割が「最寄り駅まで近い」としている。
- ・ 「希望が丘駅(相鉄線)」では「最寄り駅まで近い」と「今利用している交通手段が一番便利だから」がそれぞれ3割で拮抗している。
- ・ 「バス路線がない、本数が少ない」については、駅別の割合では「その他」、「南町田駅(東急田園都市線)」、「大和駅(小田急線、相鉄線)」が多く、件数では、「瀬谷駅(相鉄線)」(77件)、「三ツ境駅(相鉄線)」(29件)、「希望が丘駅(相鉄線)」(21件)が多い。

図表 最寄り駅別 バス以外を利用する理由

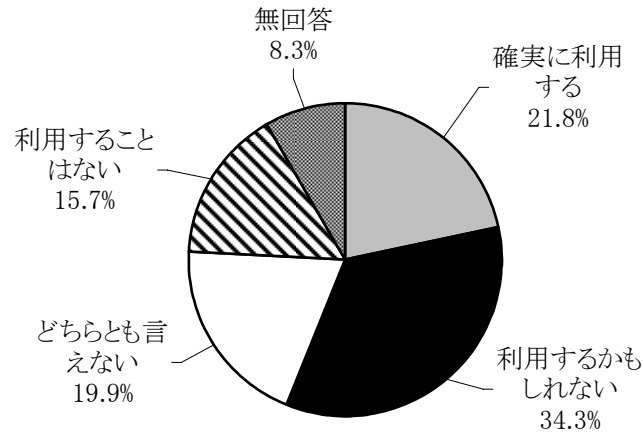
		問26-1 バス以外を利用する理由					
		全体	最寄り駅まで近い	バス路線がない、本数が少ない	今利用している交通手段が一番便利だから	その他	無回答
全 体		1,049	575	149	237	46	42
		100.0	54.8	14.2	22.6	4.4	4.0
問25 最寄り駅	瀬谷駅(相鉄線)	549	60.3	14.0	17.5	4.2	4.0
	三ツ境駅(相鉄線)	356	57.6	8.1	25.8	3.9	4.5
	希望が丘駅(相鉄線)	77	32.5	27.3	31.2	5.2	3.9
	大和駅(小田急線、相鉄線)	14	7.1	35.7	50.0	7.1	0.0
	鶴間駅(小田急線)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南町田駅(東急田園都市線)	16	6.3	37.5	50.0	6.3	0.0
	その他	20	35.0	40.0	25.0	0.0	0.0
	無回答	17	29.4	17.6	29.4	17.6	5.9

問 26-2 あなたは最寄り駅までの交通手段としてバスがあれば、またはバスの便数が増加すれば利用しますか。

(問 26-1 で「1 最寄り駅まで近い」以外を答えた人のみ)

- ・ 「利用するかもしれない」(34.3%)が最も多く、「確実に利用する」(21.8%)とあわせると、半数以上が利用の可能性が高いと回答している。
- ・ 「どちらとも言えない」は 19.9%、「利用することはない」は 15.7%である。

図表 最寄り駅までの交通手段としてバスがあれば、またはバスの便数が増加すれば利用するか



n=432

■ 最寄り駅別 バスの利用意向(問25×問26-2)

- ・ 全体的にサンプル数が少ないため単純な比較は難しいが、「確実に利用する」については、「その他」で4割以上、「希望が丘駅(相鉄線)」と「大和駅(小田急線、相鉄線)」では3割となっている。「確実に利用する」と「利用するかもしれない」をあわせた割合をみると、「三ツ境駅(相鉄線)」を除く全ての駅で半数以上と高い割合であり、「南町田駅(東急田園都市線)」では7割を超えている。「三ツ境駅(相鉄線)」は 48.1%となっている。
- ・ 「確実に利用する」と「利用するかもしれない」をあわせた数字では、「瀬谷駅(相鉄線)」で 113 件、「三ツ境駅(相鉄線)」で 65 件となっている。

図表 最寄り駅別 バスの利用意向

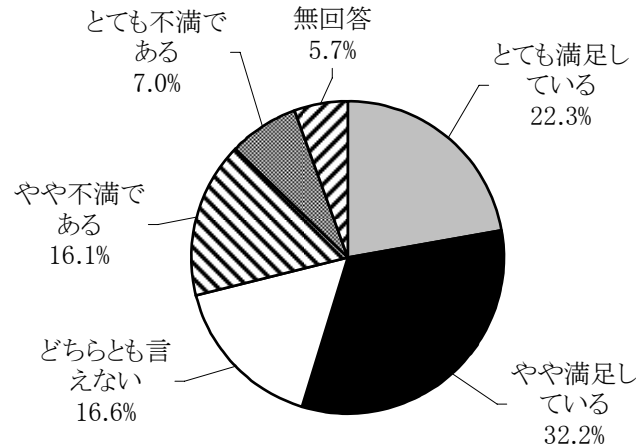
問26-2 最寄り駅まで交通手段としてバスがあれば、またはバスの便数が増加すれば利用しますか

		全体	確実に利用する	利用するかもしれない	どちらとも言えない	利用することはない	無回答
全体		432	94	148	86	68	36
		100.0	21.8	34.3	19.9	15.7	8.3
問25 最寄り駅	瀬谷駅(相鉄線)	196	20.9	36.7	16.3	17.9	8.2
	三ツ境駅(相鉄線)	135	15.6	32.6	31.9	9.6	10.4
	希望が丘駅(相鉄線)	49	30.6	32.7	14.3	18.4	4.1
	大和駅(小田急線、相鉄線)	13	30.8	30.8	7.7	30.8	0.0
	鶴間駅(小田急線)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南町田駅(東急田園都市線)	15	26.7	46.7	6.7	13.3	6.7
	その他	13	46.2	23.1	7.7	15.4	7.7
	無回答	11	27.3	18.2	9.1	27.3	18.2

**問 27 あなたは最寄り駅へのアクセス環境(交通手段、所要時間)に満足していますか。**

- 「やや満足している」(32.2%)が最も多く、「とても満足している」(22.3%)とあわせると、半数強が現在のアクセス環境に満足と回答している。一方「やや不満である」(16.1%)、「とても不満である」(7.0%)で4分の1近くが不満としている。「どちらとも言えない」は 16.6%である。

**図表 最寄り駅へのアクセス環境への満足度**



n=1,566

**■ 最寄り駅別 アクセス環境への満足度(問25×問27)**

- 「とても満足している」と「やや満足している」をあわせた割合をみると、「瀬谷駅(相鉄線)」と「三ツ境駅(相鉄線)」では概ね6割で高い満足度となっている。この2駅以外の駅では「不満」とする方が多くなっており、「希望が丘駅(相鉄線)」では満足度が 33.8%、「大和駅(小田急線、相鉄線)」では 24.2%にとどまっている。

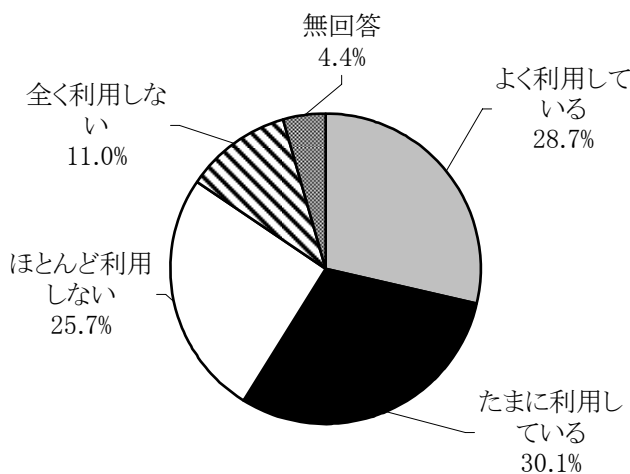
**図表 最寄り駅別 アクセス環境への満足度**

		問27 最寄り駅へのアクセス環境への満足度						
		全体	とても満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	とても不満である	無回答
全体		1,566	350	505	260	252	110	89
		100.0	22.3	32.2	16.6	16.1	7.0	5.7
問25	瀬谷駅(相鉄線)	682	25.8	34.3	16.1	14.1	5.9	3.8
最寄り駅	三ツ境駅(相鉄線)	637	24.6	34.5	17.0	15.7	5.2	3.0
	希望が丘駅(相鉄線)	80	3.8	30.0	18.8	27.5	18.8	1.3
	大和駅(小田急線、相鉄線)	33	12.1	12.1	24.2	36.4	15.2	0.0
	鶴間駅(小田急線)	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	南町田駅(東急田園都市線)	24	4.2	16.7	12.5	33.3	29.2	4.2
	その他	40	2.5	25.0	27.5	27.5	12.5	5.0
	無回答	67	11.9	13.4	7.5	1.5	6.0	59.7

**問 28 あなたは近隣の商店街を利用していますか。**

- ・ 「たまに利用している」(30.1%)が最も多く、「よく利用している」(28.7%)とあわせると、6割弱が近隣の商店街を利用している。「ほとんど利用しない」は 25.7%、「全く利用しない」は 11.0%である。

**図表 近隣の商店街の利用頻度**



n=1,566

**■ 年齢別 近隣の商店街の利用頻度 (F2 × 問28)**

- ・ 年齢別にみると、年齢が高い層ほど利用率が高い傾向がみられる。「よく利用している」と「たまに利用している」をあわせた割合では、20代までは3割台にとどまっているが、35歳以上からは半数を超えており、「75歳以上」では7割を超えている。

**図表 年齢別 近隣の商店街の利用頻度**

問28 近隣の商店街の利用頻度

		全体	よく利用している	たまに利用している	ほとんど利用しない	全く利用しない	無回答
全 体		1,566	450	471	403	173	69
		100.0	28.7	30.1	25.7	11.0	4.4
F 2 年齢	15～19歳	36	0.0	36.1	36.1	25.0	2.8
	20～24歳	63	14.3	23.8	46.0	15.9	0.0
	25～29歳	77	11.7	23.4	44.2	20.8	0.0
	30～34歳	115	15.7	30.4	36.5	16.5	0.9
	35～39歳	157	17.8	32.5	27.4	17.8	4.5
	40～44歳	122	21.3	37.7	27.0	12.3	1.6
	45～49歳	112	29.5	39.3	22.3	8.0	0.9
	50～54歳	107	30.8	27.1	33.6	6.5	1.9
	55～59歳	133	27.8	37.6	22.6	9.0	3.0
	60～64歳	149	32.9	26.2	26.2	10.1	4.7
	65～69歳	156	38.5	28.2	16.7	9.0	7.7
	70～74歳	151	39.7	29.1	19.9	4.6	6.6
	75歳以上	171	48.0	24.0	9.9	5.8	12.3
無回答	17	35.3	11.8	35.3	11.8	5.9	

■ 居住地域別 近隣の商店街の利用頻度(F3×問28)

- ・「よく利用している」と「たまに利用している」をあわせた割合を居住地域別にみると、細谷戸連合町内会では8割を超えている。「瀬谷第一地区連合町内会」、「本郷地区連合自治会」では7割である。一方、「瀬谷北部町内連合会」では3割にとどまっており、他の地域に比べて低い割合となっている。

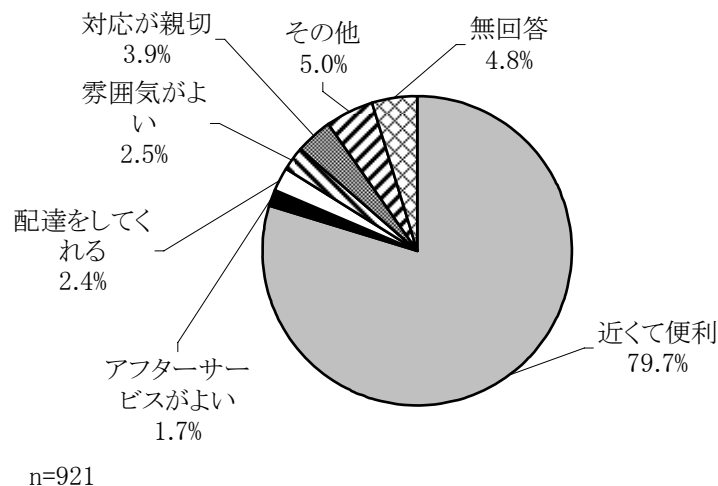
図表 居住地域別 近隣の商店街の利用頻度

		問28 近隣の商店街の利用頻度					
		全体	よく利用している	たまに利用している	ほとんど利用しない	全く利用しない	無回答
全 体		1,566	450	471	403	173	69
		100.0	28.7	30.1	25.7	11.0	4.4
F 3 居住地域	阿久和北部連合自治会	134	19.4	29.1	35.1	13.4	3.0
	阿久和南部連合自治会	152	25.0	21.7	31.6	14.5	7.2
	三ツ境連合自治会	106	23.6	43.4	25.5	2.8	4.7
	瀬谷第一地区連合町内会	80	42.5	30.0	20.0	3.8	3.8
	本郷地区連合自治会	94	30.9	39.4	24.5	3.2	2.1
	瀬谷北部町内連合会	89	14.6	18.0	28.1	36.0	3.4
	瀬谷第二地区連合自治会	288	31.9	29.5	25.7	9.0	3.8
	細谷戸連合町内会	46	52.2	30.4	4.3	4.3	8.7
	瀬谷第四地区連合自治会	154	29.2	26.0	24.0	14.9	5.8
	南瀬谷自治連合会	93	19.4	45.2	25.8	7.5	2.2
	宮沢連合自治会	125	24.8	33.6	26.4	8.0	7.2
	相沢町内連合会	173	39.3	26.0	21.4	10.4	2.9
	無回答	32	21.9	25.0	31.3	18.8	3.1

問 29 あなたが近隣の商店街を利用している理由は何ですか。

- ・「近くて便利」(79.7%)が最も多く、全体の8割を占めている。
- ・以下、割合が高い順に「その他」(5.0%)、「対応が親切」(3.9%)、「雰囲気がよい」(2.5%)、「配達をしてくれる」(2.4%)、「アフターサービスがよい」(1.7%)となっている。

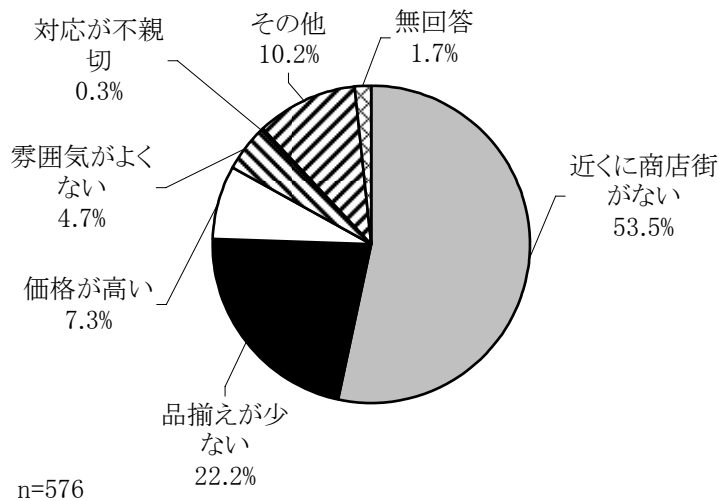
図表 近隣の商店街を利用している理由



**問 30 あなたが近隣の商店街を利用しない理由は何ですか。**

- ・ 「近くに商店街がない」(53.5%)が最も多く、半数強を占めている。
- ・ 以下、割合が高い順に「品揃えが少ない」(22.2%)、「その他」(10.2%)、「価格が高い」(7.3%)、「雰囲気がよくない」(4.7%)、「対応が不親切」(0.3%)となっている。

**図表 近隣の商店街を利用しない理由**



**■ 居住地域別 近隣の商店街を利用しない理由(F3×問30)**

- ・ 全体的にサンプル数が少ないため単純な比較は難しいが、商店街の利用割合が低い「瀬谷北部町内連合会」では9割近くが「近くに商店街がない」を挙げている。これは他の地域と比較しても特に高い割合である。
- ・ 「南瀬谷自治連合会」、「三ツ境連合自治会」では「品揃えが少ない」の割合が高い。

**図表 居住地域別 近隣の商店街を利用しない理由**

問30 近隣の商店街を利用しない理由

		全体	近くに商店街がない	品揃えが少ない	価格が高い	雰囲気がよくない	対応が不親切	その他	無回答
全体		576	308	128	42	27	2	59	10
		100.0	53.5	22.2	7.3	4.7	0.3	10.2	1.7
F3 居住 地域	阿久和北部連合自治会	65	70.8	13.8	4.6	4.6	0.0	4.6	1.5
	阿久和南部連合自治会	70	80.0	8.6	4.3	1.4	0.0	5.7	0.0
	三ツ境連合自治会	30	13.3	46.7	13.3	3.3	0.0	20.0	3.3
	瀬谷第一地区連合町内会	19	15.8	26.3	26.3	10.5	0.0	10.5	10.5
	本郷地区連合自治会	26	34.6	19.2	19.2	3.8	0.0	23.1	0.0
	瀬谷北部町内連合会	57	89.5	7.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0
	瀬谷第二地区連合自治会	100	57.0	20.0	9.0	6.0	0.0	8.0	0.0
	細谷戸連合町内会	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	60	46.7	25.0	8.3	5.0	1.7	10.0	3.3
	南瀬谷自治連合会	31	19.4	58.1	0.0	9.7	0.0	12.9	0.0
	宮沢連合自治会	43	41.9	25.6	7.0	0.0	2.3	23.3	0.0
	相沢町内連合会	55	38.2	27.3	7.3	7.3	0.0	14.5	5.5
	無回答	16	37.5	31.3	6.3	18.8	0.0	0.0	6.3

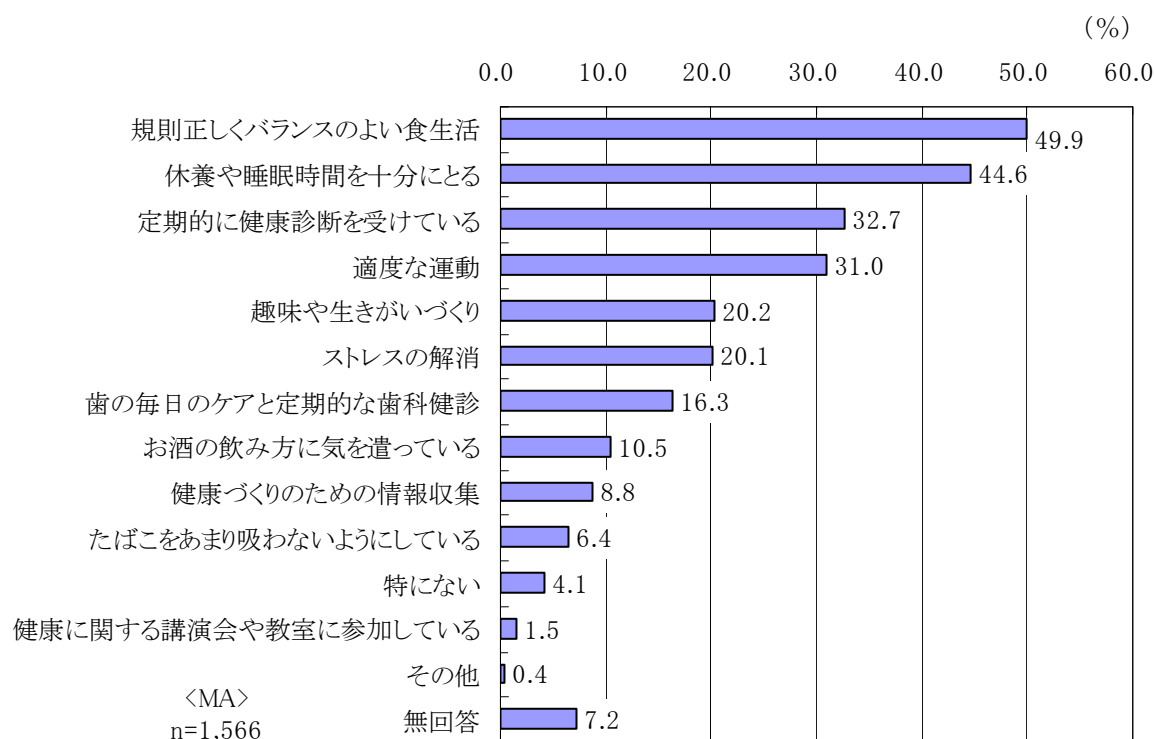


問 31 現在、あなたご自身の健康づくりのためにやっていることは何ですか。また、今後行いたいことは何ですか。  
 (それぞれ3つまでの複数回答)

【現在行っていること】

- ・ 「規則正しくバランスのよい食生活」(49.9%)が最も多く、次いで「休養や睡眠時間を十分にとる」(44.6%)となっている。
- ・ 以下、取り組みの割合が高い順に「定期的に健康診断を受けている」(32.7%)、「適度な運動」(31.0%)、「趣味や生きがいづくり」(20.2%)、「ストレスの解消」(20.1%)、「歯の毎日のケアと定期的な歯科健診」(16.3%)、「お酒の飲み方に気を遣っている」(10.5%)、「健康づくりのための情報収集」(8.8%)、「たばこをあまり吸わないようにしている」(6.4%)、「健康に関する講演会や教室に参加している」(1.5%)、「その他」(0.4%)となっている。
- ・ 「特にない」は 4.1%にとどまっている。

図表 現在、健康づくりのためにやっていること



■ 年齢別 現在、健康づくりのためにやっていること(F2×問31)

- ・「規則正しくバランスのよい食生活」については、45歳以上で概ね半数を超えており、「70～74歳」では6割強となっている。「適度な運動」は「65～69歳」で半数を超えており、他の年齢よりも高くなっている。一方で「35～39歳」「40～44歳」では2割に満たない。
- ・「休養や睡眠時間を十分にとる」は「30～34歳」で6割に達しており、特に高い。

図表 年齢別 現在、健康づくりのためにやっていること

問31 現在、健康づくりのためにやっていること（3つまで回答）

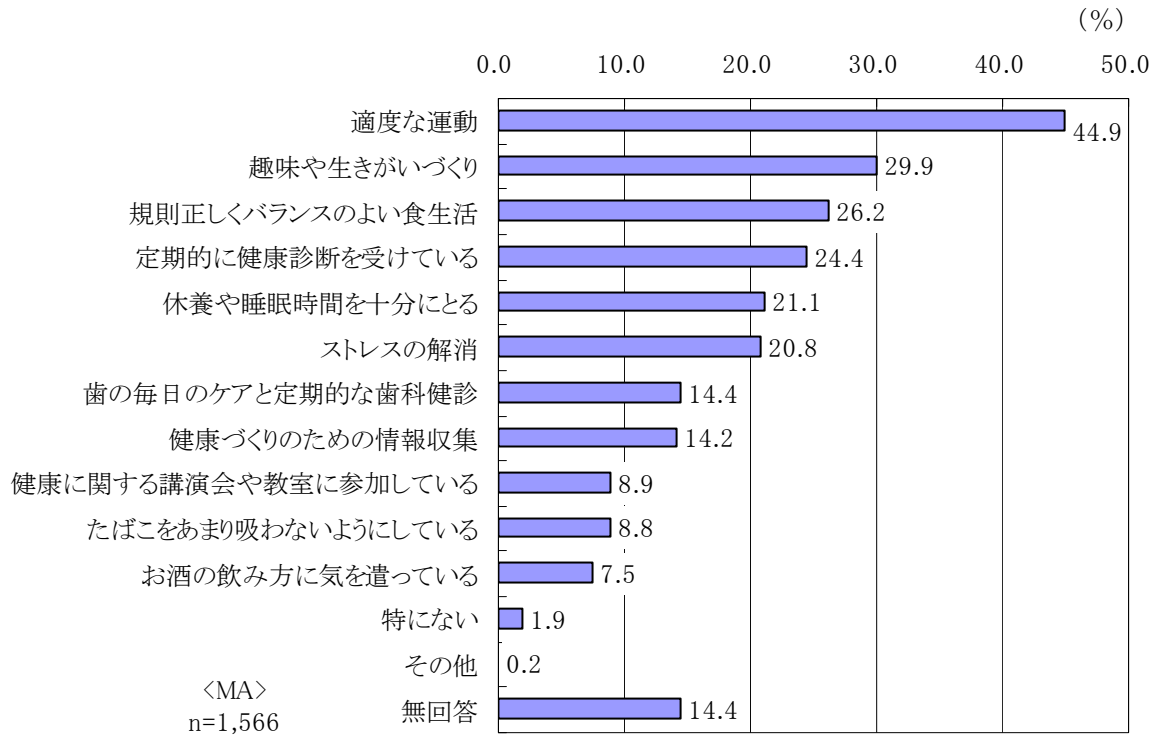
		全体	規則正しくバランスのよい食生活	適度な運動	ストレスの解消	休養や睡眠時間を十分にとる	たばこをあまり吸わないようにしている	お酒の飲み方に気を遣っている	健康づくりのための情報収集
全体		1,566 —	782 49.9	486 31.0	314 20.1	698 44.6	101 6.4	164 10.5	138 8.8
F2 年齢	15～19歳	36	22.2	30.6	33.3	44.4	2.8	0.0	8.3
	20～24歳	63	30.2	20.6	25.4	47.6	15.9	15.9	7.9
	25～29歳	77	41.6	23.4	22.1	55.8	7.8	14.3	15.6
	30～34歳	115	48.7	20.0	31.3	61.7	7.8	13.0	10.4
	35～39歳	157	48.4	12.7	24.8	47.1	7.6	12.1	11.5
	40～44歳	122	46.7	18.9	26.2	42.6	6.6	12.3	6.6
	45～49歳	112	50.9	30.4	18.8	50.9	6.3	8.9	11.6
	50～54歳	107	56.1	33.6	23.4	40.2	12.1	12.1	10.3
	55～59歳	133	53.4	33.8	18.8	43.6	3.0	9.0	11.3
	60～64歳	149	53.0	39.6	16.1	44.3	6.0	7.4	9.4
	65～69歳	156	48.7	53.8	11.5	41.0	6.4	11.5	3.8
	70～74歳	151	65.6	41.1	15.9	32.5	4.0	9.3	6.0
	75歳以上	171	50.3	32.7	11.7	41.5	2.9	9.4	5.8
無回答	17	35.3	11.8	29.4	23.5	5.9	0.0	11.8	

		全体	歯の毎日のケアと定期的な歯科健診	定期的健康診断を受けている	健康に関する講演会や教室に参加している	趣味や生きがいがいく	その他	特になし	無回答
全体		1,566 —	256 16.3	512 32.7	23 1.5	317 20.2	6 0.4	64 4.1	112 7.2
F2 年齢	15～19歳	36	8.3	13.9	0.0	38.9	0.0	16.7	2.8
	20～24歳	63	20.6	9.5	0.0	27.0	0.0	11.1	3.2
	25～29歳	77	15.6	20.8	0.0	22.1	0.0	5.2	2.6
	30～34歳	115	10.4	21.7	0.0	20.9	0.0	7.0	0.9
	35～39歳	157	22.3	24.2	0.6	17.2	0.0	6.4	5.7
	40～44歳	122	18.0	36.1	1.6	20.5	1.6	7.4	4.9
	45～49歳	112	8.9	46.4	3.6	13.4	1.8	4.5	1.8
	50～54歳	107	15.9	39.3	0.0	17.8	0.0	0.9	4.7
	55～59歳	133	18.8	40.6	0.8	12.0	0.0	3.8	7.5
	60～64歳	149	23.5	34.2	1.3	21.5	0.0	2.7	4.7
	65～69歳	156	17.9	35.9	1.9	26.3	0.6	1.9	7.7
	70～74歳	151	13.9	35.1	2.6	21.9	0.0	0.0	13.9
	75歳以上	171	12.9	36.8	3.5	21.1	0.6	1.2	17.0
無回答	17	5.9	41.2	0.0	5.9	0.0	0.0	29.4	

## 【今後行いたいこと】

- ・ 「適度な運動」(44.9%)が最も多く、4割以上が挙げている。
- ・ 以下、意向の高い順に「趣味や生きがいがづくり」(29.9%)、「規則正しくバランスのよい食生活」(26.2%)、「定期的に健康診断を受けている」(24.4%)、「休養や睡眠時間を十分にとる」(21.1%)、「ストレスの解消」(20.8%)、「歯の毎日のケアと定期的な歯科健診」(14.4%)、「健康づくりのための情報収集」(14.2%)、「健康に関する講演会や教室に参加している」(8.9%)、「たばこをあまり吸わないようにしている」(8.8%)、「お酒の飲み方に気を遣っている」(7.5%)、「その他」(0.2%)となっている。
- ・ 「特にない」は 1.9%にとどまっている。

図表 今後、健康づくりのために行いたいこと



■ 年齢別 今後、健康づくりのためにやりたいこと(F2×問31)

- ・「規則正しくバランスのよい食生活」については、10代、20代で割合が高く、4割となっている。
- ・「適度な運動」は60歳未満では概ね半数以上が挙げており、特に「35～39歳」では6割を超えている。年齢が高くなるほど減少する傾向がみられる。
- ・「定期的に健康診断を受けている」については、「25～29歳」、「30～34歳」で3割を超えている。
- ・「趣味や生きがいがづくり」は中高年層に高い傾向がみられ、「50～54歳」で4割を超えている。

図表 年齢別 今後、健康づくりのためにやりたいこと

問31 今後、健康づくりのためにやりたいこと（3つまで回答）

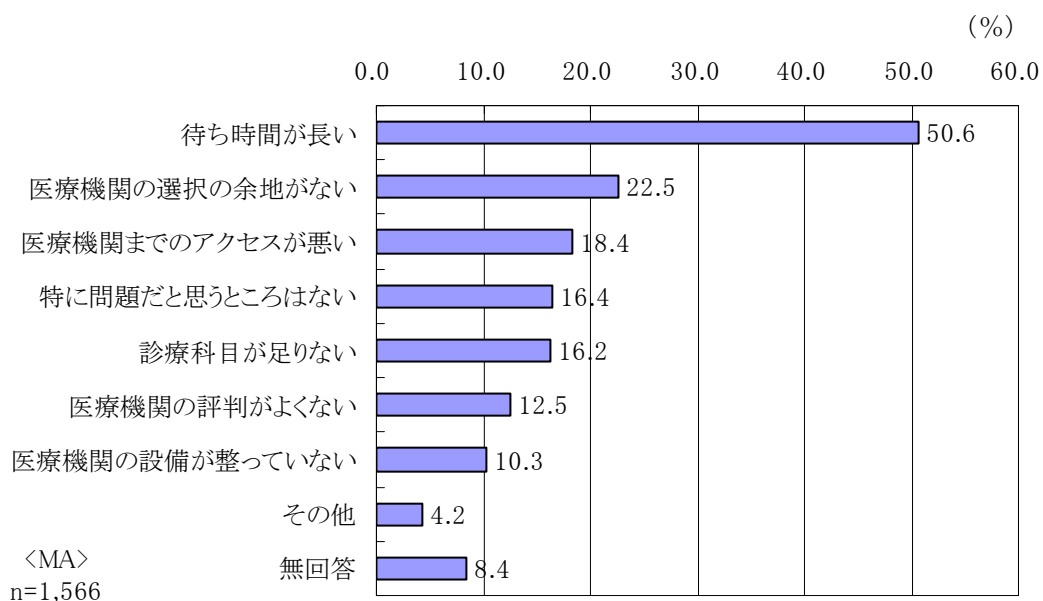
		全体	規則正しくバランスのよい食生活	適度な運動	ストレスの解消	休養や睡眠時間を十分にとる	たばこをあまり吸わないようにしている	お酒の飲み方に気を遣っている	健康づくりのための情報収集
全体		1,566	411	703	325	330	138	118	222
		—	26.2	44.9	20.8	21.1	8.8	7.5	14.2
F2 年齢	15～19歳	36	41.7	55.6	27.8	41.7	8.3	8.3	5.6
	20～24歳	63	41.3	55.6	33.3	22.2	6.3	11.1	12.7
	25～29歳	77	40.3	57.1	29.9	27.3	16.9	3.9	13.0
	30～34歳	115	37.4	54.8	20.0	18.3	18.3	8.7	7.8
	35～39歳	157	24.2	61.8	26.1	22.3	10.2	8.3	12.1
	40～44歳	122	30.3	59.8	22.1	32.8	9.8	4.1	7.4
	45～49歳	112	26.8	48.2	24.1	25.9	9.8	10.7	14.3
	50～54歳	107	27.1	50.5	22.4	26.2	8.4	12.1	13.1
	55～59歳	133	24.8	49.6	16.5	21.8	6.8	3.8	13.5
	60～64歳	149	26.8	43.6	19.5	20.1	6.0	6.7	18.8
	65～69歳	156	22.4	27.6	19.2	12.2	6.4	8.3	16.7
	70～74歳	151	15.2	28.5	15.9	13.9	7.3	6.0	23.8
75歳以上	171	17.0	24.0	12.9	14.0	4.7	7.0	14.6	
無回答	17	11.8	29.4	11.8	23.5	11.8	17.6	11.8	

		全体	歯の毎日のケアと定期的な歯科健診	定期的に健康診断を受けている	健康に関する講演会や教室に参加している	趣味や生きがいがづくり	その他	特になし	無回答
全体		1,566	225	382	140	469	3	30	225
		—	14.4	24.4	8.9	29.9	0.2	1.9	14.4
F2 年齢	15～19歳	36	25.0	11.1	2.8	19.4	0.0	0.0	2.8
	20～24歳	63	19.0	28.6	1.6	15.9	0.0	1.6	4.8
	25～29歳	77	20.8	32.5	1.3	20.8	0.0	1.3	2.6
	30～34歳	115	21.7	35.7	3.5	21.7	0.0	3.5	4.3
	35～39歳	157	17.8	27.4	6.4	30.6	0.0	0.6	5.7
	40～44歳	122	6.6	24.6	9.0	27.0	1.6	2.5	6.6
	45～49歳	112	15.2	16.1	9.8	35.7	0.0	1.8	8.0
	50～54歳	107	14.0	22.4	11.2	41.1	0.0	0.0	5.6
	55～59歳	133	15.8	21.1	10.5	33.8	0.0	3.8	13.5
	60～64歳	149	12.8	26.8	12.1	38.9	0.0	4.0	10.1
	65～69歳	156	15.4	25.0	14.1	31.4	0.0	1.9	19.9
	70～74歳	151	9.9	21.9	14.6	32.5	0.0	1.3	29.8
75歳以上	171	8.2	22.8	7.6	24.0	0.6	1.2	38.6	
無回答	17	11.8	0.0	0.0	23.5	0.0	0.0	41.2	

**問 32 昨年度の区民意識調査では、「病院・救急医療などの地域医療」が区役所の取り組むべき課題の1位でした。あなたにとって現在お住まいの地域の医療環境に問題だと思うところがありますか。(複数回答)**

- ・「待ち時間が長い」(50.6%)が最も多く、約半数が挙げている。以下、問題点として多く挙げられている順に、「医療機関の選択の余地がない」(22.5%)、「医療機関までのアクセスが悪い」(18.4%)、「診療科目が足りない」(16.2%)、「医療機関の評判がよくない」(12.5%)、「医療機関の設備が整っていない」(10.3%)、「その他」(4.2%)となっている。
- ・「特に問題だと思うところはない」は 16.4%である。

**図表 地域の医療環境で問題だと思うところ**



## ■ 居住地域別 地域の医療環境で問題だと思うところ(F3×問32)

- いずれの地域でも「待ち時間が長い」の割合が高くなっており、特に「三ツ境連合自治会」では6割を超えている。最も低いのは「瀬谷北部町内連合会」であるが、4割弱が挙げている。
- 「医療機関までのアクセスが悪い」については、「瀬谷北部町内連合会」が4割弱で特に高く、「阿久和南部連合自治会」、「細谷戸連合町内会」でも3割近くとなっている。
- 「医療機関の選択の余地がない」については、「瀬谷第二地区連合自治会」で特に高い。
- 「診療科目が足りない」については「瀬谷第一地区連合町内会」で特に高く、最も低いのは「宮沢連合自治会」である。
- 「特に問題だと思うところはない」については「瀬谷第一地区連合町内会」と「瀬谷第四地区連合自治会」で2割となっており、他の地域に比べてやや高くなっている。

図表 居住地域別 地域の医療環境で問題だと思うところ

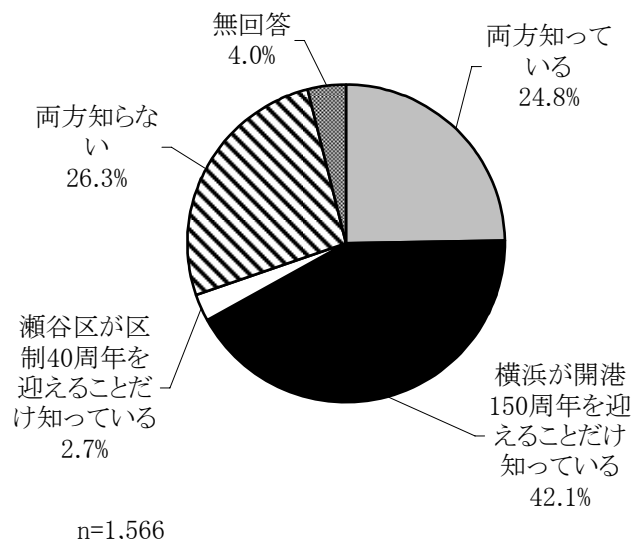
問32 地域の医療環境で問題だと思うところ（複数回答）

		全体	医療機関 までのア クセスが 悪い	医療機関 の選択の 余地がな い	待ち時間 が長い	診療科目 が足りな い	医療機関 の評判が よくない	医療機関 の設備が 整ってい ない	その他	特に問題 だと思う ところは ない	無回答
全 体		1,566	288	353	793	254	196	161	66	257	131
		—	18.4	22.5	50.6	16.2	12.5	10.3	4.2	16.4	8.4
F 3 居住 地域	阿久和北部連合自治会	134	21.6	23.9	41.8	20.9	14.9	11.2	4.5	15.7	7.5
	阿久和南部連合自治会	152	27.0	21.1	51.3	20.4	9.2	8.6	3.3	15.8	8.6
	三ツ境連合自治会	106	3.8	20.8	63.2	13.2	11.3	9.4	2.8	12.3	9.4
	瀬谷第一地区連合町内会	80	15.0	26.3	50.0	23.8	11.3	15.0	2.5	20.0	7.5
	本郷地区連合自治会	94	10.6	25.5	48.9	12.8	8.5	10.6	6.4	19.1	6.4
	瀬谷北部町内連合会	89	38.2	22.5	38.2	18.0	12.4	10.1	3.4	15.7	6.7
	瀬谷第二地区連合自治会	288	17.4	29.5	48.6	19.4	15.6	14.2	4.2	14.2	6.9
	細谷戸連合町内会	46	28.3	23.9	52.2	15.2	6.5	8.7	0.0	17.4	10.9
	瀬谷第四地区連合自治会	154	12.3	19.5	51.3	10.4	18.2	7.8	4.5	20.1	9.7
	南瀬谷自治連合会	93	24.7	18.3	53.8	16.1	8.6	9.7	4.3	17.2	7.5
	宮沢連合自治会	125	19.2	17.6	53.6	8.8	13.6	9.6	1.6	19.2	9.6
	相沢町内連合会	173	15.0	18.5	55.5	14.5	9.8	4.6	8.1	16.2	8.1
無回答		32	9.4	15.6	50.0	12.5	12.5	18.8	6.3	9.4	21.9

問 33 あなたは、平成 21 年(2009 年)に横浜市が開港 150 周年、瀬谷区が区制 40 周年を迎えることを知っていますか。

- ・「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」(42.1%)が最も多く、次いで「両方知らない」(26.3%)、「両方知っている」(24.8%)、「瀬谷区が区制 40 周年を迎えることだけ知っている」(2.7%)となっている。

図表 横浜市が開港 150 周年、瀬谷区が区制 40 周年を迎えることの認知度



■ 年齢別 横浜市が開港 150 周年、瀬谷区が区制 40 周年を迎えることの認知度(F2 × 問33)

- ・「両方知っている」は年齢が高い層で高く、「70～74 歳」では4割を超えている。
- ・「15～19 歳」では「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」と「両方知らない」が拮抗している。また「30～34 歳」でも「両方知らない」の割合が高くなっている。65 歳未満では「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」がいずれも4割を超えている。

図表 年齢別 横浜市が開港 150 周年、瀬谷区が区制 40 周年を迎えることの認知度

		問33 横浜市が開港150周年、瀬谷区が区制40周年を迎えることの認知度					
		全体	両方知っ ている	横浜が開 港150周年 を迎える ことだけ 知っている	瀬谷区が 区制40周 年を迎え ることだ け知って いる	両方知ら ない	無回答
全 体		1,566	389	660	42	412	63
		100.0	24.8	42.1	2.7	26.3	4.0
F 2 年齢	15～19歳	36	5.6	47.2	0.0	44.4	2.8
	20～24歳	63	6.3	55.6	0.0	38.1	0.0
	25～29歳	77	10.4	51.9	1.3	35.1	1.3
	30～34歳	115	15.7	43.5	0.9	40.0	0.0
	35～39歳	157	10.8	52.2	1.9	30.6	4.5
	40～44歳	122	21.3	44.3	2.5	31.1	0.8
	45～49歳	112	20.5	45.5	2.7	31.3	0.0
	50～54歳	107	22.4	46.7	3.7	25.2	1.9
	55～59歳	133	25.6	45.1	1.5	25.6	2.3
	60～64歳	149	28.9	45.0	5.4	18.1	2.7
	65～69歳	156	37.2	39.1	2.6	16.7	4.5
	70～74歳	151	43.0	29.8	4.6	15.9	6.6
	75歳以上	171	36.8	24.0	3.5	22.8	12.9
	無回答	17	23.5	41.2	0.0	5.9	29.4

**問 34 瀬谷区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。**

- ・ 具体的な記述があったのは 341 件で、計 448 件の意見が得られた。
- ・ 意見内容として最も多かったのは、「区政全般」に関する意見で計 136 件あった。そのうち「広報」に関する意見が 26 件、「職員」に関する意見が 25 件であった。「広報」に関しては「区政の状況がわかりにくい」、「情報が隅々まで届いていない」、「情報が少ない」などの意見があった。職員については「(区民に対する)対応」に関する意見や要望が目立った。また「区庁舎」に関しては「駐車場整備」を望む意見が目立った。
- ・ 次いで「交通」に関する意見が 118 件あり、そのうち「道路」に関する意見が 73 件、「駐車・駐輪」に関する意見が 15 件、「バス」に関する意見が 28 件であった。「道路」に関しては、「道路が狭い」、「歩道が確保されておらず安全に歩けない」、「段差がある」など「道路の整備」に関する意見が全部で 68 件であった。これは意見全体からみて非常に高い割合を占めており、区民の要望の高さがうかがえる。また「バス」に関しては、「新規路線の整備」のほか、「バス便の増発」を望む意見や、「コミュニティバス」に関する意見もみられた。
- ・ 「保健・医療・福祉」に関しては全部で 50 件あり、そのうち「福祉」に関する意見が 32 件、「医療・保健」に関する意見が 18 件あった。「福祉」に関しては「子育て支援の充実」を望む意見が目立った。また「医療・保健」に関しては、「医療機関」や「救急医療体制」に関する意見のほか、「健診・検診の充実」を望む意見もみられた。
- ・ 「安全・安心」に関する意見は全部で 34 件あり、そのうち「防犯」に関する意見が 22 件で、「街灯設置」を望む意見が目立った。
- ・ 「その他施策」(計 57 件)としては、「環境対策」に関する意見が 41 件あり、「緑地、農地の保全」に関する意見、「ごみ対策」に関する意見等があった。そのほか、「教育」(学校教育及び生涯学習)に関する意見が 8 件、「コミュニティ」に関する意見が 8 件あった。
- ・ 「まちづくり・施設整備」に関する意見は 39 件で、そのうち「まちづくり・再開発」に関する意見が 19 件あり、「駅や駅周辺の再開発」に関する意見が目立った。また「施設整備・充実」に関する意見が 20 件あった。



図表 区政に関する意見・要望・提案

大分類	件数	中分類	件数	小分類	件数		
区政全般	136	広報	26	区政がみえない、わかりにくい	9		
				情報が少ない、届いていない	5		
				転入してきた住民への情報提供	3		
				インターネットの充実、活用	3		
						広報の充実	2
						その他	4
				職員	25	職員の対応について	18
						マナー、モラル改善	2
						その他	5
				財政	9	税金(高い、有効活用)	6
						その他(人件費が高い、無駄をなくす)	3
				区庁舎	16	駐車場整備	9
						その他	7
				開庁時間・場所	12	区役所の開庁時間の延長	8
						瀬谷駅サービスセンターの時間延長	3
						行政サービスセンターの増設	1
				区役所業務	15	手続きの簡素化、わかりやすさ	3
						相談支援体制の充実	2
						区民参加の促進	3
						イベントの充実、企画の工夫	5
						その他	2
				区政への評価・期待	33	今後の区政に期待している	13
						期待しない	1
		区政を評価している	7				
交通	118	道路	73	道路の整備(歩行の安全確保、狭い、段差がある)	68		
				アクセスが悪い	3		
				渋滞対策	2		
				駐車・駐輪	15	駐車場対策	4
						駐輪対策(瀬谷駅北口)	5
						駐輪対策	6
				バス	28	新規路線の整備	11
		バス便増を望む	9				
		コミュニティバス	5				
		市営バス	2				
		運行時間安定化	1				
		交通その他	2	その他	2		
		保健・医療・福祉	50	医療・保健	18	医療機関	7
救急医療体制	4						
在宅医療	2						
健診・検診の充実	5						
福祉	32			子育て支援の充実	14		
				高齢者福祉充実	8		
				福祉施策の充実	5		
				障害者福祉充実	2		
				生活保護	1		
				評価	2		
安全・安心	34	防災	12	防災対策の充実	12		
				防犯	22		
						防犯対策強化	10
						街灯設置	7
						青少年対策	3
				暴走族対策	2		
その他施策	57	環境対策	41	緑地、農地の保全	18		
				ごみ対策	6		
				海軍道路・桜並木の保全	3		
				ダイオキシン対策	3		
				環境施策の充実	3		
				農業、農体験の促進	2		
				街路樹の保全	2		
				評価	2		
				その他	2		
				教育	8	学校教育	6
		生涯学習の充実	2				
		コミュニティ	8			自治会・町内会について	4
				その他	4		
まちづくり・施設整備	39	まちづくり・再開発	19	駅・駅周辺再開発	7		
				上瀬谷通信隊の跡地利用	3		
				区内の地域格差がある	3		
				河川整備	2		
				その他	4		
		施設整備・充実	20	公園	4		
				地区センター・コミュニティ施設	2		
				スポーツ施設・プール	7		
				図書館	3		
				その他	4		
その他	14	その他	14	ペット対策	3		
				その他	11		
	448		448		448		

## 調査票

# 平成 19 年度 瀬谷区区民意識調査

新たな年を迎え、区民の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
また、日ごろから瀬谷区のまちづくりにご理解・ご協力をいただきありがとうございます。  
瀬谷区では、「幸せが実感できる瀬谷づくり」をめざして様々な施策を進めているところですが、このたび、皆様のお住まいの地域での様々な活動や身近なことについてご意見を伺い、今後の区政を進めるにあたっての基礎資料とするため、「平成 19 年度瀬谷区区民意識調査」を実施させていただくこととなりました。

瀬谷区に住んでいて本当によかった、これからも瀬谷区に住み続けたいと「幸せが実感できる」まちづくりを、皆様と一緒に実現していきたいと思っておりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 20 年 1 月 17 日

瀬谷区長 市原 正博

## ～調査票へのご記入にあたって～

本調査は、住民基本台帳・外国人登録原票から無作為抽出された区内在住の16歳以上の方3,000名を対象に実施させていただいています。調査結果につきましては、個人情報保護の趣旨に基づき統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、ご迷惑をおかけすることはありません。（返送の際、住所・氏名のご記入は必要ありません。）

- (1) 調査票への記入は、原則としてあて名のご本人がご記入ください。やむを得ず、ご本人以外の方がご記入される場合は、必ずご本人の意志を確認の上、ご記入ください。
- (2) 回答は、該当する番号に○印を付けていただくか、該当する番号を回答欄にご記入いただくか、自由に意見を記入していただく形式になっています。
- (3) 番号に○印を付けていただく形式では、該当する番号1つに○をつけていただく場合と、複数の番号に○をつけていただく場合があります。質問文の指示に従ってご回答ください。「その他」に当てはまる場合には、その番号に○をつけて（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

**平成20年1月28日(月)**まで

にポストにご投函ください（切手は不要です）。



本調査に関するご質問がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

担当：横浜市瀬谷区役所 区政推進課広報相談係 松永・佐藤

電話：045-367-5635 FAX：045-365-1170

**はじめに、区役所の仕事についておたずねします。**

問1 あなたは、区役所に何回くらい行きますか。(○は1つ)

1 週に1回程度	2 月に2～3回程度
3 月に1回程度	4 年に3～4回程度
5 年に2回程度	6 年に1回程度
7 数年に1回	8 ここ数年行ったことがない

問2 あなたが区役所に行くときは、主にどのような用件のあるときですか。3つまで選んで右の口の中に該当する番号(①～⑩)をご記入下さい。

- ① 戸籍・住民票関係の手続き(戸籍謄・抄本、転入・転出届、住民票、印鑑登録等)
- ② 税金関係の相談・手続き(納付、課税証明等)
- ③ 国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き(加入手続き、医療費助成等)
- ④ 乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診
- ⑤ 介護保険関係の相談・手続き
- ⑥ 福祉保健関係の相談・手続き(児童手当・保育園・母子健康手帳、障害者手帳、障害者自立支援法関連、生活保護等)
- ⑦ 生活衛生関係の相談・手続き(食品・環境衛生等)
- ⑧ まちづくり、市民活動関係の相談
- ⑨ イベント・各種説明会・教室などへの参加
- ⑩ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問3 現在の区役所の仕事ぶりについて、次の項目ごとに、どう思われるかお答えください。また、区役所のあり方における各項目の重要度をお答えください。それぞれの項目ごとに○は一つ

記入例	仕事ぶり		重要度																					
	そう思う	そう思わない	重要	あまり重要でない																				
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>仕事ぶり そう思う</td> <td>仕事ぶり そう思わない</td> <td>重要度 重要</td> <td>重要度 あまり重要でない</td> </tr> <tr> <td>① 仕事の確・公正で、信頼できる</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>a</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>a</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>③ ...</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>a</td> <td>b</td> </tr> </table>		仕事ぶり そう思う	仕事ぶり そう思わない	重要度 重要	重要度 あまり重要でない	① 仕事の確・公正で、信頼できる	A	B	a	b	② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい	A	B	a	b	③ ...	A	B	a	b				
	仕事ぶり そう思う	仕事ぶり そう思わない	重要度 重要	重要度 あまり重要でない																				
① 仕事の確・公正で、信頼できる	A	B	a	b																				
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい	A	B	a	b																				
③ ...	A	B	a	b																				
① 仕事の確・公正で、信頼できる	A	B	a	b																				
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい	A	B	a	b																				
③ 住民や地域の活動がサポートできている	A	B	a	b																				
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている	A	B	a	b																				
⑤ 住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている	A	B	a	b																				
⑥ 行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている	A	B	a	b																				
⑦ 区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている	A	B	a	b																				

問4 瀬谷区では毎年、区政運営方針を策定し、それに基づいて各種施策・業務を実施しています。あなたは区政運営方針についてご存じでしたか。(○は1つ)

- |           |         |              |
|-----------|---------|--------------|
| 1 よく知っている | 2 知っている | 3 あることは知っている |
| 4 知らない    |         |              |

問5 あなたは区政運営方針について関心がありますか。(○は1つ)

- |                  |                 |                |
|------------------|-----------------|----------------|
| 1 とても関心がある⇨問5-1へ | 2 やや関心がある⇨問5-1へ | 3 あまり関心はない⇨問6へ |
| 4 全く関心がない⇨問6へ    |                 |                |

問5-1 問5で(1とても関心がある・2 やや関心がある)と答えた方にうかがいます。あなたは区政運営方針の情報をどのような手段で得たいですか。(○は1つ)

- |                     |                    |           |
|---------------------|--------------------|-----------|
| 1 ホームページ(パソコン)      | 2 ホームページ(携帯電話用サイト) | 3 メールマガジン |
| 4 テレビ               | 5 ラジオ              | 6 ケーブルテレビ |
| 7 新聞                | 8 パンフレット・チラシ       | 9 掲示板・回覧板 |
| 10 タウン誌・ミニコミ誌       | 11 家族や知人           | 12 広報紙    |
| 13 その他(具体的に: _____) |                    |           |


**地域での活動についておたずねします。**

問6 あなたは、どのような地域の活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- |   |   |      |
|---|---|------|
| 1 自治会、町内会の活動<br>2 子供会、婦人会、老人クラブの活動<br>3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動<br>4 身近な道路や公園などの清掃活動<br>5 文化・芸術・スポーツの参加や振興<br>6 祭や盆踊り、運動会などのイベント<br>7 資源回収やごみの分別、リサイクル活動<br>8 身近な水辺や緑地(里山など)などの自然環境の保全<br>9 在日外国人や海外との交流・支援などの活動<br>10 子育てサークルやPTA活動<br>11 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動<br>12 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり<br>13 その他(具体的に: _____) | } | ⇨問7へ |
| 14 今は参加していないが参加したい ⇨問9へ   |   |      |
| 15 参加したことはあるが今はしていない ⇨問7へ   |   |      |
| 16 参加するつもりはない ⇨問10へ   |   |      |

問7 あなたが地域の活動に参加した主な理由はどのようなことですか。3つまで選んで右の口の中に該当する番号(①～⑨)をご記入下さい。

- ① 社会貢献をしたいと思ったから
- ② 友人や近所の人に勧められたから
- ③ 充実感を味わいたかったから
- ④ 時間に余裕があったから
- ⑤ 家族が参加していたから
- ⑥ 趣味や特技を活かしたかったから
- ⑦ 仲間や友人をつくりたかったから
- ⑧ 当番などやむを得なかったから
- ⑨ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)




問8 あなたは、活動に参加して次のような効果がありましたか。(○はいくつでも)

- |                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 1 友人ができた                     | 2 生活が充実した |
| 3 地域の情報が入るようになった             | 4 健康的になった |
| 5 積極的にいろいろな活動に参加しようと思うようになった | 6 効果はなかった |
| 7 その他(具体的に: _____)           |           |


問9 問6で(14今は参加していないが参加したい・15参加したことはあるが今はしていない)と答えた方にうかがいます。参加しない大きな理由はなんですか。2つまで選んで右の口の中に該当する番号(①～⑦)をご記入下さい。

- ① 自分の時間に合う活動が見つからないから
- ② どこで何が行われるか情報がないから
- ③ 具体的に何をするかわからず不安だから
- ④ 自分にはつとまらないと、重荷に感じるから
- ⑤ 参加しにくい雰囲気があるから
- ⑥ お金がかかるから
- ⑦ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)



問10 地域が取り組む活動でとくに重要だと思う活動はどれですか。2つまで選んで右の口の中に該当する番号(①～⑬)をご記入下さい。

- ① 自治会、町内会の活動
- ② 子供会、婦人会、老人クラブの活動
- ③ 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- ④ 身近な道路や公園などの清掃活動
- ⑤ 文化・芸術・スポーツの参加や振興
- ⑥ 祭や盆踊り、運動会などのイベント
- ⑦ 資源回収やごみの分別、リサイクル活動
- ⑧ 身近な水辺や緑地(里山など)などの自然環境の保全
- ⑨ 在日外国人や海外との交流・支援などの活動
- ⑩ 子育てサークルやPTA活動
- ⑪ 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
- ⑫ 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり
- ⑬ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)



問11 地域のコミュニティを充実させていくためにどのようなことが必要だと思いますか。2つまで選んで右の口の中に該当する番号(①～⑦)をご記入下さい。

- ① 気軽に集まれる場所がある
- ② 地域の情報を得たり発信できるしくみ
- ③ 異世代が交流できる機会がある
- ④ 地域のリーダーとなる人材を育成する
- ⑤ 既存の活動を充実する
- ⑥ 新たな活動を創設する
- ⑦ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問12 最近、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていることがありますか。困っている場合はそれぞれに相談する先をお答え下さい(それぞれに○は1つ)

	困っていない・気になっていない	困っている							
		区役所・行政機関	家族・親戚	友人・知人	近所の人	警察	町内会・自治会	専門機関(病院・学校など)	相談しない
① 自分の病気や老後のこと	A	B	C	D	E	F	G	H	I
② 家族の健康や生活上の問題	A	B	C	D	E	F	G	H	I
③ 仕事や職場、景気や生活費のこと	A	B	C	D	E	F	G	H	I
④ 子育てや学校、教育のこと	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑤ 近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境問題のこと	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑥ 近所つきあい	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑦ 地震・災害のこと	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑧ 治安・防犯のこと	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑨ 住宅のこと	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑩ 道路整備・公共交通の利便	A	B	C	D	E	F	G	H	I
⑪ その他(具体的に: _____)	A	B	C	D	E	F	G	H	I

**自然環境・環境行動についておたずねします。**

問13 あなたは、身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきだと思いますか。(○は1つ)

- 1 積極的にふやしていくべき
- 2 現状を維持していくべき
- 3 少しずつ減少しても仕方がない
- 4 区内に緑や農地は必要ない
- 5 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問14 あなたは日頃、緑・水辺などの身近な自然環境とどのように関わっていますか。(○はいくつでも)

- 1 景色として眺めている
- 2 散歩したり、ジョギングしたりしている
- 3 バードウォッチングや草花観察など、自然観察を楽しんでいる
- 4 花壇や生け垣の手入れをしている
- 5 農作物を栽培している
- 6 ごみ拾いや草むしりを行っている
- 7 樹林地の手入れを行っている
- 8 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- 9 とくに関わっているという意識はない

問15 身近な自然環境を守り育てるために行政は何に力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んで右の口の中に該当する番号(①~⑩)をご記入下さい。

- ① イベントや講座を開催すること
- ② 学校で自然環境に関する授業を取り入れること
- ③ 自然環境を守り育てるための市民活動を支援すること
- ④ 緑地の保全や自然を生かした公園の整備をすすめること
- ⑤ 農地の保全を進めること
- ⑥ 河川を自然を生かしながら整備すること
- ⑦ 環境に配慮した住宅や土地利用のルールをつくること
- ⑧ 緑地保全を目的とした新税を検討すること
- ⑨ 植樹を行うこと
- ⑩ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

Three empty rectangular boxes stacked vertically, with a grey arrow pointing from the left towards them.

問16 緑・水辺など身近な自然環境を守るための地域での活動への参加について、あなたはどのようにお考えですか。(○はいくつでも)

- 1 地域の緑地を保全するための募金があれば協力したい
- 2 草刈りや樹林地の間伐、ごみ拾いなど、地域の緑や水辺を保全整備する活動に参加したい
- 3 野草の調査やホタル調査など、地域の動植物を調べる活動に参加したい
- 4 草花観察会やバードウォッチングなど、地域の自然を案内する活動に参加したい
- 5 子どもたちに自然に親んでもらう環境教育活動に参加したい
- 6 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- 7 豊かな緑や自然環境があることは大事だと思うが、活動に参加したいとは思わない
- 8 別に緑や自然環境が豊かでなくても構わない



問 17 あなたは、身近な自然を含めた地球環境を守るために、どのような取り組みをしていますか。  
(〇はいくつでも)

- 1 節電・節水を心がけている
- 2 冷暖房の温度をこまめに調整している
- 3 家・学校・事業所等では緑をできるだけ増やしている
- 4 外出先からごみを持ち帰るようにし、自然を汚さないようにしている
- 5 グリーン購入など、環境に配慮した製品などを生活に取り入れている
- 6 詰め替え商品やリサイクルしやすい商品を意識して取り入れている
- 7 テレビやエアコンなどの電化製品は省エネ型のものを選んでいる
- 8 横浜産の野菜や果物を買っている
- 9 余分なものは買わない、食べ物を残さないように心がけている
- 10 エコバッグやマイ箸、マイボトル等を持ち歩いている
- 11 資源となるものは積極的にリサイクルに出している
- 12 車に乗るときはエコドライブ(環境に配慮した運転)を心がけている
- 13 太陽光発電や高効率給湯器を導入している
- 14 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- 15 特に取り組んでいるものはない

問 18 問 17 で取り組んでいない項目がある場合、その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 手間がかかり面倒だから
- 2 お金がかかるから
- 3 具体的な取り組み方法を知らなかったから
- 4 自分だけが取り組んでも効果はないと思うから
- 5 地球環境にあまり興味がないから
- 6 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

**防災についておたずねします。**

問 19 あなたは自分の住んでいる地域で大地震が近く起きるのではないかと不安を感じていますか。  
(〇は1つ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 強く感じている   | 2 多少感じている  |
| 3 あまり感じていない | 4 全然感じていない |

問 20 あなたは自宅で地震にあった場合、誰を頼りにしますか。2つまで選んで右の口の中に該当する番号(①～⑧)をご記入下さい。

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| ① 家族      | ② 近所の人             |
| ③ 自治会・町内会 | ④ 区役所              |
| ⑤ 消防署     | ⑥ 警察署              |
| ⑦ 学校      | ⑧ その他(具体的に: _____) |

**問 21 あなたの家では災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも)**

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 食糧や飲料水を準備している                 |
| 2 携帯ラジオ、懐中電灯などを準備している           |
| 3 貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している        |
| 4 日用品(医薬品、おむつ等)をすぐ持ち出せるよう準備している |
| 5 消火器を準備している                    |
| 6 いつも風呂に水をためおきしている              |
| 7 家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している          |
| 8 住宅用火災警報機を設置している               |
| 9 建物の耐震対策をしている                  |
| 10 近くの学校や公園など避難する場所を決めている       |
| 11 家族との連絡方法を決めている               |
| 12 防災訓練に参加している                  |
| 13 その他(具体的に:_____)              |
| 14 特に何もしていない                    |

**問 22 区内に 15 箇所ある地域防災拠点(公民館)は、災害が発生し、家屋の倒壊等で自宅で生活できない時に避難し生活するための場所です。まず自宅の状況を確認することが大切ですが、このことをご存知でしたか。**

(〇は1つ)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

**問 23 警戒宣言や災害発生などで自宅から避難する時には、再通電火災\*を防ぐために電気のブレーカーを落とすていくことが大変重要となっています。ご存知でしたか。(〇は1つ)**

\*再通電火災…震災時に破壊、損傷した電気製品等に再送電した場合にショートが起こって火災が発生し、2次災害の原因になる事

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 24 防災対策について、どこが中心となって進めるべきだと思いますか。

各項目ごとに（A～C）のいずれか1つに○をしてください。

記入例	実施主体																		
	区役所が進めるべき	住民（家庭）が進めるべき	区役所と地域が協働で進めるべき																
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">各取り組みごとに該当する番号1つに○をつけてください</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施主体</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th>区役所が進めるべき</th> <th>住民が進めるべき</th> <th>区役所と地域が協働で進めるべき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 水害が起きないよう、日頃から護岸や河川等の災害対策を進める</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> <tr> <td>② 木造建築などの耐震対策を行う</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> </tbody> </table>		実施主体				区役所が進めるべき	住民が進めるべき	区役所と地域が協働で進めるべき	① 水害が起きないよう、日頃から護岸や河川等の災害対策を進める	A	B	C	② 木造建築などの耐震対策を行う	A	B	C			
	実施主体																		
	区役所が進めるべき	住民が進めるべき	区役所と地域が協働で進めるべき																
① 水害が起きないよう、日頃から護岸や河川等の災害対策を進める	A	B	C																
② 木造建築などの耐震対策を行う	A	B	C																
① 日頃から道路の排水溝などをきれいにし、水があふれないようにする																			
② 木造建築などの耐震対策を行う																			
③ 災害時の避難誘導の体制を整える																			
④ 避難場所がどこにあるかわかりやすく表示する																			
⑤ 災害時に備えて、避難場所での食べ物等の防災用品を準備する																			
⑥ 防災訓練を行う																			
⑦ いざというときに声が掛けられるように、普段から地域との交流の機会を増やす (高齢者や障害者、福祉施設や学校など)																			

問 24-1 問 24 の地域での防災対策について、あなたはどれが特に有効な取り組みだと思いますか。

①～⑦の番号のうち、上位2つを記入してください。

--	--

**その他についておたずねします。**

**問 25 あなたが普段よく利用する最寄り駅をお知らせください。(○は1つ)**

- |                   |             |                 |
|-------------------|-------------|-----------------|
| 1 瀬谷駅(相鉄線)        | 2 三ツ境駅(相鉄線) | 3 希望が丘駅(相鉄線)    |
| 4 大和駅(小田急線、相鉄線)   | 5 鶴間駅(小田急線) | 6 南町田駅(東急田園都市線) |
| 7 その他(具体的に:_____) |             |                 |

**問 26 あなたが利用する最寄り駅までの交通手段をお知らせください。(○は1つ)**

- |                |                 |                             |
|----------------|-----------------|-----------------------------|
| 1 バス⇨問 27 へ    | 2 自家用車⇨問 26-1 へ | 3 原付・バイク⇨問 26-1 へ           |
| 4 自転車⇨問 26-1 へ | 5 徒歩⇨問 26-1 へ   | 6 その他(具体的に:_____ )⇨問 26-1 へ |

**問 26-1 問 26 で「1 バス」以外を答えた方にうかがいます。その理由はなんですか。(○は1つ)**

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 最寄り駅まで近い⇨問 27 へ              |
| 2 バス路線がない、本数が少ない⇨問 26-2 へ      |
| 3 今利用している交通手段が一番便利だから⇨問 26-2 へ |
| 4 その他(具体的に:_____ )⇨問 26-2 へ    |

**問 26-2 問 26-1 で「1 最寄り駅まで近い」以外を答えた方にうかがいます。あなたは最寄り駅までの交通手段としてバスがあれば、またはバスの便数が増加すれば利用しますか。(○は1つ)**

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 確実に利用する   | 2 利用するかもしれない | 3 どちらとも言えない |
| 4 利用することはない |              |             |

**問 27 あなたは最寄り駅へのアクセス環境(交通手段、所要時間)に満足していますか。(○は1つ)**

- |             |            |             |
|-------------|------------|-------------|
| 1 とても満足している | 2 やや満足している | 3 どちらとも言えない |
| 4 やや不満である   |            |             |
| 5 とても不満である  |            |             |

**問 28 あなたは近隣の商店街を利用していますか。(○は1つ)**

- |                   |                    |                    |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 1 よく利用している⇨問 29 へ | 2 たまに利用している⇨問 29 へ | 3 ほとんど利用しない⇨問 30 へ |
| 4 全く利用しない⇨問 30 へ  |                    |                    |

**問 29 あなたが近隣の商店街を利用している理由は何ですか。(○は1つ)**

- |                   |               |            |
|-------------------|---------------|------------|
| 1 近くて便利           | 2 アフターサービスがよい | 3 配達をしてくれる |
| 4 雰囲気がい           | 5 対応が親切       |            |
| 6 その他(具体的に:_____) |               |            |

**問 30 あなたが近隣の商店街を利用しない理由は何ですか。(○は1つ)**

- |                   |           |         |
|-------------------|-----------|---------|
| 1 近くに商店街がない       | 2 品揃えが少ない | 3 価格が高い |
| 4 雰囲気がよくない        | 5 対応が不親切  |         |
| 6 その他(具体的に:_____) |           |         |

問 31 現在、あなたご自身の健康づくりのためにやっていることは何ですか。また、今後行いたいことは何ですか。  
あてはまるものをそれぞれ3つまで選んで、該当する番号(①～⑬)を右の口のなかに記入してください。

- ① 規則正しくバランスのよい食生活
- ② 適度な運動(一日 30 分以上で、週 2 回以上の運動)
- ③ ストレスの解消
- ④ 休養や睡眠時間を十分にとる
- ⑤ たばこをあまり吸わないようにしている
- ⑥ お酒の飲み方に気を遣っている
- ⑦ 健康づくりのための情報収集
- ⑧ 歯の毎日のケアと定期的な歯科検診
- ⑨ 定期的に健康診断を受けている
- ⑩ 健康に関する講演会や教室に参加している
- ⑪ 趣味や生きがいをづくり
- ⑫ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- ⑬ 特にない

現在行っていること	今後行いたいこと
↓	↓
□	□
□	□
□	□

問 32 昨年度の区民意識調査では、「病院・救急医療などの地域医療」が区役所の取り組むべき課題の1位でした。  
あなたにとって現在お住まいの地域の医療環境に問題だと思うところがありますか。  
(○はいくつでも)

- 1 医療機関までのアクセスが悪い    2 医療機関の選択の余地がない    3 待ち時間が長い
- 4 診療科目が足りない    5 医療機関の評判がよくない    6 医療機関の設備が整っていない
- 7 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- 8 特に問題だと思うところはない

問 33 あなたは、平成 21 年(2009 年)に横浜市が開港 150 周年、瀬谷区が区制 40 周年を迎えることを知っていますか。(○は1つ)

- 1 両方知っている
- 2 横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている
- 3 瀬谷区が区制 40 周年を迎えることだけ知っている
- 4 両方知らない

問 34 瀬谷区政について、具体的なお意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

**最後にあなた自身のことについておたずねします。**

**F1 性別**

1 男性	2 女性
------	------

**F2 年齢**

1 15～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～34歳
5 35～39歳	6 40～44歳	7 45～49歳	8 50～54歳
9 55～59歳	10 60～64歳	11 65～69歳	12 70～74歳
13 75歳以上			

**F3 お住まいの場所**

1 相沢一丁目	2 相沢二丁目	3 相沢三丁目	4 相沢四丁目
5 相沢五丁目	6 相沢六丁目	7 相沢七丁目	8 阿久和西一丁目
9 阿久和西二丁目	10 阿久和西三丁目	11 阿久和西四丁目	12 阿久和東一丁目
13 阿久和東二丁目	14 阿久和東三丁目	15 阿久和東四丁目	16 阿久和南一丁目
17 阿久和南二丁目	18 阿久和南三丁目	19 阿久和南四丁目	20 東野
21 東野台	22 中央	23 二ツ橋町	24 五貫目町
25 橋戸一丁目	26 橋戸二丁目	27 橋戸三丁目	28 本郷一丁目
29 本郷二丁目	30 本郷三丁目	31 本郷四丁目	32 上瀬谷町
33 北町	34 北新	35 目黒町	36 南台一丁目
37 南台二丁目	38 南瀬谷一丁目	39 南瀬谷二丁目	40 三ツ境
41 宮沢一丁目	42 宮沢二丁目	43 宮沢三丁目	44 宮沢四丁目
45 中屋敷一丁目	46 中屋敷二丁目	47 中屋敷三丁目	48 卸本町
49 瀬谷一丁目	50 瀬谷二丁目	51 瀬谷三丁目	52 瀬谷四丁目
53 瀬谷五丁目	54 瀬谷六丁目	55 瀬谷町	56 下瀬谷一丁目
57 下瀬谷二丁目	58 下瀬谷三丁目	59 竹村町	

**F4 家族形態**

1 ひとり暮らし	2 夫婦だけ	3 親と子	4 祖父母と親と子
5 その他(具体的に			)

**F5 住居形態**

1 持家(一戸建て)	2 持家(マンション・共同住宅)	3 借家(一戸建て)
4 借家(県営・市営の共同住宅)	5 社宅、公務員住宅	6 民間アパート、賃貸マンション
7 その他(具体的に		)

**F6 職業**

1 自営業(農・商・自由業)	2 会社員	3 公務員	4 学生
5 パート・アルバイト(学生以外)	6 就労していない		

**F7 現在の住居での居住年数**

1 3年未満	2 3～5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満	5 20年以上
--------	----------	-----------	------------	---------

アンケートはこれで終了です。お疲れ様でした。  
ご記入内容をもう一度ご確認ください、同封の返信用封筒に入れて、  
**平成20年1月28日(月)までに**ポストに投函してください。  
ご協力ありがとうございました。

## 瀬谷区区民意識調査

平成 20 年 3 月

瀬谷区役所総務部区政推進課  
〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町 190  
TEL367-5636 FAX365-1170